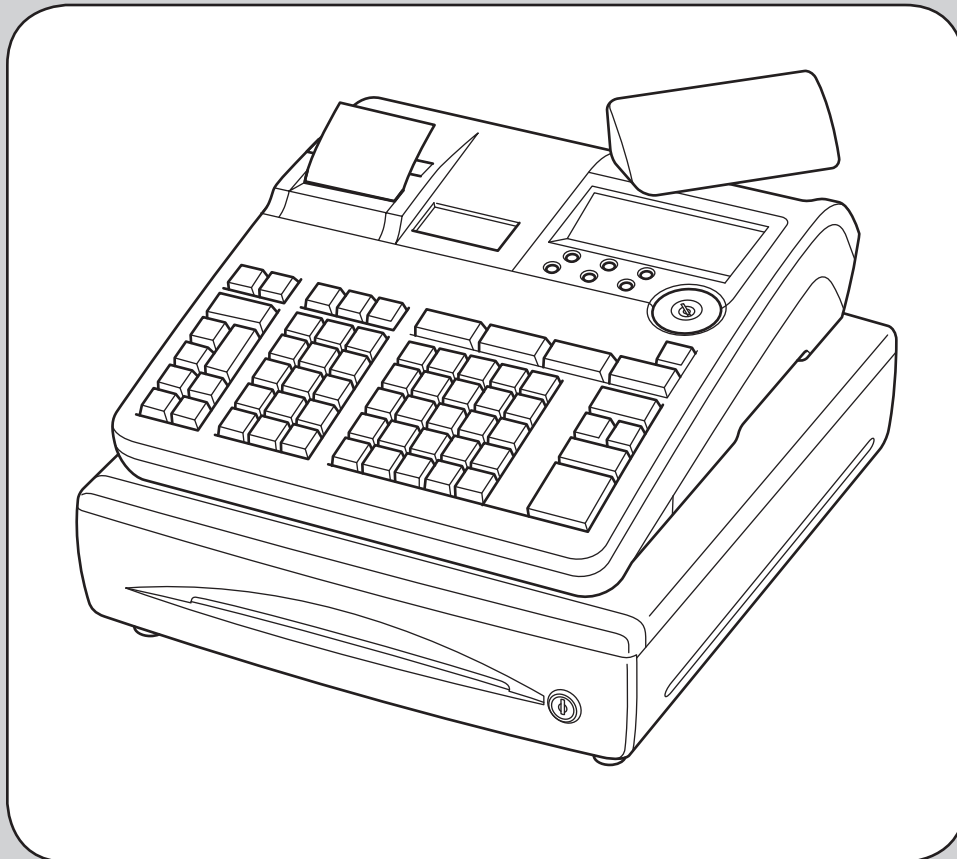


## 取扱説明書

カシオ電子レジスター  
TE-2800

このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前に、本書をひととおりお読みください。特に「安全上のご注意」をご熟読の上、正しくお使いください。本書は、取り出しやすいところに大切に保管してください。最新サポート情報（Q&A など）は下記ホームページをご覧ください。

<http://casio.jp/support/ecr/>

**SIAA**  
ISO22196  
for KOHKIN

無機抗菌剤・練込  
置数キー・キーキャップ  
SIAA マークは ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

初めてレジスターをお使いになるときは、**設置手順**（17 ページ）と  
**用語集**（135 ページ）をご覧ください。

# 特長

- インターネットで情報センタに接続し売上分析を受けることができます。(別途契約が必要です)



- インターネットで情報センタに接続し、クレジットカード/iDのリアルタイム決済ができます。(KT-10および契約が必要です)



(KT-10: マルチ決済端末)

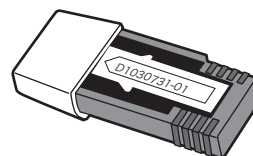
- 税率は変更することができます。予約機能を使うと、指定した日から自動で税率が更新されます。

8% → ● %

## 消費税率を自動更新

「消費税率について」(19 ページ)  
「税率改定の予約機能を設定する」(72 ページ)を参照してください。

- 別売の電子店名スタンプを使うと、レシート上の店名ロゴスタンプや領収書上の社名ロゴ、住所を毎回設定せずに印字できます。



(RAC-13: オレンジ色のスティック)

- 消費税の計算は、「内税方式」「外税方式」「非課税方式」「複数税率」に対応しています。内税、外税、非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理(四捨五入、切上げ、切捨て)を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求(5円丸め、10円丸め)するといった、さまざまな設定が可能です。



「おサイフケータイ」「iD」および「iD」ロゴは株式会社 NTT ドコモの登録商標または商標です。

# もくじ

## ご使用前に

安全上のご注意	6
お願い（必ず守ってください）	8
知りたいことは？	9
各部のなまえと働き	11
各部のなまえ	11
モードスイッチの切り替え	12
キーボード	13
本体表示窓／客用表示窓の見方	15
客用表示窓の向きを変える	16
お使いになる前の準備	17
設置の手順①（情報センタ接続作業前）	17
設置の手順②（情報センタへの接続作業の内容）	18
設置の手順③（情報センタへの接続作業の内容）	18
消費税率について	19
課税方式について	19
一日の仕事の流れ	20
レシート／ジャーナル／領収書の見方	21

## 使い方

基本的な操作	22
レジスターを開設する	22
商品1つを売上登録する	23
商品3つを売上登録する	24
同じ商品を複数売り上げる（リピート）	25
同じ商品を複数売り上げる（乗算登録）	26
両替などでドロアーを開ける	26
領収書を発行する	27
領収書を発行する	27
金額指定の領収書を発行する	28
操作をまちがえたとき	29
部門・取引キーを押す前に訂正する	29
部門キーを押した直後に訂正する	30
登録途中の商品すべてを取り消す	30
返品処理とレシート発行後の訂正	31
取引終了後の返品	31
取引中の返品	32
閉店後の操作～精算	33
一日の売上を打ち出す	33
便利な使い方	
部門キーの便利な使い方	36
単価設定した部門キーで商品を売り上げる	36
単価×数量の順番で商品を売り上げる	37
PLUの便利な使い方	38
PLUについて	38
PLUを使って登録する	38
品番PLU機能とは？	39
品番PLUを使って登録する	39
スキャンングPLUの使い方	40
スキャンングPLUについて	40
スキャンングPLUの自動学習機能	40

スキャンングPLU商品を売り上げる （新規登録：未学習）	41
スキャンングPLU商品を売り上げる （既存：学習済み）	41
コード印字（不加算印字）の使い方	42
不加算印字キーを使う	42
万円キー／レシート発行キーの使い方	43
日時の表示／担当者の指定と解除	44
日付と時刻を表示する	44
担当者を指定／解除する	44
入金キー／出金キーの使い方	45
入金キーを使う	45
出金キーを使う	45
値引きをする	46
合計金額から $\ominus$ で値引きをする	46
割引きをする	47
商品ごとに割引きをする	47
合計金額から割引きをする	47
さかのぼり訂正の使い方	48
登録中に何行か前のまちがいを訂正する	48
10円丸め・5円丸めの使い方	49
10円丸めする（合計の10円未満の端数を丸める）	49
商品券／クレジットの売上	50
商品券で売り上げる	50
クレジットカードまたはiDで売り上げる	50
混在する支払い方法の売上	51
一部を商品券・残り現金で売り上げる	51
奉仕料を徴収する	52
奉仕料を含めた計算をする	52
在高申告をする	53
在高を申告する	53
売上の点検と精算	54
レポート名称と内容	54
レポートとキー操作	55
売上／在高の点検	56
スキャンングPLU個別の点検	56
部門個別の点検	56
PLU個別の点検	57
グループ別PLUの点検	57
日計明細の点検・精算	58
担当者の点検・精算	58
月間日別集計の点検・精算	59
電卓機能の使い方	60
税抜き金額・税額を計算する	60
$\% \ominus$ $\% +$ を使って計算する	61
呼び出し機能を使って計算する	61
消費税改定による新単価を計算する	62

## 設定の仕方

時刻および日付の設定	63
時刻を設定する	63
日付を設定する	63

# もくじ

商品単価の設定 .....	64	本体表示のバックライトを設定する .....	101
商品単価を部門キーに設定する .....	64	メッセージとロゴを設定する .....	101
商品単価を PLU (スキャニング PLU) に設定する .....	64	部門キーにリンクグループを設定する .....	102
各種レート、丸めの設定 .....	65	部門キーに単品現金売りを設定する .....	102
割引き率、ドルレート等をそれぞれのキーに設定する .....	65	部門キーに入力できる桁数を設定する .....	103
5円丸めまたは10円丸めを設定する .....	65	部門キーにマイナス単価とハッシュ品目を設定する .....	103
但し書き、年号、メッセージ印字などを設定する .....	66	部門キーのいろいろな項目を一括設定する .....	104
レシートの背景を印字する .....	66	PLU に部門リンク・グループリンクを設定する .....	105
領収書の背景を印字する .....	66	PLU に単品現金売りを設定する .....	106
課税方式 (内税/外税/複数税率/非課税) の設定 .....	67	PLU に品番 PLU を設定する .....	106
すべての商品を非課税扱いとする .....	67	PLU にマイナス単価とハッシュ品目を設定する .....	107
課税方式の設定 .....	68	PLU のいろいろな項目を一括設定する .....	108
消費税率の設定 .....	69	締めキー (現金売りや券売りなど) を設定する .....	109
課税方式の一括設定 .....	69	値引きキーを設定する .....	110
消費税率の設定 .....	69	割引きキーと割増しキーを設定する .....	111
現在の税率を確認する .....	69	乗算キー (操作順と端数処理) を設定する .....	111
すぐに税率を変更する .....	69	入金キーと出金キーを設定する .....	112
税率改定の予約機能を設定する .....	70	担当者番号を設定する .....	112
税率改定の予約機能を無効にする .....	70	奉仕料率を設定する .....	113
複数税率への対応 .....	71	レジ操作の練習 .....	114
課税方式の予約機能を設定する .....	71	トレーニングを始める/トレーニングを終わる .....	114
単価の予約機能を設定する .....	72	レジ設定内容の確認 .....	115
税予約項目の設定 .....	73	設定内容を確認する .....	115
税額の円未満の端数処理方法を設定する .....	74	値引き金額、割引き率等の設定確認 .....	115
商品名やメッセージの設定 .....	75	部門の単価と課税方法の設定確認 .....	115
「商品名リスト」から商品名を選択して		PLU の単価と課税方法の設定確認 .....	116
部門キーに設定する .....	75	PLU に設定した商品名の確認 .....	116
PLU の商品名をリストから選択して設定する .....	75	担当者名の設定確認 .....	116
「メッセージリスト」からメッセージを選択して		部門名の設定確認 .....	117
レシートに印字する .....	78	レシートメッセージの設定確認 .....	117
1文字ずつ入力して漢字変換する .....	79	グループ名の設定確認 .....	117
文字入力の方法 .....	79	取引キープログラムの設定確認 .....	117
商品名や分類名を部門キーに設定する .....	81	PLU プログラムの設定確認 .....	118
入力途中で文字を訂正する .....	82	部門プログラムの設定確認 .....	118
商品名や分類名を PLU に設定する .....	83	担当者の設定確認 .....	119
取引キーの印字文字を設定する .....	84	全体設定の確認 .....	119
レジ担当者の名前を設定する .....	84	現行税率の設定確認 .....	120
グループレポート上の商品グループの名前を設定する .....	85	予約税率の設定確認 .....	120
レシートメッセージを設定する .....	86	予約税率と部門の予約設定確認 .....	120
レシートに住所や電話番号を設定する .....	88	PLU の予約設定確認 .....	120
文字設定できるその他の項目 .....	90		
固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する .....	90		
取引シンボル (固定キャラクタ) を設定する .....	91		
その他の設定 .....	92		
レジ番号を設定する .....	92		
一連番号を設定する .....	92		
印字項目を設定する .....	93		
強制機能や演算方式を設定する .....	94		
点検/精算レポートの内容を設定する 1/2 .....	95		
点検/精算レポートの内容を設定する 2/2 .....	96		
レシートの印字内容を設定する .....	97		
強制解除キーを設定する .....	98		
領収書の内容を設定する .....	99		
印字濃度と背景印字を設定する .....	100		
		こんなときは .....	121
		故障かなと思ったら .....	121
		エラー音 (ビー音) が鳴ったとき .....	121
		ドアアが開かなくなったとき .....	121
		操作ガイドで調べる .....	121
		こんなときには .....	122
		表示窓に E やメッセージが表示されたときには .....	122
		ドアアを分離して設置する .....	124
		部門キーなどに商品名を記入する .....	125
		消耗品のセットと交換 .....	126
		ロールペーパーをセットする (ジャーナル) .....	126
		ロールペーパーをセットする (レシート) .....	127
		ロールペーパーを交換する (ジャーナル) .....	128




# もくじ


ロールペーパーを交換する（レシート） .....	129
電子店名スタンプの取り付け .....	130
電子店名スタンプを取り付ける .....	130
スキャナーとレジスターの接続 .....	131
スキャナーとレジスターの接続 .....	131
レジスターの設定 .....	131
仕様 .....	132
保証規定 .....	133
付録 .....	134
日計明細の設定内容の変更と操作 .....	134
用語集 .....	135
さくいん .....	139


# 安全上のご注意


ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
製品を安全に正しくお使いいただき、人々への危害や機器の損傷を未然に防ぐため、以下の記号を使って注意を喚起しています。



△ 警告・△ 注意と、本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。










 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがある内容を示しています。

 記号は「気をつけるべきこと = 注意」を意味しています。左の例は「手挟み注意」です。

 記号は「してはいけないこと = 禁止」を意味しています。左の例は「分解禁止」です。

 記号は「しなければならないこと = 指示」を意味しています。左の例は「電源プラグをコンセントから抜くこと」です。なお、「絵に表わしにくい指示」は  で表わします。

 <b>警告</b>	
<b>電源コードや電源プラグについて</b>	
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードは、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、上に重い物を載せないでください。電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。また、本製品の下の配線はしないでください。</li> <li>電源コードを巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。</li> <li>電源コードが傷んだら（芯線の露出／断線など）、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。</li> <li>ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。</li> </ul>
<b>内部に異物や水などを入れないでください</b>	
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とさないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本製品の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となります。</li> <li>異物や水などが本製品の内部に入ったときは、<u>電源プラグをコンセントから抜いて</u>、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。</li> </ul>
<b>分解・改造しないでください</b>	
	本製品を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分があります。触って感電したり、ケガをする恐れがあります。また、故障や火災の原因となります。
<b>異常状態で使用しないでください</b>	
	発熱、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。
<b>本製品を落としたり、破損したときは</b>	
	本製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、 <u>電源プラグをコンセントから抜いて</u> 、お買い上げの販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
<b>電源・電圧について</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>表示された電源電圧（交流 100V）以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。</li> <li>電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。</li> </ul>

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意

### 設置場所について



- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落下してケガの原因となります。
- ・湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・ストーブやヒーターなどの発熱器具の近くや、温風が直接当たる場所には置かないでください。火災の原因になります。
- ・電源コンセントは、本機の電源コードが簡単に届き、また電源プラグの抜き差しが容易である場所を選んでください。
- ・電源コードを製品や壁や棚の間にはさみ込んだり、電源コードの上に重い物を載せないでください。

### 移動する場合は



本製品の移動前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っばると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

### 本製品の上には物を置かないでください



- ・花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、金属の物などを置かないでください。
- ・タバコなど高温の物を置かないでください。
- ・重い物を置かないでください。

### 電源プラグはいつもきれいに



電源プラグは年一回以上コンセントから抜いてプラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布で掃除してください。ホコリがたまると、火災の原因となります。電源プラグの清掃には、洗剤を使用しないでください。

### 電源プラグを抜くときは



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

### 長期間使用しないときは



連休などで長期間本製品を使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ドロアー（引き出し）の注意



- ・ドロアー（引き出し）を開くときは、お子様の顔などに当たらないよう注意してください。
- ・ドロアー（引き出し）が開いているときに、ドロアーに寄りかからないでください。落下してケガの原因となります。

### 消耗品交換時の注意



- ・記録紙の交換時に、プリンターのギアに髪の毛やスカーフなどが巻き込まれないよう注意してください。
- ・記録紙の交換時に手を挟まれないよう注意してください。また、指のケガにも注意してください。
- ・プリンターのヘッド部分には触れないでください。ケガ、やけどの原因となります。
- ・使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

### 本体表示画面の取り扱いについて



- ・液晶表示を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示のガラスが割れてケガの原因となります。
- ・液晶表示が割れたときは内部の液体に絶対触れないでください。皮膚の炎症の原因となります。
- ・表示内部の液体が口に入ったときは、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- ・表示内部の液体が目に入ったり皮膚に付着したときは、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。

### お手入れについて



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

### モード鍵とドロアー鍵



モード鍵やドロアー鍵は、小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。鍵を飲み込む恐れがあります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 安全上のご注意

## お願い（必ず守ってください）

- ・ 温度が高くなる所や、水がかかる所には置かないでください。
- ・ ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。
- ・ 清掃にシンナー、ベンジン、化粧品などの揮発性の薬剤を使用しないでください。本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布で拭いてください。布で強く擦ると表示部に傷がつく場合があります。
- ・ 1日の終わりには、精算をしてドロアー（引き出し）内をカラにし、開けたままでお帰りください。ドロアーは金庫ではありません。

## 設置場所について

高温になる場所、ホコリの多い場所、油煙や水がかかる場所に置かないでください。

以下の場所では絶対に保管・放置しないでください。メモリ内容が消えるなど本装置の故障、ケースの変形などの原因となります。

- ・ 0°C以下の低温下
- ・ 夏季の車内
- ・ 冷暖房装置の近く
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ その他 40°C以上の高温になる場所

以下の場所では本製品の使用を避けてください。

- ・ 屋外
- ・ レンジ、電熱器などの高温になる機器の近く
- ・ 水気や水蒸気のかかる可能性のある場所
- ・ 温度、湿度などの環境の変化が激しい場所
- ・ 腐食性のガスや塩分の発生する場所
- ・ 塵やホコリが発生する場所
- ・ 振動のある場所
- ・ 静電気が発生しやすい場所

## あらかじめご承知いただきたいこと

- ・ 本書の内容は、製品の改良や仕様変更などにより予告なく変更することがあります。
- ・ 本製品の使用、故障・修理などによりデータが消えたり、変化に起因して生じた損害、遺失利益、第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本書の著作権、および本書に記載のソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しています。弊社の書面による同意なしに本書およびソフトウェアの一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・ 本書の内容は万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・ 本書に記載の画面、レシート、ジャーナル、領収書や本体のイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。
- ・ ウェルドラインについて  
外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウェルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

## 電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

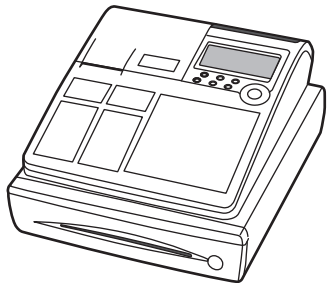
## 高調波電流規格

この装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

# 知りたいことは？

知りたい項目の参照ページをご確認ください。

- レジスターを設置する  
17 ページを参照してください。



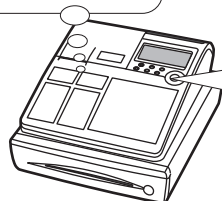
- レジスターを情報センタに接続する  
18 ページを参照してください。



- 基本的な操作とは？  
22 ページを参照してください。

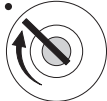
1. お買い上げを打つ
2. 合計を取る
3. 預かりを打つ

ドロアが開いて、レシートが出る



モードスイッチの位置

登録



- クレジット決済をする？  
50 ページを参照してください。

・ABCクレジット  
1234 5678 9012 3456



モードスイッチの位置

登録



クレジット  
/決定

- キー操作をまちがえた  
29 ページを参照してください。

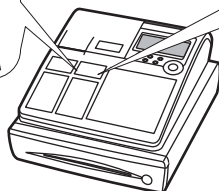


または

訂正/中止キー

訂正  
中止

ポン

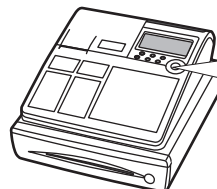


モードスイッチの位置

戻



- 返品があった  
31 ページを参照してください。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

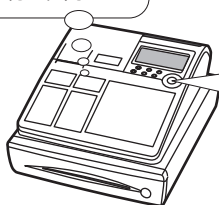
こんなときは



# 知りたいことは？

- 売上を確認する  
54 ページを参照してください。

・現時点での売上は？  
・現時点での現金在高は？

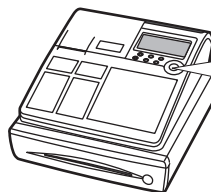


モードスイッチの位置  
点検



- 閉店後の操作は？  
33 ページを参照してください。

モードスイッチの位置

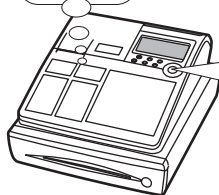


・精算



- 消費税を設定する  
67 ページを参照してください。

・内税？  
・非課税？  
・混在？



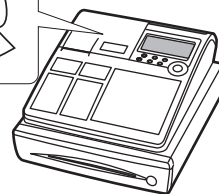
モードスイッチの位置



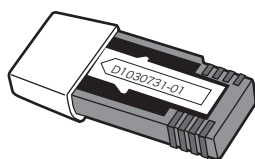
設定

- ロールペーパーがなくなった  
128 ページを参照してください。

ロールペーパー



- 電子店名スタンプが届いた  
130 ページを参照してください。



- エラーが出た  
122 ページを参照してください。

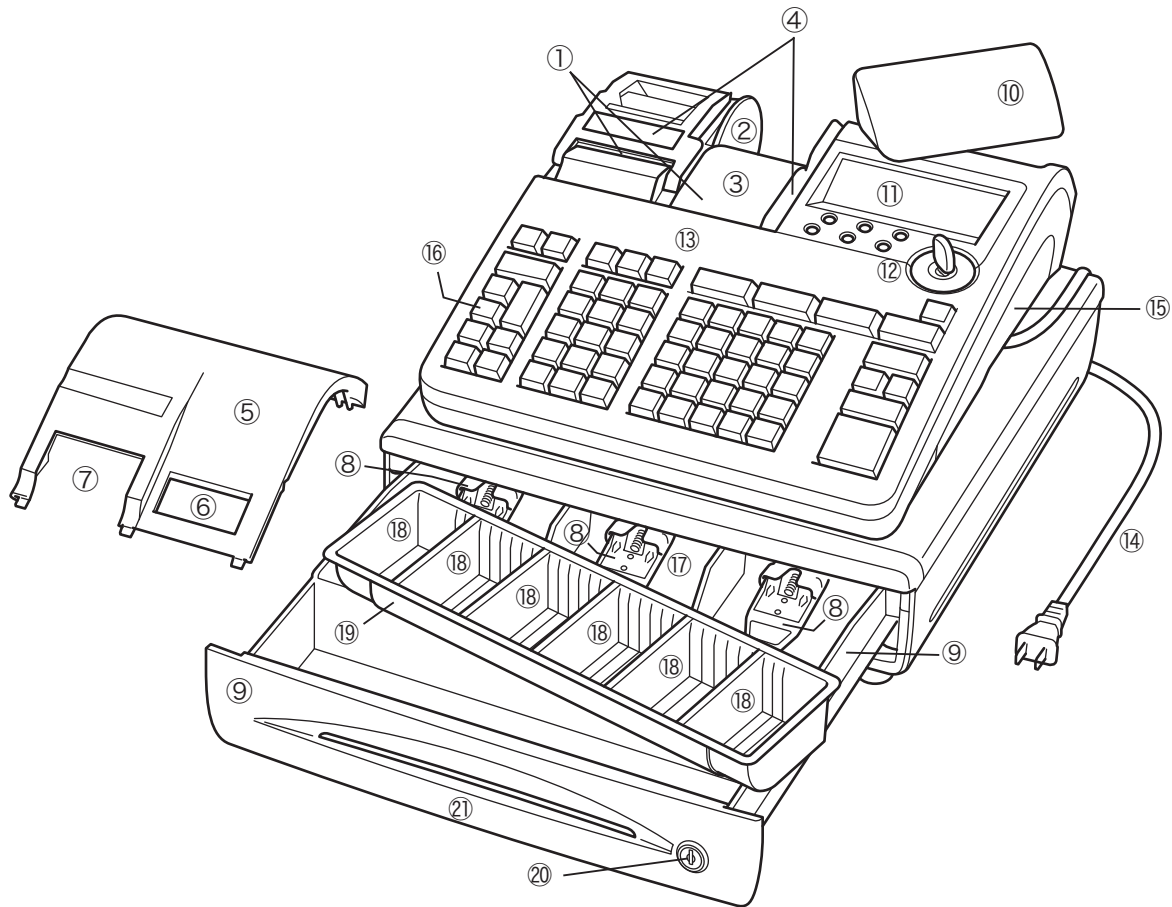


- レシートの内容は？
- 値引きや割引きをする
- 単価・割引き率・丸めの設定をする
- レシートにメッセージを印字する
- レシートに分類や商品名を印字する

- 21 ページを参照してください。
- 46～47 ページを参照してください。
- 64～65 ページを参照してください。
- 87～89 ページを参照してください。
- 75、81 ページを参照してください。

# 各部のなまえと働き

## 各部のなまえ



- ① レシート、ジャーナル用紙  
(126、127 ページ参照)
- ② ジャーナル巻き取りホルダ
- ③ ジャーナル  
売上記録としてお店で保管します。
- ④ 紙押さえ  
確実にロックされるまできちんと閉じてください。完全に閉じていないとレジスターが動きません。
- ⑤ プリンタカバー
- ⑥ ジャーナル印字確認窓  
印字内容の確認と用紙への書き込みができます。この窓に用紙の赤い線が見えてきたらペーパーの交換をしてください。
- ⑦ レシート発行窓
- ⑧ 札押さえ
- ⑨ ドロアー (引き出し)
- ⑩ 客用表示窓  
お客様用の表示です。見やすい角度に回してください(16 ページ参照)
- ⑪ 本体表示窓
- ⑫ モードスイッチ
- ⑬ キーボード
- ⑭ 電源プラグ/電源コード
- ⑮ コネクタカバー  
この中のコネクタにマルチ決済端末や磁気カードリーダーを接続します。
- ⑯ RAC スロットカバー  
この中に電子店名スタンプを差し込みます。
- ⑰ 紙幣入れ
- ⑱ 硬貨入れ (6カ所)
- ⑲ コイントレー  
仕切り板は、取り外したり、位置を移動することができます。
- ⑳ ドロアーロック錠  
ドロアー鍵でロックできます。
- ㉑ ドロアースリット部  
小切手や商品券を、ドロアーを開けずに入れることができます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

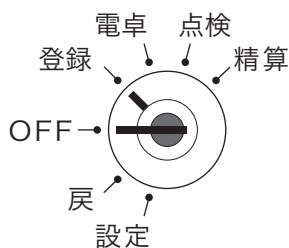
**ポイント** 本書では、ページの右上にモードスイッチの位置を絵表示で掲載しています。この絵表示は、そのページで説明している操作をするときのモードスイッチの位置を示しています。  
 右上の例では、モードスイッチの位置を「登録」にしてから操作することを意味しています。

## モードスイッチの切り替え

モードスイッチの位置を切り替えると、レジスターの働きが変わります。位置を切り替えるにはモード鍵を使います。

### モードスイッチ

レジスターには以下の7つのモードがあります。



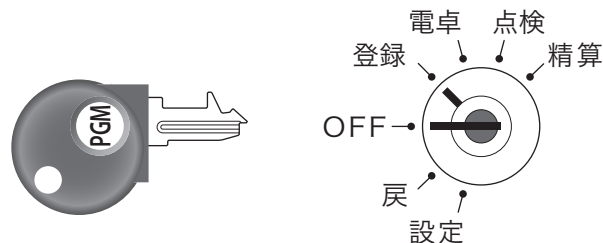
モードの名称	モードの機能
精算	売上げの精算を行なうとき
点検	売上げの点検を行なうとき
電卓	電卓計算を行なうとき
登録	売上げの登録を行なうとき
OFF	レジを使用しないとき
戻	返品（戻し）を行なうとき
設定	お店に合わせたいろいろな設定を行なうとき

### モード鍵

モード鍵には以下の2種類があります。

①オペレータ用（OPと刻印）

②精算・設定（オーナー）用（PGMと刻印）



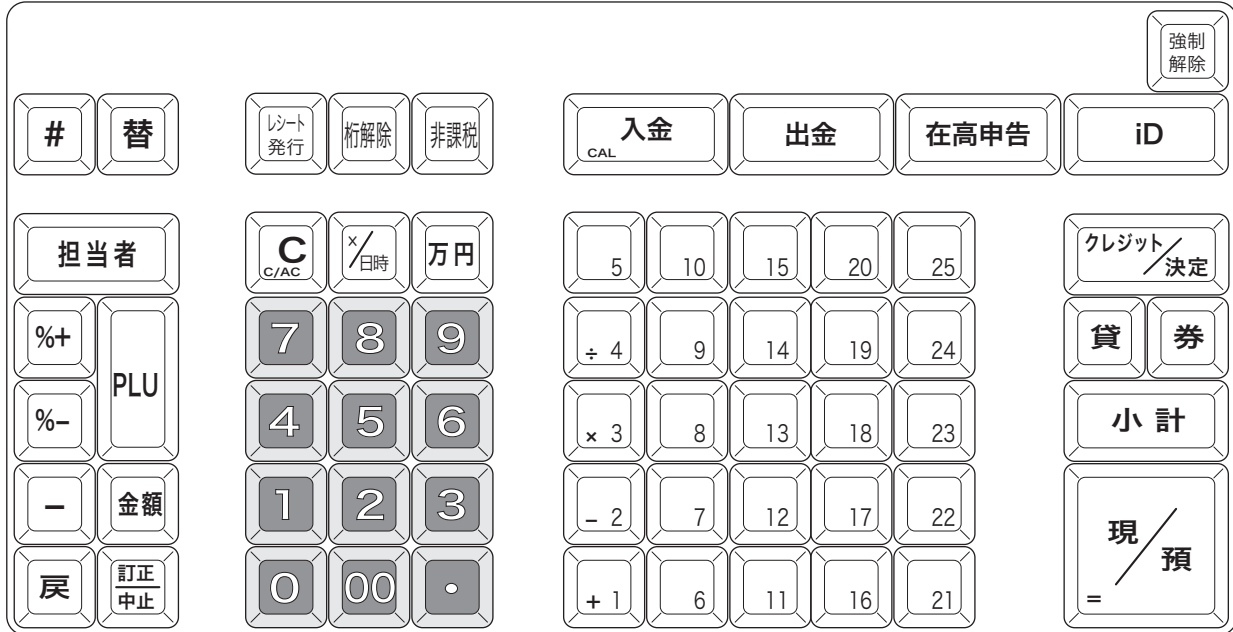
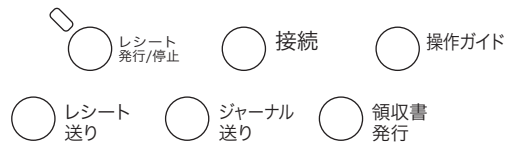
回せる範囲

回せる範囲

濃い字で示したモードにまわすことができます。  
 さらに OFF と登録モードで、モード鍵をレジスターに付けたり外したりできます。

# 各部のなまえと働き

## キーボード



レシート発行/停止

**レシート発行/停止** レシートを発行、止めるスイッチです。登録と戻のモードで使用します。クレジット伝票はこのスイッチの状態にかかわらず常に発行します。

キー上部のランプが消えているときは、レシートを常に「発行」します。このときにスイッチを押すと、赤いランプが点灯してレシートを発行しなくなります。スイッチを押すたび「レシートを発行する」→「レシートを発行しない」→「レシートを発行する」という状態を繰り返します。お客様にレシートを要求された場合は、**レシート発行**を押してください。

接続

**接続キー** レジスターを開設するときに押します。(情報センタ接続時に使用) (22 ページ)

操作ガイド

**操作ガイドキー** 操作方法や設定方法を知りたいときに押します。直接押すとメニュー項目を印字します。知りたいメニュー番号を入力してもう一度押します。(121 ページ)

レシート送り

**レシート送りキー** レシート用紙を空送りするときに押します。

ジャーナル送り

**ジャーナル送りキー** ジャーナル用紙を空送りするときに押します。(126 ページ)

領収書発行

**領収書発行キー** 領収書を発行します。(27 ページ)

#

**不加算印字キー** 不加算印字をするときに押します。(42 ページ)

替

**両替キー** 両替をするときに押します。(26 ページ)

担当者

**担当者キー** 担当者を指定するときに押します。(44 ページ)

%+

**割増しキー** 割増しのときに押します。(47 ページ) (割引きと同じ操作です)

ご使用前に













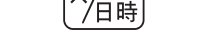














使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 各部のなまえと働き

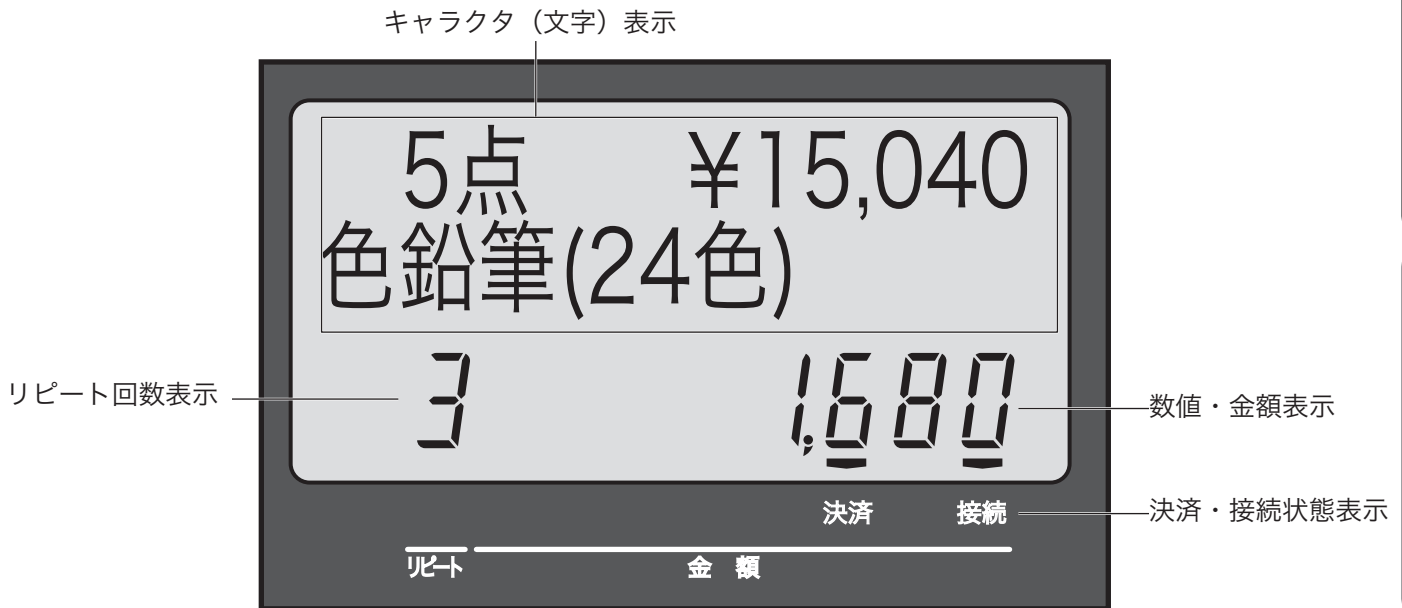
	割引キー	割引きのときに押します。(47 ページ)
	マイナスキー	値引きのときに押します。(46 ページ)
	戻しキー	返品があったときに押します。(32 ページ)
	PLU キー	PLU 機能を使用するときに PLU 番号を入れてから押します。(38 ページ)
	金額キー	品番 PLU 機能のときに単価を入れてから押します。(39 ページ)
	訂正/中止キー	直前訂正 (30 ページ) または取引中止 (30 ページ) のときに押します。
	レシート発行キー	後レシートを発行します。(43 ページ)
	桁解除キー	あらかじめ設定された桁制限を解除するときに押します。
	非課税キー	非課税商品を登録するときに押します。
	クリアキー	数字を入れまちがえたときに押します。(29 ページ) 電卓機能のときは、2 回続けて押すと「オールクリア」(ゴハサン) の働きになります。
	乗算/日時キー	乗算登録 (26 ページ) または時刻・日付を表示するときに押します。(44 ページ)
	万円キー	万円札を預かったときに押します。(43 ページ)
	置数キー	数値を入れるときに押します。
		
	入金キー	入金のために押します。(45 ページ) 電卓機能とレジ機能の間で、「答」などのやり取りにも使います。(61 ページ)
	出金キー	出金のために押します。(45 ページ)
	在高申告キー	在高申告を始めるときと終わるときに押します。(53 ページ)
	部門キー	個々の商品を登録するときに押します。(23 ページ) 電卓機能のときは、  ~  は「+」「-」「x」「÷」の計算命令キーになります。
	強制解除キー	エラー解除のため、取引を強制的に解除します。(2 回続けて押します) (121 ページ)
	iD キー	iD での売上のときに押します (KT-10 の接続が必要です)。(50 ページ)
	クレジット/決定キー	クレジットカードでの売上のときに押します。(50 ページ)
	貸し売りキー	貸し売りでの売上のとき押します。(24 ページ)
	券売りキー	商品券での売上のとき押します。(50 ページ)
	小計キー	登録金額の合計(中間合計)を見るときに押します。(23 ページ)
	現金売り/預かり金キー	登録の完了 (現金での売上)、および預かり金のときに押します。(23 ページ) 電卓機能のときは「=」です。(60 ページ)



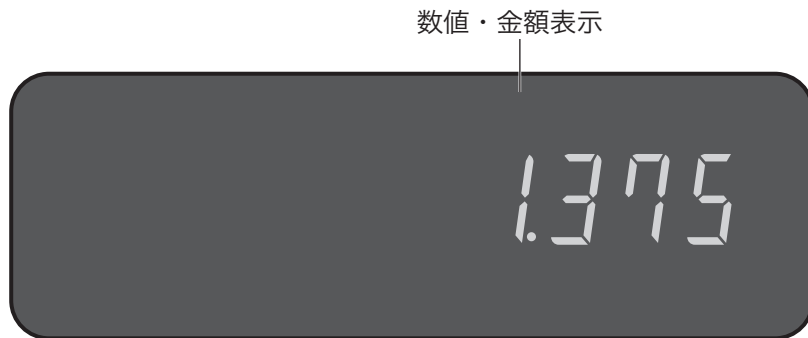
# 各部のなまえと働き

## 本体表示窓／客用表示窓の見方

### 本体表示窓



### 客用表示窓



#### キャラクター（文字）表示

登録した品物の名前などを、文字で表示します。半角文字で最大 16 文字 × 2 行、全角文字で最大 8 文字 × 2 行を表示します。

#### 数値・金額表示

金額や数量などを表示します。電卓機能のときは、計算数値を表示します。

#### 決済、接続状態表示

マルチ決済端末が接続しているか、インターネットに接続しているかをシンボル (■) で表示します。  
決済：マルチ決済端末が接続しているときに点灯します。つないでいるのに点灯しない場合、電源が入っているか、レジスターと決済端末が確実に接続されているかを確認します。

接続：インターネットに接続しているときに点灯します。つないでいるのに点灯しない場合、外部接続機器（ルータやモデム）などの電源が入っているか、レジスターと確実に接続されているかを確認します。

#### リピート回数表示

リピート登録（25 ページ）のとき、その回数の下 1 桁を表示します。

**▲注意** 表示例はイメージです。実際の表示と行間・字間・書体が異なります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

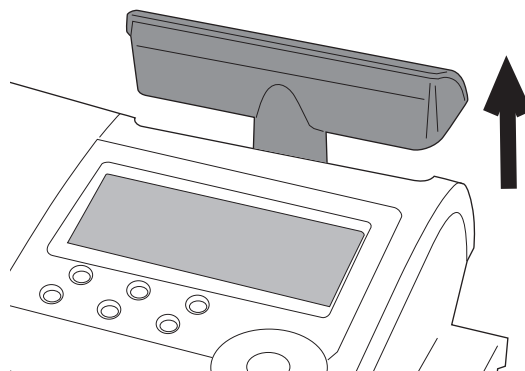
設定の仕方

こんなときは

# 各部のなまえと働き

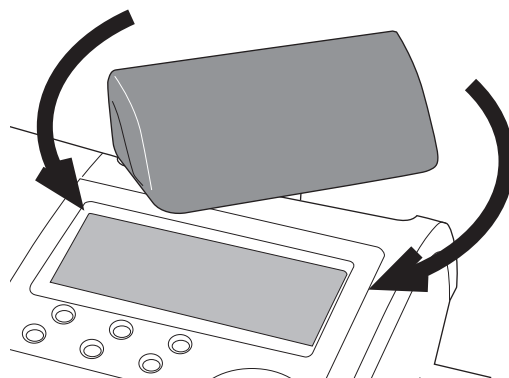
## 客用表示窓の向きを変える

**1** 客用表示窓全体を止まるまで、上に持ち上げます。



**2** 見やすい方向に回します。

真正面には向きません。  
真背面にすると、レジスターの中に格納されます。



# お使いになる前の準備

お買い上げいただいたレジスターは、以下の手順で設置してください。

## 設置の手順①（情報センタ接続作業前）

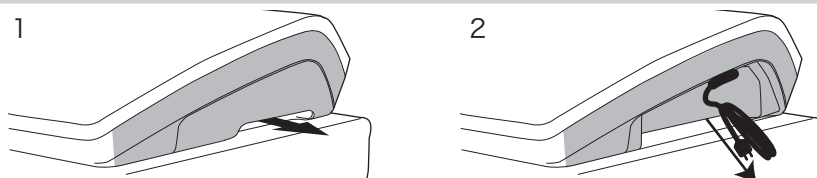
お買い上げ直後は、以下の手順に沿って設置してください。

**1** 梱包箱の中から、本機と付属品を取り出します。袋の中から付属品を取り出し、すべてそろっているかを確認します。

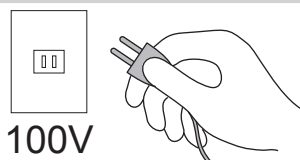
**2** 本機を平らな設置場所に置きます。

**3** ロールペーパー（印字用ロール紙）をセットします。  
「ロールペーパーをセットする」（126～127ページ）を参照してください。

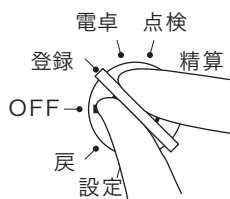
**4** レジスター右側面のコネクタカバーを開け、下記の手順で電源コードを取り出します。



**5** 電源プラグをコンセントに差し込みます。



**6** モード鍵をモードスイッチに差し込み、モードスイッチの位置を「登録」にします。



**7** 日付と時刻を設定します。  
「時刻と日付を表示する」（44ページ）・「時刻や日付をセットする」（63ページ）を参照してください。

必要に応じて、以下を設定します。

「消費税率について」（19ページ）「単価・割引率・丸めの設定」（64、65ページ）

「商品名とメッセージの設定」（75ページ～）「その他の設定」（92ページ～）

**8** レジスターをご使用いただけます。  
情報センタに接続します。マルチ決済端末を使用する場合は次ページに進みます。  
電子店名スタンプ（RAC-13）が到着したら取り付けます。（130ページ）

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# お使いになる前の準備

## 設置の手順②（情報センタへの接続作業の内容）

情報センタへの接続やマルチ決済端末の接続作業は専門業者が行ないます。（以下に概略を示します）

- 1 レジスターとマルチ決済端末を接続します。バーコードスキャナがあれば、それも接続します。
- 2 レジスターに、磁気カードリーダーを取り付けます。
- 3 レジスターをインターネット回線に接続します。
- 4 インターネット接続キー（RAC-12）を装着します。
- 5 レジスターの電源プラグ、インターネット回線機器の AC アダプタの電源プラグを家庭用 100V コンセントに差し込みます。
- 6 レジスター、インターネット回線機器の電源を ON にして動作を確認します。

## 設置の手順③（情報センタへの接続作業の内容）

情報センタ接続作業後は、以下の手順に沿って設置してください。

- 1 レジスターを開設します。  
必要に応じて、以下を設定します。  
「音量の設定」（KT-10 取扱説明書）
- 2 ネットワークレジスターをご使用いただけます。  
情報センタに接続し、サービスを受けることができます。（別途契約が必要なサービスもあります。）

- ⚠注意**
- ・電源は必ず指定された電源・電圧のコンセントを使用し、電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
  - ・電源コンセントは、本機の電源コードが簡単に届き、また電源プラグの抜き差しが容易である場所を選んでください。
  - ・長期間本機を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。

# お使いになる前の準備

## 消費税率について

ご購入時、税率は、「8%」に、税額の円未満の処理は「四捨五入」に設定されています。税率の設定については、「消費税率の設定」(69 ページ)を、税額の円未満の処理については、「消費税額の円未満の端数処理を設定する」(74 ページ)を参照してください。

## 課税方式について

消費税の課税方式には3つの方式があります。ご購入時は「内税方式」に設定されています。

内税方式 (ご購入時)	外税方式	非課税方式
商品金額に消費税8%が含まれているものを販売する方式 例：価格 1,000 円 本体価格 926 円 (消費税額 74 円) 合計 1,000 円 受取	商品金額に消費税8%が含まれていないものを販売する方式 例：価格 1,000 円 本体価格 1,000 円 (消費税額 80 円) 合計 1,080 円 受取	消費税を計算しない(消費税を課税しない)で販売する方式 例：価格 1,000 円 本体価格 1,000 円 (消費税額 0 円) 合計 1,000 円 受取

内税方式でご使用のときは、このままご使用いただけます。

内税方式以外でご使用のときは、

- ・「課税方式の一括設定」(69 ページ)
  - ・「すべての商品を非課税扱いにする」(67 ページ)
  - ・「課税方式(内税/外税/複数税率/非課税)の設定」(68 ページ)
- を参照して課税方式の設定を変更してください。

複数税率に対応するときは、税1と税2の両方を設定してください。

- ・「すぐに税率を変更する」(71 ページ)
- ・「税率改定の予約機能を設定する」(72 ページ)

	税率初期設定		設定後の税率	部門の課税方式初期設定
税1内税	8%	→	A%	部門1～25(税1内税)
税1外税	8%	→	A%	—
税2内税	0%	→	B%	—
税2外税	0%	→	B%	—
非課税	—	→	—	—

軽減税率でご使用のときは対応する部門キーなどの設定変更が必要です。「課税方式の設定」(68 ページ)を参照して、課税方式の設定を税2へ変更してください。(対応する部門キーなど)混在するときは、例えば部門1を「税1内税(10%)」、部門2を「税2内税(8%)」のように設定して使いわけてご使用ください。

**消費税の設定後、レジスターをお使いいただけます。**

「奉仕料」の計算が必要な場合は、「奉仕料率を設定する」(113 ページ)を参照して設定してください。







# お使いになる前の準備



## 一日の仕事の流れ

一日の仕事の流れについて、以下に説明します。


### 開店前

- ✓ 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認します。
- ✓ ロールペーパーが充分にあるか確認します。ないときは交換します。  
参照  **ロールペーパーを交換する** 128 ~ 129 ページ
- ✓ 情報センタに接続して使用する場合は、レジの開設操作を行いません。  
参照  **レジスターを開設する** 22 ページ
- ✓ 日付と時刻を確認します。  
参照  **時刻および日付を表示する** 44 ページ
- ✓ 釣銭用の小銭をドロアーに用意して入金登録します。  
参照  **売上に関係ない現金をドロアーに入れる** 45 ページ

### 営業中

- ✓ 商品の売上を登録します。  
参照  「基本的な操作」 23 ページ～
- ✓ 必要に応じて売上の確認をします。  
参照  「売上の点検」 56 ページ

### 閉店後

- ✓ 一日の売上を打ち出します。  
参照  **一日の売上を精算する** 33 ページ
- ✓ ドロアー内のお金を取り出して出金登録します。
- ✓ モードスイッチの位置を「OFF」にします。

今日も一日お疲れ様でした。

ドロアーが閉まっていると、現金が入っていると思ってレジごと持ち去る盗難が発生しています。レジがないと翌日の営業にも影響します。閉店後、現金を取り出したらドロアーを開けたままにしておくことをお勧めします。

# お使いになる前の準備

## レシート/ジャーナル/領収書の見方

レシートとジャーナルの印字内容は、ほぼ同じです。ただし、レシートには店名ロゴが印刷されます。レシートを発行したくない場合は、レシート発行/停止スイッチを押してレシート停止にします。(10ページ)

ジャーナル用紙を節約するには、1.高さが半分の文字で印字する(下記印字例参照 71 ページ)、2. 明細を印字しない設定をする(85 ページ) という2つの方法があります。

### レシート

**御計算書**

日付/時刻 2016年07月31日 09:23  
レジ担当者 担当-A 0001-000008

部門登録	部門 02	5,780	
	部門 01	360	
	部門 01	360	
	部門 01	360	
個数/単価	10点	@128	
乗算登録	部門 03	1,280	
PLU登録	PLU0027	880	
値引き	=	-100	
	部門 03	2,600	
	部門 04	3,000	非課税シンボル
小計	小計	¥14,520	
割引	%-	-5%	-726
買上点数	17点		
内税対象額	内税対象計	8.0%	¥10,944
	内税額		(¥811)
	非課税額		非課税合計 ¥2,850
合計額	合計	¥13,794	
預かり額	お預り	¥15,000	
釣り銭額	お釣	¥1,206	

店名ロゴ部分  
メッセージ印字も可能  
です。(77ページ)

### ジャーナル (圧縮印字例)

2016年07月31日 09:23  
担当 -01 0001-000008

部門 02	5,780
部門 01	360
部門 01	360

### ジャーナル (通常印字例)

部門 01	360
10点	@128
部門 03	1,280
PLU0027	880
-	-100
部門 03	2,600
部門 04	3,000
小計	¥14,520
%-	-5%
	17点
内税対象計	8.0%
内税	¥10,944
非課税合計	(¥811)
合計	¥2,850
合計	¥13,794
お預り	¥15,000
お釣	¥1,206

2016年07月31日 09:23  
担当 -A 0001-000008

一連No 000008 領収書一連番号  
領収No 000002 領収書連番号  
領収金額 ¥13,794

### 領収書

2016年07月31日

1 一連 No000025  
2 領収 No000004

**領 収 書**

様

**¥60,000**

対象計 8.0% ¥60,000  
内税 ¥4,444

(但し として正に領収いたしました)  
印刷面を内側に折って保管願います

7 収入印紙

**カシオ商店** 渋谷区本町 1-6-2  
電話 1234-5678

- 1: レシート一連番号  
2: 領収書一連番号  
3: お客様名を書き込みます

- 4: 領収書中の税額  
5: 但し書きを書き込みます  
6: 店名印字スペース

- 7: 収入印紙貼付欄

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# 基本的な操作

## レジスターを開設する (情報センタをお使いになる場合は必須です)

情報センタに接続して電子決済や売上分析を行なう場合は、レジスターの開設操作を営業開始時に行なわなければなりません。開設を行なわないと、ネットワークレジスターとして使用できません。

### 操作例

レジスターを開設する

#### 手順

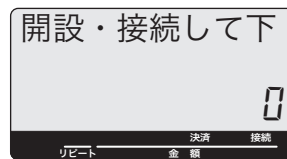
#### 表示例

#### 印字例

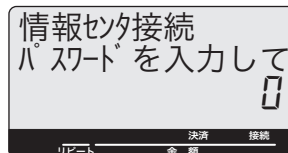
1 を押して表示を確認します。



※ 「開設・接続して下さい。」と表示する場合は次のステップに進みます。表示していなければ以下の操作は必要ありません。



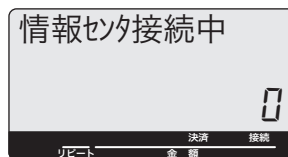
2 を押します。



3 開設パスワードを置数し、 を押します。



※ パスワードが設定されていない場合はそのまま を押します。



- ・電子決済や情報センタでの売上分析を受ける場合は、必ずレジスターの開設をしなければなりません。
- ・また、日計精算を行なうとレジスターは閉設されます。日計精算後にクレジットの決済を行なうときは、再度レジスターを開設します。



**注意** 情報センタとの接続前にレジスターをお使いになっていた場合は、最初のレジ開設時は上記項目2の代わりに

**2 0092** を置数して を押します。

**0092** と、操作してください。

開設パスワードを変更する場合、以下の操作後、ガイダンスに従って新しいパスワードを設定します。

① 設定モードに回す

② **7** 小計 **8520** 小計 (表示されるガイダンスに従って操作してください) 終了したら元のモードに戻します。



# 基本的な操作

## 商品1つを売上登録する

商品1つを現金でお買い上げになったときの例を示します。


### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,200	1	部門1 [+1]	¥2,000

### 手順

### 表示例

### 印字例

**1** オペレータキー (  ) を使って、登録モードに合わせます。  
(以下の節も、指定が無い限り同じです。)

**2** 商品の単価と部門キーを押します。

1 2 0 0 [+ 1]


1点	¥1,200	登録累計
部門01		登録部門名
	1,200	登録金額
レシート 決済 接続 金額		

2016年07月31日 09:20		000013
部門01		1,200
内税対象計	8.0%	¥1,200
内税		(¥89)
合計		¥1,200
お預り		¥2,000
お釣		¥800

**3**  を押します。

小計

1点	¥1,200	合計金額
小計		1,200
レシート 決済 接続 金額		

**4** 預かり金額を入力して  を押して取引を締め(終了)します。

2 0 0 0 

お預り	¥2,000	預かり金額
お釣		800
レシート 決済 接続 金額		

本書内の説明は、「税率8%の内税方式」の消費税計算（円未満は「四捨五入」）での操作方法、およびレシートの印字例を記載しています。  
税率が変更された場合、外税・非課税が混在する場合に、操作方法は変わりませんが印字内容は異なります。ご注意ください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# 基本的な操作

## 商品3つを売上登録する

商品3つを貸し売り（掛け売り）でお買い上げになったときの例を示します。

### 操作例

単価	数量	部門キー	貸し売り
¥300	1	部門1 (+1)	¥2,100
¥800	1	部門2 (-2)	
¥1,000	1	部門3 (x3)	

### 手順

### 表示例

### 印字例

- 1** 商品の単価と部門キーを押します。  
商品の数だけ繰り返します。

3 0 0 0 + 1

8 0 0 0 - 2

1 0 0 0 x 3

1点 ¥300  
部門01  
300

2点 ¥1,100  
部門02  
800

3点 ¥2,100  
部門03  
1000

2016年07月31日 09:35  
000014

部門01 300  
部門02 800  
部門03 1,000

内税対象計 8.0% ¥2,100  
内税 (¥156)

貸 ¥2,100

- 2** 商品をすべて入力したら **小計** を押します。

小計

3点 ¥2,100  
小計  
2,100

- 3** **貸** を押します。

貸

貸  
2,100





# 基本的な操作

## 同じ商品を複数売り上げる (リピート)

同じ商品をいくつかお買い上げになったときの例を示します。たくさんお買い上げの場合は、次の節に示した乗算をお使いください。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥300	3	部門 2 <b>- 2</b>	¥2,000
¥500	2	部門 1 <b>+ 1</b>	

### 手順

### 表示例

### 印字例

- 商品の単価と部門キーを押します。  
商品の数量分部門キーを繰り返し押します。

**3 0 0** **- 2**



**- 2** (2個目の登録)



**- 2** (3個目の登録)



リピート回数



- 商品の単価と部門キーを押します。  
商品の数量分部門キーを繰り返し押します。

**5 0 0** **+ 1**



**+ 1** (2個目の登録)



**注意** リピート回数は、10回以上のとき下1桁だけを表示します。

- 小計** を押します。

**小計**



- 預かり金額を入力して **現/預** を押します。

**2 0 0 0** **現/預**



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# 基本的な操作

## 同じ商品を複数売り上げる（乗算登録）

同じ商品をたくさん（1ダースなど）お買い上げになったときの例を示します。

### 操作例

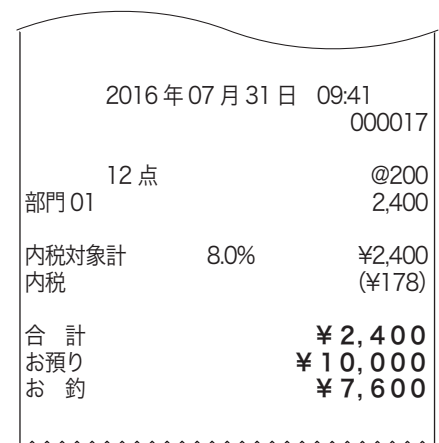
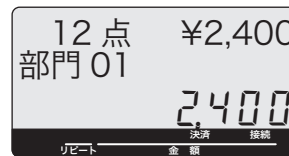
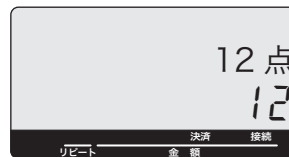
単価	数量	部門キー	預かり金
¥200	12	部門1 (+1)	¥10,000

### 手順

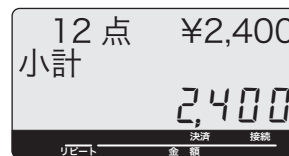
### 表示例

### 印字例

1 商品の数量、、単価、部門キーの順に押します。



2 商品をすべて入力したら  を押します。



3 預かり金額（万円券キー）を入力して  を押します。



乗算登録の「数量」の範囲は「0.001～9999.999」です。「数量×単価」という入力順番を入れ替えて、「単価×数量」とすることもできます。(37、103ページ)

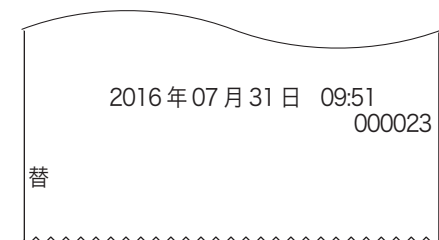
## 両替などでドロアーを開ける

両替など「取引」以外でドロアーを開けるときの操作です。

### 手順

### 印字例


1  を押します。ドロアーが開きます。



両替は、登録操作が完了しているときに数値を入れずに  を押します。

# 領収書を発行する

## 領収書を発行する

領収書を依頼されたときは、売上レシートを発行した後に  を押します。なお、レシートスイッチが「停止」の場合でも領収書が発行できます。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥500	10	部門4 (+4)	¥60,000
¥30,000	1	部門2 (-2)	
¥25,000	1	部門1 (+1)	

この登録の後で領収書を発行する

### 手順

1 例題に示された商品を登録します。


10  5000 

30000 

25000 

小計

6 万円 

2  を押します。





領収書には、電子店名スタンプ (130 ページ) で自店専用のロゴを印字することができます。電子店名スタンプはレジスターに同梱されている電子店名スタンプ申込書にご記入の上、ご発注ください。

### 印字例

レシート一連番号

カシオ商店  
渋谷区本町 1-6-2  
電話 1234-5678

2016年07月31日 10:02  
000025

10点	@500
部門04	5,000
部門02	30,000
部門01	25,000

内税対象計	8.0%	¥60,000
内税		(¥4,444)

合計	¥60,000
お預り	¥60,000
お釣	¥0

### 領収書印字例

2016年07月31日

1 一連 No000025

2 領収 No000004

3

様

¥60,000-

対象計 8.0% ¥60,000

内税 ¥4,444

(但し として正に領収いたしました)

印刷面を内側に折って保管願います

印

7 収入印紙

カシオ商店 渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678

1: レシート一連番号

2: 領収書一連番号

3: お客様名を書き込みます

4: 領収書中の税額

5: 但し書きを書き込みます

6: 店名印字スペース

7: 収入印紙貼付欄

但し書きは数種類から選ぶことができます。(66 ページ)適切なものがなければ空白を選び手書きしてください。



・収入印紙を貼付欄は、合計金額が 50,000 円以上で自動的に印字されます。

・印紙の必要な金額が変わりましたらその額に変更してください。(99 ページ)

・日計明細レポート上も、収入印紙貼付の有無の領収書の発行枚数/発行金額を分けて集計します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 領収書を発行する

## 金額指定の領収書を発行する

別のお客様のお買い上げ処理が終わってから前のお客様に領収書を依頼された場合は、お客様のお買い上げ金額を入力して領収書を発行します。

### 手順


1 領収書の額面金額を入力し  を押します。

**5000** 

### 領収書印字例

2016年07月31日 一連 No000025 領収 No000004	<b>領 収 書</b>	
	様	
	<b>¥5,000-</b>	印
(但し として正に領収いたしました) 印刷面を内側に折って保管願います		
<b>カシオ商店</b>		渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678



金額指定の領収書を発行する場合は、登録操作が完了しているときに、金額を入れて  を押します。  
この場合、税額は印字されません。

### 領収書発行時のレシート用紙のご注意

- 領収書を発行したり、ジャーナルを保存される場合は、高保存タイプのロールペーパーを使用することをお勧めします。
- 収入印紙貼付後や捺印後は、完全に乾くまでこすらないでください。
- 未使用の感熱紙（サーマル用紙）を保管したり、印字後のジャーナルを保存する場合は、光にさらしたままにしないように注意してください。
- お客様に領収書をお渡しするときは、手を汚されないように印字面を内側にして2つ折りにしてお渡しください。

# 操作をまちがえたとき

キー操作をまちがえた場合、**C/AC** または **訂正中止** で訂正できます。**C/AC** で訂正できるのは、**1** ~ **9**、**0** および **00** の数字キーの入力です。その他の訂正には **訂正中止** を使用します。( **訂正中止** で訂正できないまちがいもあります。)

## 部門・取引キーを押す前に訂正する

部門キーや取引キーを押す前は、すべて **C/AC** で訂正できます。

### 操作例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥120	1	部門1 <b>+ 1</b>	④ ¥3,000
②	¥200	5	部門1 <b>+ 1</b>	
③	¥105	10	部門2 <b>- 2</b>	

上記登録途中でのまちがい

#### 操作例①

単価を押しまちがえた

##### 手順

**1** **C/AC** を押します。

**1 2 00** **C/AC**

**2** 正しく入力し、部門キーを押します。

**1 2 0** **+ 1**

#### 操作例②

数量をまちがえて **X/日時** を押した  
(単価を入れて **X/日時** を押した)

##### 手順

**1** **C/AC** を押します。

**2 0 0** **X/日時** **C/AC**

**2** 正しく入力し、部門キーを押します。

**5** **X/日時** **2 0 0** **+ 1**

#### 操作例③

乗算で単価をまちがえた

##### 手順

**1** **C/AC** を押します。

**1 0** **X/日時** **1 5 0** **C/AC**

**2** 正しく入力し、部門キーを押します。

**1 0** **X/日時** **1 0 5** **- 2**

#### 操作例④

預かり金額をまちがえた

##### 手順

**1** **C/AC** を押します。

小計 **5 0 0 0** **C/AC**

**2** 正しく入力し、**現/預** を押します。

小計 **3 0 0 0** **現/預**

ご使用前に

使い方


便利な使い方

設定の仕方



こんなときは

# 操作をまちがえたとき

## 部門キーを押した直後に訂正する

部門キーを押した直後は  で訂正できます。


### 操作例

	単 価	数量	部門キー	預かり金
①	¥505	1	部門1 	¥2,000
②	¥230	3	部門3 	

上記登録途中でのまちがい

### 手順

①単価をまちがえて入力し、部門キーを押した


1  を押します。



2 正しく入力し、部門キーを押します。





②乗算時、単価をまちがえて入力し、部門キーを押した

1  を押します。



2 正しく入力し、部門キーを押します。



3  を押し、預かり金を入力して  を押します。




### 印字例

2016年07月31日 10:35		000037
部門01		505
3点		@230
部門03		690
内税対象計	8.0%	¥1,195
内税		(¥89)
合 計		¥1,195
お預り		¥2,000
お 釣		¥805

## 登録途中の商品すべてを取り消す

登録をもう一度やり直す場合は、 で一括取消をして再度登録をします。



### 操作例

単 価	数量	部門キー	預かり金
¥350	12	部門4 	-
¥1,280	1	部門2 	

### 手順

1 例に示した登録をします。



2  を押したあと  を押します。



### 印字例

2016年07月31日 10:41		000040
12点		@350
部門04		4,200
部門02		1,280
取引中止		.....

**注意**  は必ず押してください。押し忘れると最終行だけの訂正になります。





レシートが発行されたあとでまちがいに気づいた場合や、商品の返品があった場合などは《返品戻し処理》を行いません。返品戻し処理には、《取引終了後の返品》と、《取引中の返品》の2種類があります。

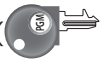
## 取引終了後の返品

取引を終了した（レシート発行を終えた）商品の「返品戻し」は、モードスイッチの位置を「戻」に合わせ、その商品を売り上げたときと同じ操作を行いません。

### 操作例

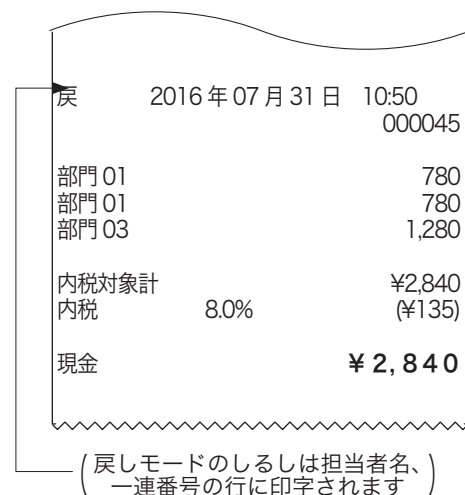
単 価	数量	部門キー	預かり金
¥780	2	部門1 <input type="button" value="+1"/>	現 金
¥1,280	1	部門3 <input type="button" value="×3"/>	

### 手順

- 1 オーナーキー（) を使って、戻しモードに合わせます。
- 2 例に示した登録操作を行いません。  

<input type="button" value="7"/>	<input type="button" value="8"/>	<input type="button" value="0"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="1"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="1"/>
<input type="button" value="1"/>	<input type="button" value="2"/>	<input type="button" value="8"/>	<input type="button" value="0"/>	<input type="button" value="×"/>	<input type="button" value="3"/>	
<input type="button" value="小計"/>		<input type="button" value="現/預"/>				
- 3 登録モードに合わせます。
- 4 オーナーキーをモードスイッチから抜きます。  
(必要があれば、オペレータキーと挿し替えます)

### 印字例



**注意** 戻モードでの処理が終わったら、モードスイッチの位置を「登録」に戻します。オーナーキーは精算操作や設定ができますので、普段から挿したままにしないでください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



## 取引中の返品

現在売り上げ処理中の商品の返品や訂正は、モードスイッチの位置を「登録」のまま **戻** を使って行ないます。**現/預** を押した後でその登録の誤りに気づいた場合は、前節の《取引後の返品》を行ないます。

### 操作例

単 価	数量	部門キー	預かり金
¥720	1	部門4 <b>÷ 4</b>	現 金
¥1,530	2	部門2 <b>- 2</b>	
返品処理→¥720	1	部門4 <b>÷ 4</b>	

### 手順

### 印字例

**1** 例に示した通常の商品登録を行ないます。

**7 2 0** **÷ 4** **1 5 3 0** **- 2** **- 2**

**2** **戻** を押して返品する商品を登録します。

**戻**

**7 2 0** **÷ 4**

**3** **小計** と **現/預** を押します。

**小計** **= 現/預**

2016年07月31日 10:53		
000048		
部門04		720
部門02		1,530
部門02		1,530
戻	.....	
部門04		-720
内税対象計	8.0%	¥3,060
内税		(¥227)
現金		<b>¥ 3,060</b>



# 閉店後の操作～精算

閉店後には、その日の売上の精算を行いません。精算後は、時刻、日付、各種設定内容および精算回数を除いて、印字された内容がクリアされます。

※このレジスターで発行できるレポートに付いては、54 ページ以降にも記載されています。

※マルチ決済端末をご使用の場合、このレポートの前にクレジット日計明細を印字します。

## 一日の売上を打ち出す

### 手順

日計明細の精算は、オーナーキー ( ) でモードスイッチの位置を「精算」にして を押します。

### 印字例

精算	2016年07月31日 17:53	日付/時刻
担当-A	0001-000248	★責任者名/マシン番号/一連番号
固定合計器	精算機	レポートタイトル/モード
日計	0001011 Z 0002	レポートタイトル、コード/精算シンボル/精算回数
総売上	1060点	総売上 { 個数
	¥524,966	{ 金額 * 1
純売上	158件	純売上 { 件数
	¥498,747	{ 金額 * 2
現金在高	¥405,361	現金在高
現計	¥405,360	現金在高申告値
現金	¥1	在高過不足 (一は不足、+は過剰を示す)
責任高	¥40,000	貸し売り在高
商品券在高	¥2,890	商品券在高
クレジット在高	¥37,405	信用売り在高
戻モード	1件	「戻」モード { 件数
	¥6,372	{ 金額
万円	17枚	万円券枚数
サービス	¥376	5円/10円丸め合計
取引中止	2件	取引中止 { 件数
	¥297	{ 金額
電卓	18件	電卓モードの計算回数
領収書 印紙	1件	印紙付き領収書 { 件数
	¥36,372	{ 金額
領収書	2件	印紙なし領収書 { 件数
	¥23,563	{ 金額
内税対象計	¥330,584	内税 { 対象額 (税込み)
内税 8.0%	¥15,742	{ 消費税額
消費税合計	¥15,742	
非課税合計	¥153,051	非課税額合計
1万円札 15枚	¥150,000	在高申告値
	¥15,000	
取引	精算機	レポートタイトル/モード
日計	0001012 Z 0002	レポートタイトル、コード/精算シンボル/精算回数
現金	48件	現金売上 { 件数
	¥405,381	{ 金額
貸	5件	貸し売上 { 件数
	¥40,295	{ 金額
券	1件	商品券売上 { 件数
	¥2,890	{ 金額
クレジット	3件	クレジット売上 { 件数
	¥37,405	{ 金額
入金	1件	入金 { 件数
	¥10,000	{ 金額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# 閉店後の操作～精算

## 印字例

%-	1 件	割引き	{ 件数 金額
戻	¥9,234	戻	{ 回数 金額
訂正	3 件	直前訂正	{ 回数 金額
	¥10,873	レシート発行件数	
レシート	6 件	両替回数	
#/替	¥4,905		
.....	19 件	レポートタイトル/モード	
部門	3 件		
	精算レポート	レポートタイトル、コード/精算シンボル/精算回数	
日計	0001015 Z 0002		
部門 01		部門 + 1	{ ★構成比/個数 ★構成比/金額
個数 47.64%	505 点		
金額 44.04%	¥231,167	部門 - 2	
部門 02			
個数 38.77%	411 点		
金額 39.75%	¥208,689		
部門 03			
.....		部門合計	{ 個数 金額
個数	700 点		
金額	¥524,966		
.....		レポートタイトル/モード	
グループ	精算レポート		
日計	0001016 Z 0002	レポートタイトル、コード/精算シンボル/精算回数	
	2016 年 07 月 28 日	前回精算日付	
グループ 01		グループ 01 キャラクタ	
個数 8.15%	47 点	★構成比/個数	
金額 4.89%	¥14,582	★構成比/金額	
グループ 02		グループ 02	
個数 6.59%	38 点		
金額 5.24%	¥15,624	グループ 03	
グループ 03			
金額 2.18%	¥6,512		
.....			
合計		精算分の合計個数	
個数	576 点	精算分の合計金額	
金額	¥297,836		
.....			

# 閉店後の操作～精算

## 印字例

時間帯	精算レポート	レポートタイトル/モード
日計	0001019 Z 0002	種別コード/精算シンボル/精算回数
07:00 -> 07:30		時間帯 07:00 ~ 07:30
客数 0.22%	13名	★構成比/件数 (客数)
個数 0.17%	67点	★構成比/個数
金額 0.17%	¥30,230	★構成比/純売上金額
07:30 -> 08:00		時間帯 07:30 ~ 08:00
金額 0.02%	10名	
合計		時間帯総合計
客数	5,773名	件数合計 (客数合計)
個数	38,072点	売上個数合計
金額	¥17,058,650	純売上金額合計
PLU	精算レポート	レポートタイトル/モード
日計	0001014 Z 0002	種別コード/精算シンボル/精算回数
PLU0001	#0001	PLU0001 キャラクタ/ PLU No.
個数 1.81%	126点	★構成比/個数
金額 1.23%	¥38,430	★構成比/金額
PLU0003	#0003	PLU0003
個数 1.35%	94点	
金額 0.95%	¥29,892	
PLU0007	#0007	PLU0007
個数 2.33%	162点	
金額 1.13%	¥35,324	
PLU0016	#49177008	スキャニング PLU / PLU code
個数 2.03%	141点	
金額 1.83%	¥57,246	
合計		合計個数
個数	4,163点	合計金額
金額	¥1,872,484	

★印の項目を印字するには、設定の変更 (93 ページ) が必要です。

※個数や件数、金額がすべて“0”だと、その部門や担当者は印字されません。

※マルチ決済端末をご利用のときは、クレジットカード取引明細をこの前に印字します。KT-10 取扱説明書を参照してください。

この印字例の中をはじめ、54 ページ以降に示した点検/精算レポートで印字される各項目の間には、以下の関係式があります。

- \*<sub>1</sub> 総売上 = 部門合計+部門リンクしていない PLU 合計：個数、金額とも (部門リンク 105 ページ)
- \*<sub>2</sub> 純売上 = 現金売上額+貸し売上+商品券売上  
= 総売上-値引き-割引き-5円/10円丸め合計  
( = お客様の支払い額の総合計)
- \*<sub>3</sub> 現金在高 = 現金売上+入金合計-出金合計 (券売りでおつりがない場合)  
= 総売上-値引き-割引き=内税対象額+外税対象額+非課税額合計

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# 部門キーの便利な使い方

## 単価設定した部門キーで商品を上上げる

よく使われる商品金額を部門キーに設定できます。設定された単価の商品を登録する場合は、単価の置数は不要です。直接そのキーを押してください。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥800 (キーに設定済み)	1	部門2 <input type="button" value="-2"/>	¥6,000
¥1,200	1	部門2 <input type="button" value="-2"/>	
¥800 (キーに設定済み)	4	部門2 <input type="button" value="-2"/>	

### 手順

### 表示例

### 印字例

**1** 部門キーを押します。設定単価が呼び出されます。

1点 ¥800  
部門02  
800  
決済 接続  
レポート 金額

**2** 設定された単価と異なる場合、その価格を入力して部門キーを押します。

2点 ¥2,000  
部門02  
1,200  
決済 接続  
レポート 金額

**3** 乗算登録も同様です。

6点 ¥5,200  
部門02  
3,200  
決済 接続  
レポート 金額

**4** レシートを発行します。

6点 ¥5,200  
小計  
5,200  
決済 接続  
レポート 金額

お預り ¥6,000  
お釣  
800  
決済 接続  
レポート 金額

2016年07月31日 11:12  
000062  
部門02 800  
部門02 1,200  
4点 @800  
部門02 3,200  
内税対象計 8.0% ¥5,200  
内税 (¥385)  
合計 ¥5,200  
お預り ¥6,000  
お釣 ¥800



**ポイント** 商品が部門キーに設定されているものと異なる単価の場合、その価格を入力してから部門キーを押します。この場合でも設定されている単価は消えません。

「商品単価を部門キーに設定する」(64 ページ) を参照してください。





# 部門キーの便利な使い方

## 単価×数量の順番で商品売り上げる

ご購入時の乗算登録は「数量」×「単価」の順に入力しますが、これを「単価」×「数量」の順で入力します。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥380	8	部門1 (+1)	¥10,000
¥160	5	部門2 (-2)	
¥500 (キーに設定済み)	10	部門3 (×3)	

### 手順

### 表示例

### 印字例

1 単価を入力して  $\times/\text{日時}$  を押し、数量を入力して部門キーを押します。

3 8 0  $\times/\text{日時}$  8 + 1



1 6 0  $\times/\text{日時}$  5 - 2



2 設定単価を使用する場合は、 $\times/\text{日時}$  の前の単価入力不要です。

$\times/\text{日時}$  1 0  $\times$  3



3 レシートを発行します。

小計



万円  $\frac{\text{現}}{\text{預}}$



2016年07月31日 11:15		000065
部門01	8点 @380	3,040
部門02	5点 @160	800
部門03	10点 @500	5,000
内税対象計	8.0%	¥8,840
内税		(¥655)
合計		¥8,840
お預り		¥10,000
お釣		¥1,160

「乗算キーの機能を設定する」(111ページ)を参照してください。



「単価」×「数量」の順番で乗算登録できるのは、部門キーだけです。この機能を使用すると、「PLUの乗算登録」、「スキャンング PLU の乗算登録」と、「時刻・日付の表示」ができません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# PLU の便利な使い方

## PLU について

設定されている商品単価や商品名を番号（品番など）を指定して呼出して登録する機能です。

部門登録：商品単価を置数 ⇒ 該当部門キーを押すという手順で

PLU 登録：PLU 番号を置数 ⇒ **PLU** を押すという手順です。

PLU はプライス・ルック・アップの略で、価格（プライス）を探して（ルック）登録する（アップ）という意味が有ります。PLU 個々に売上金額と個数が集計されますので、商品単品の売上状況をつかむことができます。PLU はお買い上げの状態です。20,000 本あります。このうち 19,784 本をスキャンング PLU として使用します。

**注意** 各 PLU には登録前に単価を設定しておく必要があります。

「商品単価を PLU に設定する」（64 ページ）、「PLU の商品名をリストから選んで設定する」（75 ページ）、「PLU へ商品名を設定する」（83 ページ）を参照してください。

## PLU を使って登録する

### 操作例

単 価	数量	PLU 番号	預かり金
¥2,000	1	PLU No.200	¥10,000
¥150	12	PLU No.150	
¥1,200	2	PLU No.109	

### 手順

### 表示例

### 印字例

1 PLU 番号を入力して **PLU** を押します。設定単価を呼び出します。

**2000** **PLU**

1 点 ¥2,000  
PLU0200  
2,000  
決済 接続  
レポート 金額

2 乗算登録は最初に個数を入力します。

**12** **X/日時** **150** **PLU**

13 点 ¥3,800  
PLU0150  
1,800  
決済 接続  
レポート 金額

3 リポート登録は個数分 **PLU** を押します。

**109** **PLU** **PLU**

15 点 ¥6,200  
PLU0109  
2 1,200  
決済 接続  
レポート 金額

4 レシートを発行します。

小計 万円 **現/預**

お預り ¥10,000  
お釣 3,800  
決済 接続  
レポート 金額

2016年07月31日 11:25  
000067  
PLU0200 2,000  
12 点 @150  
PLU0150 1,800  
PLU0109 1,200  
PLU0109 1,200  
内税対象計 8.0% ¥6,200  
内税 (¥459)  
合 計 ¥6,200  
お預り ¥10,000  
お 釣 ¥3,800

# PLU の便利な使い方



## 品番 PLU 機能とは？

品番 PLU は、同じジャンルの商品でありながらアイテムごとに異なる単価を持つもの（例えば精肉や鮮魚など、アイテムの重さで単価が異なるもの）の登録を行なうときに使用できます。なお、品番 PLU を使うには **PLU** のほかに **金額** が必要です。個々の PLU に「品番 PLU」として使用するか／使用しないかの設定があります。品番 PLU として使用するためには、該当 PLU は「品番 PLU として使用する」と設定していなければなりません。登録の手順は、番号を入れて **PLU** を押し、その後に単価を入れて **金額** を押しはじめて登録が行なわれます。（単価を入れずに直接 **金額** を押せば、設定されている単価で登録できます）

**注意** 品番 PLU 機能が必要な場合は、事前に PLU に設定してください。

「PLU に品番 PLU を設定する」（106 ページ）を参照してください。

## 品番 PLU を使って登録する

### 操作例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥850	2	PLU No.303 (品番 PLU 設定済み)	¥4,000
¥98	9	PLU No.28 (品番 PLU 設定済み)	
¥480 (単価設定済み)	1	PLU No.232 (品番 PLU 設定済み)	

### 手順

### 表示例

### 印字例

1 品番を入力し **PLU**、単価 **金額** を押します。

**303** **PLU** **850** **金額**

2 リポート登録は個数分 **金額** を押します。

**金額**

3 乗算登録では、最初に個数を入力します。

**9** **×/日時** **28** **PLU** **98** **金額**

4 設定単価を使う場合は単価を入力せずに **金額** を押します。

**232** **PLU** **金額**

5 レシートを発行します。

**小計** **4000** **現/預**

1点 ¥850  
PLU0303  
850

2点 ¥1,700  
PLU0303  
2 850

11点 ¥2,582  
PLU0028  
882

12点 ¥3,062  
PLU0232  
480

お預り ¥4,000  
お釣 938

2016年07月31日 11:27  
000069

PLU0303	850	
PLU0303	850	
9点	@98	
PLU0028	882	
PLU0232	480	
内税対象計	8.0%	¥3,062
内税		(¥227)
合計		¥3,062
お預り		¥4,000
お釣		¥938

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# スキャンング PLU の使い方

スキャンング PLU をお使いいただくためには、バーコードスキャナの準備と情報センタとの契約（「スキャンングサービス」）が必要です。さらに「スキャンングサービス」を受けると、スキャンング PLU を自動学習したときに、その商品名称を情報センタで探して設定します。

**注意** お取り扱いの商品の種類によっては、スキャンングサービスをご契約になっても、商品名を自動的に設定できないことがあります。

## スキャンング PLU について

商品上に貼付されたバーコードラベルをスキャナで読取り、商品登録を行ないます。本機はお買い上げの状態ですべて 19,784 本のスキャンング PLU を持っています。

スキャンング PLU を使うために、別売のスキャナを接続します。また、バーコードを読み取れなかった場合は、キーボードからバーコードラベルに書かれた数字を入れて **PLU** を押します。

扱うことのできるバーコードの種類は、JAN-8/13 PLU タイプ、EAN-8/13 PLU タイプ、UPC-A PLU タイプ、UPC-E タイプのバーコードを扱うことができます。

**ポイント** お買い上げの状態では、スキャンング PLU のバーコード情報はレシート、ジャーナル、レポートすべて印字しません。

**注意** スキャナをレジスターに接続する場合、必ず電源コードをコンセントから抜いてから作業してください。スキャナは、コネクタカバー内のスキャナポートに接続します。

## スキャンング PLU の自動学習機能

今までスキャンング PLU を使用する場合は、事前のスキャンング PLU マスタ登録（設定）が必要でした。しかし本レジではマスタ登録が不要です。設定されていないスキャンング PLU アイテムをスキャンしたときは、単価と所属する部門キーを入力するだけで、その商品売上登録と同時にスキャンング PLU マスタに登録されます。

また、自動学習した商品の名前を情報センタのデータベースから探して設定します。もしデータベース上に無い場合は部門名を印字しますので、後ほどお客様ご自身で商品名の設定をしてください。

**ポイント** ・設定されているスキャンング PLU の単価、または、部門を変更することもできます。（64 ページ）  
・スキャンング PLU マスタが一杯になると、最も古く登録されたスキャンング PLU を選び出して、新しく登録されたスキャンング PLU に置き換えられます。

**注意** 設定されていないスキャンング PLU アイテムをスキャンした場合、**C/C** を押さずに単価やリンク部門を入力してください。

# スキャンング PLU の使い方

## スキャンング PLU 商品を売り上げる (新規登録：未学習)

### 操作例

単 価	数量	部門キー	預かり金
¥570	1	商品 A (未設定、部門 3)	¥5,000
¥760	4	商品 B (未設定、部門 3)	

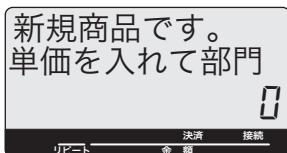
### 手順

### 表示例

### 印字例

1 商品 A のバーコードをスキャンング  
します。

(スキャンング)



2 ガイダンスに従い、単価を入れて  
登録したい部門キーを押します。

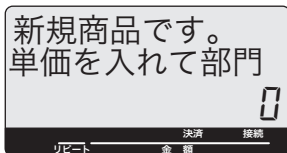
5 7 0 × 3



3 乗算登録では、商品 B の数量を入れ  
[×/日時] を押してスキャンングします。

4 ×/日時

(スキャンング)



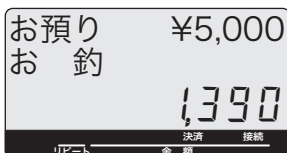
4 ガイダンスに従い、単価を入れて部門  
キーを押します。

7 6 0 × 3



5 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 0 現/預



2016年07月31日 11:40		000074
部門03	4点	570 @760 3,040
内税対象計	8.0%	¥3,610 (¥267)
合計		¥3,610
お預り		¥5,000
お釣		¥1,390

## スキャンング PLU 商品を売り上げる (既存：学習済み)

### 操作例

単 価	数量	スキャンング登録	預かり金
¥760	1	商品 B (設定済み、部門 3)	¥3,000
¥850	2	商品 C (設定済み、部門 4) コード番号 4905360102547	

### 手順

1 スキャンングすると登録が行なわれます。

(スキャンング)

2 スキャナで読めない場合、バーコードを入力し [PLU] を押します。

4 9 0 5 3 6 0 1 0 2 5 4 7 [PLU]

3 リピート登録は個数分、[PLU] を押します。

[PLU]

4 レシートを発行します。

小計 4 0 0 0 0 現/預

### 印字例

2016年07月31日 11:40		000075
部門03		760
部門04		850
部門04		850
内税対象計	8.0%	¥2,460 (¥182)
合計		¥2,460
お預り		¥3,000
お釣		¥540

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# コード印字（不加算印字）の使い方

## 不加算印字キーを使う

お買い上げ金額に関係のない伝票番号、商品コード、お客様番号、クレジット番号などの数値を印字したい場合、その数値を入れたあとで **#** を押します。これを《不加算印字》と言います。（数値は最大16桁まで印字できます）

### 操作例

お客様番号 <1001> に下記の商品売る			
単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,230	1	部門1 <b>+1</b>	¥20,000
¥3,500	1	部門3 <b>×3</b>	
¥8,800 (商品コード 53344830)	1	部門2 <b>-2</b>	

### 手順

**1** お客様の番号を不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

1 0 0 1 **#**  
 1 2 3 0 **+ 1**  
 3 5 0 0 **× 3**

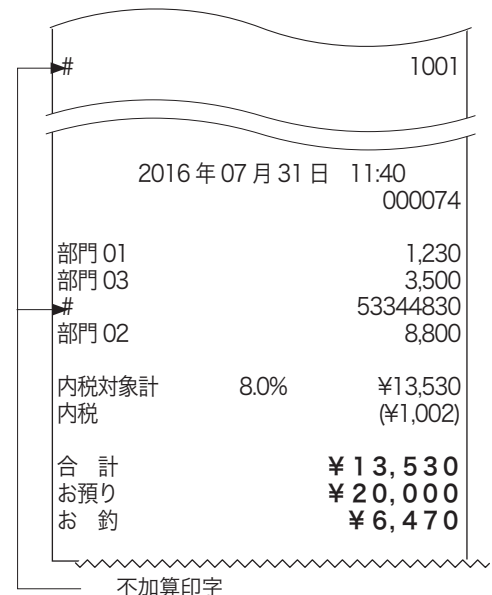
**2** 商品コードを不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

5 3 3 4 4 8 3 0 **#**  
 8 8 0 0 **- 2**

**3** レシートを発行します。

小計 **2** 万円 **=** 現/預

### 印字例





# 万円キー／レシート発行キーの使い方



## 万円キーを使う

万円は、1万円札のお預かりがあったときに使用します。何枚か1万円札を受け取った場合、その枚数を万円の前に入力します。また、1万円未満の金額は万円に続いて入力します。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥10,000	1	部門3 × 3	¥30,600
¥20,550	1	部門4 ± 4	

### 手順

### 印字例

1 商品登録を行います。

1 00 00 × 3  
2 0 5 5 0 ÷ 4

2 預かり金を入力します。

小計 3 万円 6 0 0 現/預



ドローア内にあるべき1万円札の枚数を、点検／精算レポート上の万券枚数で示します。万円を商品登録にも使用できます。

2016年07月31日 12:44		000176
部門03		10,000
部門04		20,550
内税対象計	8.0%	¥30,550
内税		(¥2,263)
合計		¥30,550
お預り		¥30,600
お釣		¥50

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

## レシート発行キーを使う

お客様からレシートを要求されたときだけ、レシートを発行したい場合は、レシートスイッチを「停止」にしておき、要求されたときにレシート発行を押してレシートを発行します。

### 操作例

レシートスイッチ「停止」で、下記の登録後にレシートを発行する。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥150	5	部門2 - 2	¥1,500
¥550	1	部門4 ± 4	

### 手順

### 印字例

1 商品登録を行い、取引を終了します。

5 ×/日時 1 5 0 - 2  
5 5 0 ÷ 4  
小計 1 5 0 0 現/預

2 レシート発行を押して後レシートを発行します。

レシート  
発行



2016年07月31日 12:47		000178
5点	@150	
部門02		750
部門04		550
内税対象計	8.0%	¥1,300
内税		(¥96)
合計		¥1,300
お預り		¥1,500
お釣		¥200



お買い上げの状態では、レシートを発行した取引の後レシートは発行できません。

# 日時の表示／担当者の指定と解除

## 日付と時刻を表示する

 を押すと時刻と日付を表示します。(登録や戻モードでレシートを発行した状態のときに可能です) 時刻や日付を表示していて他の操作を始める場合は、まず  を押して時刻／日付の表示を消します。

手順	表示例	印字例
----	-----	-----

1 日付・時刻を確認します。



(これらの操作で印字はしません)

年-月-日  
時(24時間制)-分  
1秒ごとの点滅

2 日付・時刻表示を解除します。



「時刻・日付の設定」(63ページ)を参照してください。


## 担当者を指定／解除する

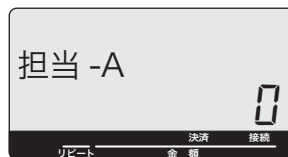
お買い上げの状態では、担当者の指定をする必要はありません。しかし、レシート上に担当者名を印字したい／担当者別売上をとりたい、などの要望がある場合は「担当者を使用する」設定をしてください。この設定をすると、登録時に担当者の指定をしなければなりません。

### 操作例

- ①担当 -A を指定 (サインオン) する。
- ②担当 -A を解除 (サインオフ) する。
- ③担当 -B を指定 (サインオン) する。

手順	表示例	印字例
----	-----	-----

1 担当者 -A の番号 (お買い上げ時は 0001) を入力し、 を押します。




(これらの操作では印字しません)

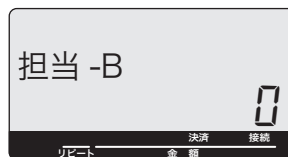
サインオンすると、表示窓に担当者名を表示し、商品登録ができるようになります。

2 "0" を入力し、 を押します。



サインオフすると、担当者の指定が解除されて商品登録できなくなります。

3 担当者 -B の番号 (お買い上げ時は 0002) を入力し、 を押します。



別の担当者をサインオンする前に、サインオンされていた担当者をサインオフします。



- ・担当者を使用する (94 ページ)
- ・担当者番号を変更する (112 ページ)
- ・担当者名を変更する (84 ページ)

表示窓に出てくる担当者番号を表示したくない場合は、担当者番号入力の前に  を押します。



# 入金キー／出金キーの使い方

## 入金キーを使う


貸し売り代金の受取や釣銭用小銭の補充などで、売上ではない現金の入金（現金をドロアーに入れること）があった場合に、 で登録します。

### 操作例

釣り銭準備として、8000円をドロアーに入れる

#### 手順

#### 印字例

1 入金額を置数して  を押します。

**8000** 




ポイント

貸し売り代金の受取や、釣銭用小銭の補充など、売上ではない入金で「現金をドロアーに入れるとき」には、その金額を「入金」として処理します。これにより、「点検・精算」時に、ドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。



## 出金キーを使う


集金や、ドロアーが一杯になったときなど、売上（お釣りや両替）とは関係のない現金の出金（現金をドロアーから出すこと）があった場合に、 で登録します。

### 操作例

1万円札を15枚、ドロアーから金庫に移す

#### 手順

#### 印字例

1 出金額を置数して  を押します。

**15** 万円 



ポイント

集金や、ドロアーが一杯になったときなど、売上（お釣りや両替）とは関係なく「現金をドロアーから出すとき」には、その金額を「出金」として処理します。これにより、「点検・精算」時に、ドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# 値引きをする

## 合計金額から で値引きをする

商品の値引き、または合計の値引きが発生した場合は  で登録します。

### 操作例

単価	数量	部門キー	値引き金額	預かり金
¥1,000	1	部門1 <input type="checkbox"/> +1	¥500	¥5,000
¥2,500	1	部門3 <input type="checkbox"/> ×3		

### 手順

### 印字例

1 商品を登録します。

+ 1

× 3

2  小計 を押します。

小計

3 値引きをします。

-

4 レシートを発行します。

小計   現/預

2016年07月31日 12:18		
		000093
部門01		1,000
部門03		2,500
-	*	-500
内税対象計	8.0%	¥3,000
内税		(¥222)
合計		¥3,000
お預り		¥5,000
お釣		¥2,000

**ポイント**  に、あらかじめ「値引き金額」を設定しておくことができます。なお、値引き金額を入れると設定された金額によらず、その金額で値引きを行いません。

への値引き金額の設定 (65 ページ) を参照してください。

# 割引きをする



## 商品ごとに割引きをする

商品の割引きが発生した場合は、割引き対象商品登録のすぐ後に [%-] を操作します。

### 操作例

単価	数量	部門キー	割引率	預かり金
¥1,000	1	部門1 [+1]	5% (設定済み)	¥5,000
¥2,500	1	部門3 [x3]	7.5%	

### 手順

1 [%-] を押して直前の登録金額から割引き計算をおこないます。

1 0 0 0 + 1

[%-]

2 [%-] の直前に割引率を入力することもできます。

2 5 0 0 x 3

7 . 5 [%-]

3 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 = 現/預

「合計金額から割引きをする」(下記)を参照してください。

### 印字例

2016年07月31日 12:20		
000095		
部門01		1,000
%-	-5%	-50
部門03		2,500
%-	-7.5%	-188
内税対象計	8.0%	¥3,262
内税		(¥242)
合計		¥3,262
お預り		¥5,000
お釣		¥1,738

## 合計金額から割引きをする

合計金額の割引きが発生した場合は、[小計] のすぐ後に [%-] を操作します。

### 操作例

単価	数量	部門キー	割引率	預かり金
¥1,000	1	部門1 [+1]	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門3 [x3]		

### 手順

1 商品を登録します。

1 0 0 0 + 1

2 5 0 0 x 3

2 [小計] を押してから [%-] を押します。

小計 1 0 [%-]

3 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 = 現/預

[%-] への割引き率の設定 (65 ページ)、[%-] の端数処理の設定 (111 ページ) を参照してください。

### 印字例

2016年07月31日 12:22		
000096		
部門01		1,000
部門03		2,500
小計		¥3,500
%-	-10% *	-350
内税対象計	8.0%	¥3,150
内税		(¥233)
合計		¥3,150
お預り		¥5,000
お釣		¥1,850

ポイント [%-] には、あらかじめ「割引き率」を設定できます。また、割引き計算の円未満の端数は標準では「四捨五入」ですが、「切上げ」または「切捨て」に設定することもできます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# さかのぼり訂正の使い方

## 登録中に何行か前のまちがいを訂正する

登録の途中で、同じレシートの中の何行か前の登録を訂正する（さかのぼり訂正する）場合、**戻** を使います。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥960	1	部門4 <b>戻</b> 4	¥4,000
¥2,800	1	部門4 <b>戻</b> 4	

### 手順

**1** 商品を登録します。

9 9 0 ÷ 4

2 8 0 0 ÷ 4

**2** 最初に登録した商品の単価のまちがいに気づき、さかのぼり訂正をします。

**戻** 9 9 0 ÷ 4

**3** 正しい単価で登録し直します。

9 6 0 ÷ 4

**4** レシートを発行します。

小計 4 0 0 0 **現/預**

### 印字例

2016年07月31日 12:45		
		000202
部門04		990
部門04		2,800
<b>戻</b>	.....	
部門04		-990
部門04		960
内税対象計	8.0%	¥3,760
内税		(¥279)
合計		¥3,760
お預り		¥4,000
お釣		¥240

訂正分の印字



**ポイント** さかのぼり訂正は、**戻** を押したあとにまちがえた登録内容と同じ操作をします。その後、正しい登録をします。





# 10円丸め・5円丸めの使い方

## 10円丸めする（合計の10円未満の端数を丸める）

合計金額を、「10円単位」に丸めて《自動値引き》します。「5円単位」の丸めも可能です。

### 操作例

＜10円未満の端数値引き＞で、下記の商品を売る			
単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,281	1	部門4 <input type="text" value="4"/>	¥10,500
¥1,502	1	部門1 <input type="text" value="1"/>	
¥2,380	1	部門2 <input type="text" value="2"/>	

### 手順

### 印字例

1 例に合わせて商品を登録します。

2 端数を丸めて合計処理をします。

2016年07月31日 12:50			
000203			
部門04			1,281
部門01			1,502
部門02			2,380
内税対象計	8.0%		¥5,163
内税			(¥382)
丸め前の金額		小計	¥5,163
丸め値引き額		サービス	-3
丸め後の金額		合計	¥5,160
		お預り	¥10,500
		お釣	¥5,340



ポイント 「10円丸め」は、1円の位が「1～9→0円」に丸められます。「5円丸め」は、1円の位が「1～4→0円」に、「5～9→5円」に丸められます。どちらの場合も、丸められた差額が「自動値引き」され、レシートに「サービス金額」として印字されます。また点検/精算レポートに「丸め合計」に集計されます。なお、差額がないときは「サービス金額」は印字しません。

「5円丸めまたは10円丸めの設定」（65ページ）、日計明細で丸め合計の印字の設定（95ページ）を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# 商品券／クレジットの売上

## 商品券で売り上げる

商品券（券売り）での売上は、**[券]** で登録します。

### 操作例

下記の商品を 5,000 円 (500 円×10 枚) に<商品券>の支払いがあった			
単 価	数量	部門キー	預かり金
¥2,380	2	部門 2 <b>[ - 2 ]</b>	¥500 × 10 枚の商品券 ( <b>[ 券 ]</b> には ¥500 が設定済み)

### 手順

1 例に示した商品を登録します。

**[ 2 ] [ 3 ] [ 8 ] [ 0 ] [ - ] [ 2 ] [ - ] [ 2 ] [ 小計 ]**

2 商品券額を入力して **[ 券 ]** を押します。乗算処理もできます。

**[ 1 ] [ 0 ] <sup>X/日時</sup> [ 券 ]**



ポイント お店でよく使われる商品券の券面金額を、あらかじめ **[ 券 ]** に設定しておく、上記例の操作ができます。なお、金額を入力してから **[ 券 ]** を押すと、その金額が預かり商品券の金額になります。

**[ 券 ]** へよく使われる商品券の券面金額の設定 (65 ページ) を参照してください。

### 印字例

2016年07月31日 13:37			
			000208
部門 02			2,380
部門 02			2,380
内税対象計	8.0%		¥4,760
内税			(¥353)
合 計			¥ 4,760
券			¥ 5,000
お 釣			¥ 240

《券売り》の預かり額

## クレジットカードまたは iD で売り上げる

クレジットカードなどの売上は **[クレジット/決済]** を押します。iD の売上は **[ iD ]** を押します。

### 操作例

下記の商品を<クレジットカード>で売る			
単 価	数量	部門キー	預かり金
¥35,000	1	部門 1 <b>[ + 1 ]</b>	なし (クレジット)

### 手順

1 例に示した商品を登録します。

**[ 3 ] 万円 [ 5 ] [ 0 ] [ 0 ] [ 0 ] [ + ] [ 1 ] [ 小計 ]**

2 **[クレジット/決済]** を押します。

**[クレジット/決済]** (KT-10 が接続されていない場合は、これで終了です)

iD の場合は **[クレジット/決済]** の代わりに **[ iD ]** を押します。(KT-10 が接続されていない場合、iD はお取り扱いできません)

KT-10 が接続されている場合は、KT-10 取扱説明書を参照してください。

信用売り → **[クレジット]**

2016年07月31日 13:40			
			000210
部門 01			35,000
内税対象計	8.0%		¥35,000
内税			(¥2,593)
クレジット			¥ 35,000



- ・KT-10 が接続されていない場合は、別途インプリンタなどを用いてクレジット処理をしてください。
- ・KT-10 の接続には、KT-10 本体およびクレジット決済に関する契約が必要です。
- ・KT-10 が接続されている場合は、レシートの前にクレジット伝票を発行します。



# 混在する支払い方法の売上

## 一部を商品券・残り現金で売り上げる

合計金額の一部を現金や商品券で分けて支払うことができます。現金、商品券と信用売りの組み合わせが可能です。

### 操作例

下記の商品を <分割処理> で売る			
単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,350	1	部門 2 [- 2]	商品券 ¥5,000
¥3,820	1	部門 1 [+ 1]	現金 ¥1,500

手順	表示例	印字例
----	-----	-----

**1** 例に示した商品を登録します。

2 3 5 0 [- 2] 3 8 2 0 [+ 1]  
 小計

2点 ¥6,170  
 小計 6,170

**2** 商品券の預かり金額を入力して

券 を押します。  
 5 0 0 0 券

2点 ¥6,170  
 残額 1,170

商品券分を引いた残額

**3** 現金の預かり金額を入力して

現/預 を押します。  
 1 5 0 0 現/預

お預り ¥1,500  
 お釣 330

おつり

2016年07月31日 13:43  
 000212

部門 02	2,350	
部門 01	3,820	
内税対象計	8.0%	¥6,170
内税		(¥457)
合計		¥6,170
券		¥5,000
お預り		¥1,500
お釣		¥330

おつり  
 現金預かり額  
 商品券分

**ポイント** 現金払いだけのお店の場合、現金の預かり不足を知らせる設定 (109 ページ) をして、操作ミスを防いでください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# 奉仕料を徴収する

## 奉仕料を含めた計算をする

奉仕料計算が必要なお店は、「奉仕料を計算する」に設定します。同時に奉仕料の料率や端数処理方法なども設定します。(お買い上げの状態では、奉仕料は計算しません)

### 操作例

下記の商品を奉仕料を計算して登録する (客数を2名とする)				
単 価	数量	部門キー	奉仕料	預かり金
¥5,500	2	部門1 (+1)	10% (設定済み)	¥20,000
¥3,500	1	部門2 (-2)		

### 手順

1 商品を登録します。

5 5 0 0 + 1 + 1 3 5 0 0 - 2

2 奉仕料が自動的に計算されます。

小計 2 万円 現/預

「奉仕料率を設定する」(113 ページ) を参照してください。

### 印字例

2016年07月31日 13:50			
000215			
部門01			5,500
部門01			5,500
部門02			3,500
奉仕料			¥1,450
内税対象計	8.0%		¥15,950
内税			(¥1,181)
合 計			¥ 15,950
お預り			¥ 20,000
お 釣			¥ 4,050

奉仕料額

# 在高申告をする



在高申告とは、点検や精算の前にドロアー内の金銭の合計額を勘定してレジスターに申告（登録）することです。点検や精算レポートを見る前に申告することで、ドロアーにある金額とレジで登録された合計の差額をピンハネするような不正操作を防ぐことができます。

## 在高を申告する

在高申告は、現金／商品券／掛け売り伝票などの金種ごとに行ないます。それぞれの金種ごとの合計額を登録しますが、現金は、1万円札枚数、5千円札枚数、…100円硬貨枚数、…1円硬貨枚数の順に枚数で登録します。（設定によって、明細を入力せずに合計金額だけ登録することもできます）

## 操作例

以下の在高申告を行なう

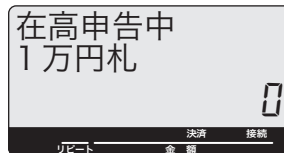
金種	数量	金種	数量	金種	数量
現金1万円札	15	現金500円硬貨	14	現金5円硬貨	3
現金5千円札	4	現金100円硬貨	30	現金1円硬貨	0
現金2千円札	0	現金50円硬貨	28	商品券合計5000円	1
現金千円札	30	現金10円硬貨	53		

### 手順

### 表示例

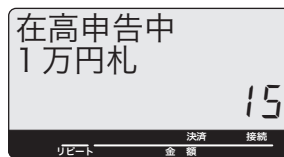
### 印字例

1 を押します。



2 ガイダンスに従って、1万円札の枚数を入力します。

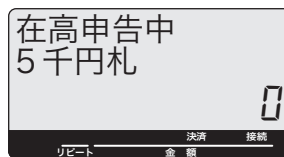
**1 5**



3 を押します。

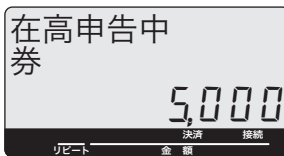


4 ステップ2と3を1円硬貨まで繰り返します。



5 商品券合計金額を入力し、 を押します。

**5 0 0 0**



6 を押します。

2016年07月31日 13:50		
000215		
在高申告		
1万円札	15枚	¥150,000
5千円札	4枚	¥20,000
2千円札	0枚	¥0
千円札	30枚	¥30,000
500円玉	14枚	¥7,000
100円玉	30枚	¥3,000
50円玉	28枚	¥1,400
10円玉	53枚	¥530
5円玉	3枚	¥15
1円玉	0枚	¥0
券		¥5,000
現計		¥211,945
商品券計		¥5,000

**注意** 在高申告の結果は、日計明細レポート上に印字されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

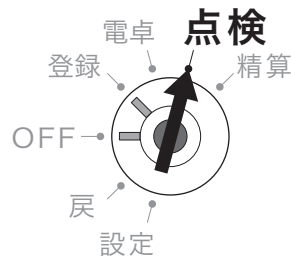


# 売上の点検と精算

点検とは、営業中にその日の途中経過を確認する操作です。

- ・モードスイッチの位置を「点検」にすると、表示窓に「点検」が表示されます。
- ・レポートに印字される“X”は「点検」を意味します。
- ・点検をしても、それまでのデータは消去（ゴハサン）されません。

## 点検時のモードスイッチ位置



## レポート名称と内容

### ●日計明細

1日の最後に必ず精算してください。日計明細には以下の項目が含まれています。

固定合計器：売上総額やドローア内の現金在高、税額総計などを集計できます。

取引キー：現金、掛け、商品券、クレジット等や割引き、値引き、入出金などを集計できます。

部門：部門キーや数個のPLUを部門にまとめた合計を集計できます。

グループ：数個の部門またはPLUをグループにまとめた合計を集計できます。

時間帯：どの時間帯に売上が集中しているかを集計できます。

PLU：PLU / スキャニングPLU 個々の商品別の売上金額と売上数量を集計できます。

### ●月間日別

1ヶ月の売上を、日付別に集計できます。

### ●担当者

担当者別の売上、現金在高などを集計できます。

### ●期間集計 1

週単位や月単位など、一定期間の売上を累積できます。「期間」は、レジに何かの値を設定するのではなく、期間集計1を精算して以降の売上を、自動で累積し続けます。週単位であれば「週末の閉店後」、月単位であれば「月末の閉店後」などの運用ルールを決め、定期的に期間集計1を精算してください。

### ●期間集計 2

期間集計1とは別に、もう1つ期間集計できます。例えば、キャンペーン期間中や半年分など、期間集計1とは異なる期間の集計にご使用ください。操作方法は期間集計1と同じです。

### ●個別点検 (部門 / PLU)

知りたい部門やPLUを指定して集計できます。個別点検できるのは、各部門キー、各PLUアイテム、各スキャニングPLUアイテムです。

### ●グループ別 PLU 点検

PLUをあらかじめ設定したリンクグループに分けて売上金額を印字します。あるグループ（商品群）を指定して、売上動向を見ることが出来ます。



・グループ集計は「部門」または「PLU」にあらかじめグループ番号を設定する必要があります。

・各項目の「構成比」を求める場合は、「売上構成比の印字」を「印字する」に設定します。

「部門キーにリンクグループを設定する」（102ページ）、「売上構成比の印字の設定」（93ページ）を参照してください。

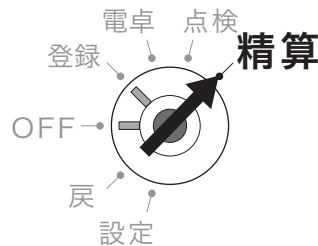


# 売上の点検と精算

精算とは、閉店後に売上データを集計してレポート印字したあと、元になったデータを消去（ゴハサン）にする操作です。

- ・モードスイッチの位置を「精算」にすると、表示窓に「精算」が表示されます。
- ・レポートに印字される“Z”は「精算」を意味します。
- ・日計明細を精算すると日計明細のデータが、部分累計の精算をすると部分累計のデータがそれぞれ消去されます。

## 精算時のモードスイッチ位置



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

## レポートとキー操作

**C**を押して、「点検」または「精算」の文字が表示されることを確認します。以下の表から、希望するレポートのキー操作を実行します。（日計明細の内容は、固定合計器、取引キー、部門、グループ別、時間帯、PLUが順に印字されます）

日計明細でPLUレポートを必要としないお客様は、134ページを参照の上、日計明細の内容を変更してください。

レポート名称	日計のキー操作		期間集計1の キー操作	期間集計2の キー操作	備考	参照ページ
	点検	精算				
日計明細	<b>現/預</b>	<b>現/預</b>	<b>100</b> <b>現/預</b>	<b>200</b> <b>現/預</b>		33、58
担当者	<b>17</b> <b>現/預</b>	<b>99999917</b> <b>現/預</b>	<b>117</b> <b>現/預</b>	<b>217</b> <b>現/預</b>		58
月間日別	<b>20</b> <b>現/預</b>	<b>99999920</b> <b>現/預</b>	なし	なし		59
売上/在高	<b>日時</b>		なし	なし		56
部門個別	点検したい部門キーを押す、最後に <b>小計</b>		なし	なし	点検のみ	56
PLU個別	点検したいPLUのコードを置数し <b>PLU</b> を押す…、最後に <b>小計</b>		なし	なし		57
スキャンングPLU個別	点検したいアイテムをスキャン…、最後に <b>小計</b>		なし	なし		56
グループ別PLU	<b>66</b> <b>現/預</b> に続いて点検したいグループ番号 <b>現/預</b> 、…、最後に <b>小計</b>		なし	なし	点検のみ	57

※長いレポートを途中で止めたい場合は…

**強制解除** を2回押します。（止まるまで数秒かかるときもあります。）





# 売上の点検と精算

## 売上／在高の点検

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 を押します。



### 印字例

担当 -A	000370	担当者 / 一連番号
在売点検	点検レポ	レポート名
日計	0000071 X	種別コード / 点検シンボル
総売上	1059 点	総売上個数
	¥524,966	総売上金額
純売上	158 件	純売上任数 (客数)
	¥498,747	純売上金額
現金在高	¥405,361	現金在高
貸在高	¥40,295	貸在高
商品券在高	¥2,890	商品券在高
外ジツ在高	¥37,405	クレジット在高

## スキヤニング PLU 個別の点検

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 点検するスキヤニング PLU をスキャンする、またはコード番号を入力して を押します。
- 3 を押します。



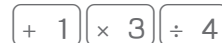
## 部門個別の点検

### 操作例

部門 1、3、4 の売上金額を確認する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 点検する部門キーをを押します。



- 3 を押します。



### 印字例

担当 -A	000369	担当者 / 一連番号
個別点検	点検レポ	レポート名
日計	X	点検シンボル
部門 01		部門 01 名称
個数	38 点	個数
金額	¥25,753	金額
部門 03		部門 03
個数	23.6 点	
金額	¥22,957	
部門 04		部門 04
個数	50 点	
金額	¥23,523	
合計		
個数	111.6 点	点検分の合計個数
金額	¥72,233	合計金額



・「構成比」は、それぞれの総合計に占める個々の割合のことです。計算結果の小数第 3 位以下は切捨てです。



## PLU 個別の点検

### 操作例

PLU 番号 111、112、200 の売上金額を確認する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 PLU コードを入力して **PLU** を押します。次の PLU を点検するときはコードを入力せずに **PLU** を押します。



- 3 **小計** を押します。



### 印字例

担当 -A	000380	担当者 / 一連番号
個別点検	点検ポート	レポート名
日計	X	点検シンボル
-----		
PLU0111	#0002	PLU0111 商品名 /No.
個数	20 点	個数
金額	¥3,360	金額
PLU0112	#0006	PLU0112
個数	14 点	
金額	¥1,932	
PLU0200	#0200	PLU0200
個数	17 点	
金額	¥1,700	
-----		
合計	51 点	点検分の合計個数
金額	¥6,992	点検分の合計金額

※ PLU No. は、設定により印字します。

## グループ別 PLU の点検

### 操作例

グループ番号 01、20 の売上金額を確認する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 グループ別 PLU の点検コード「66」を入力し、**現/預** を押します。



- 3 点検するグループ番号を入力し、**現/預** を押します。



- 4 **小計** を押します。



### 印字例

担当 -A	000155	担当者 / 一連番号
PLU	点検ポート	レポート名
日計	1020014 X	種別コード / 点検シンボル
-----		
グループ 01	.....01	《グループ 01 に属する PLU》
PLU0003	#0003	PLU0003
個数	0.94%	28 点
金額	2.64%	¥8,540
PLU0007	#0007	PLU0007
個数	0.64%	19 点
金額	1.86%	¥6,042
-----		
合計		グループ 01 の
個数		47 点
金額		合計金額
		¥14,582
-----		
グループ 20	.....20	《グループ 20 に属する PLU》
PLU0033	#0033	PLU0033
個数	0.27%	8 点
金額	0.51%	¥1,664
PLU0034	#0034	PLU0034
個数	0.37%	11 点
金額	1.01%	¥3,278
PLU0035	#0035	PLU0035
個数	0.3%	9 点
金額	1.46%	¥4,726
-----		
PLU0045	#0045	PLU0045
個数	0.27%	8 点
金額	0.96%	¥3,104
-----		
合計		グループ 20 の
個数		53 点
金額		合計金額
		¥15,624
-----		
合計		点検されたグループの
個数		合計個数
金額		合計金額
		284 点
		¥30,206

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

## 日計明細の点検・精算

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。
- 2 次の操作をします。

日計は  
現/預  
 期間集計 1 は  
100 現/預  
 期間集計 2 は  
200 現/預

### 印字例

(始めの部分のみ)

固定合計器	精算モード	レポート名	
期間 1	0001111	ZZ 0002	種別コード/精算シンボル /精算回数
2016年06月30日			前回精算日付
総売上	37924 点	総売上個数	
	¥18068,776	総売上金額	
純売上	6134 件	純売上件数 (客数)	
	¥18561,870	純売上金額	
現金在高	¥3781,440	現金在高	
商品券在高	¥2032,920	商品券在高	
クレジット在高	¥7132,680	信用売りが高	
戻モード	108 件	「戻」モード件数	
	¥285,480	「戻」モード金額	

日計明細の印字例は 33 ページを参照してください。  
 ※期間集計 1 および期間集計 2 の印字は、精算 (点検) シンボルが、「XX」または「ZZ」になります。(以外の印字は変わりません。)

## 担当者の点検・精算

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。
- 2 次の操作をします。

日計点検は  
17 現/預  
 日計精算は  
99999917 現/預  
 期間集計 1 は  
117 現/預  
 期間集計 2 は  
217 現/預

### 印字例

担当 -A	023652	担当者/一連番号	
担当者	精算モード	レポート名	
日計	0001017	Z 0002	種別コード/精算シンボル /精算回数
担当 -A 純売り	138 点	担当 -A	
	¥309,873	純売上件数	
		純売上金額	
担当 -B 純売り	20 件	担当 -B	
	¥188,874		

※件数や金額が 0 の担当者は印字をスキップします。  
 お買い上げの状態では担当者は使用できません。

## 月間日別集計の点検・精算

### 手順

**1** モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。

**2** 次の操作をします。

日計点検は

**20**  現/預

日計精算は

**9999920**  現/預

### 印字例

担当-A	023652	担当者/一連番号
月間日別	精算	レポート名
日計	000020 Z 0003	種別コード/精算シンボル /精算回数
	2016年06月30日	前回精算日付
1日 純売上	191件 ¥564,360	1日 売上件数(客数) 純売上金額
2日 純売上	179件 ¥532,250	2日
3日 純売上	236件 ¥712,560	3日
4日 純売上	261件	30日
30日 純売上	215件 ¥641,070	
合計 純売上	5773件 ¥17058,650	月間日別総合計 件数合計(客数) 純売上合計
平均	¥2,954	客単価(純売÷件数)

※件数や金額が0の担当者は印字をスキップします。

※月間日別集計は、日計でも「前回精算日付」を常に印字します。

ご使用前に

使い方

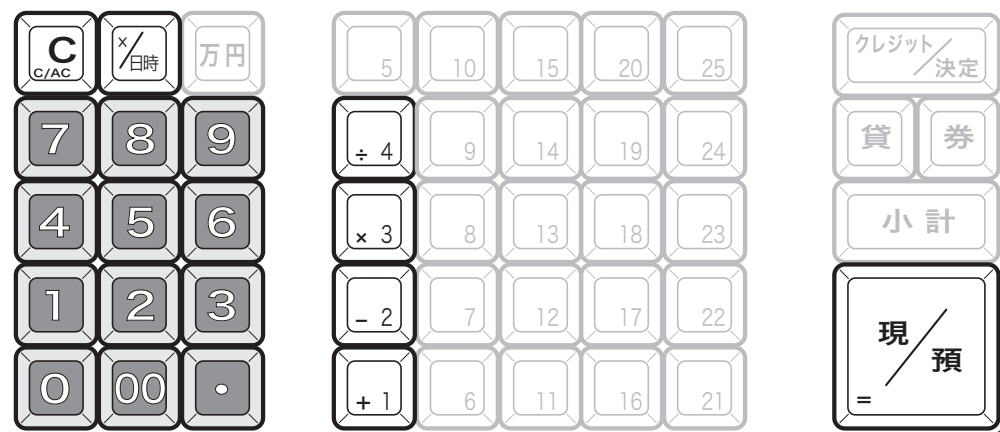
便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 電卓機能の使い方

モードスイッチの位置を「電卓」にすると、下図のキーで電卓と同様に計算できます。そのほかにも便利な機能があります。ご活用ください。



**注意** 10桁（負数のときは9桁）を超えるとエラーになります。

- ・計算命令キーは、上記のほか **-** が減算に、**x/日時** が乗算に使用できます。
- ・電卓モード中は、**替** を押すとドロアーが開きます。

## 税抜き金額・税額を計算する

クレジット/決定

1,500円の税抜き金額と内税額は？（「税1テーブル」が税率8%、内税、端数四捨五入の場合）

### 手順

### 表示例

1 モードスイッチの位置を「電卓」にします。

1 5 0 0 **クレジット/決定**

1389 税抜き金額

(続けて) **クレジット/決定**

111 内税額

230円、780円のそれぞれの内税額の合計は？（「税1テーブル」が税率8%、内税、端数四捨五入の場合）

### 手順

### 表示例

1 モードスイッチの位置を「電卓」にします。

2 3 0 **クレジット/決定** **クレジット/決定** + 1

17 内税額

7 8 0 **クレジット/決定** **クレジット/決定** **現/預**

75 税額合計

**注意** 税計算は、「税1テーブル」に設定されている税率、計算方式、端数処理方法が使用されます。設定内容によって、求められる答は異なります。

# 電卓機能の使い方

%- %+

## を使って計算する

%+ %-

%+ %- を使うと下表の計算が簡単にできます。

	演算内容	キー操作	数式
割合計算	a円のb%を求める	a $\times$ 3 b %-	$a*b/100$
割増計算	a円のb%増しを求める	a $\times$ 3 b %- + 1	$a + (a*b/100)$
割引計算	a円のb%引きを求める	a $\times$ 3 b %- -	$a - (a*b/100)$
比率計算	a円はb円の何%かを求める	a $\div$ 4 b %-	$a/b*100$
増減比率計算	b円からa円に変化したときのb円に対する変化率を求める	a - b %-	$(a - b)/b*100$
売価設定計算	原価a円の商品を利益率b%で販売するときの売価を求める	a + 1 b %-	$a/(1 - b/100)$

## 呼び出し機能を使って計算する

入金 CAL

### 操作例

以下の商品の売上合計を4人で割り勘にする

- ・部門1で単価930円の商品を4個お買い上げ
- ・部門2で単価1,240円の商品を1個お買い上げ

### 手順

### 表示例

1 モードスイッチの位置を「登録」にします。商品を登録します。

4  $\times$ /日時 9 3 0 + 1

3,720

1 2 4 0 - 2

1,240

2 小計 を押します。

小計

4,960

合計金額

3 モードスイッチの位置を「電卓」にします。入金 を押すと、手順2の小計の値を呼び出します。

入金  
CAL

4,960

呼び出された合計金額

4 割り勘の計算をします。

$\div$  4 4 現/預

1,240

1人当たり割り勘額

5 モードスイッチの位置を「登録」にします。商品を登録します。小計 を押すと、元の状態(手順2)に戻ります。

小計

4,960

合計金額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



- ・電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額 (小計) を押したときに表示される数値) です。また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答 (「イコール」で求められた数値) です。
- ・小数点以下がある「電卓」時の答を「登録」中に持ってくると、小数点以下が切り捨てられます。また、マイナスや“0”の答を持ってくるとエラーになります。

## 消費税改定による新単価を計算する

消費税が改定される際は、事前に商品の単価を見直す必要があります。

「税込み商品 (内税) の単価が、税率改定によっていくらになるか？」

今まで説明したキー操作を組み合わせることで簡単に求めることができます。

### 操作例

現在、税込 1 万円 (内税 8%) の商品が、税率 10% になるといくらになるか。

#### 手順

#### 表示例

1 モードスイッチの位置を「電卓」にします。

1 0 0 0 0

10000

クレジット  
/決定

9259

「10000」の税抜き価格  
(税率 8%)

× 3 1 0 %-

925.9

「9259」の 10% 分

+ 1

10184.9

新税率 (10%) での税込価格





## 時刻を設定する

### 操作例

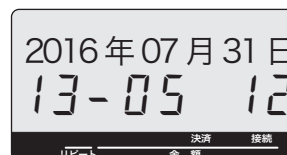
午後1時05分にセットする

### 手順

### 表示例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定する時刻（時、分）を入力して を押します。

**1 3 0 5**



- 3 を押します。



- ▲注意**
- ・時刻は24時間制で入力します。(00～23)
  - ・時と分は必ず2桁ずつ入力します。(0～9→00～09)

## 日付を設定する

### 操作例

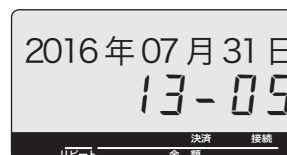
2016年7月31日にセットする

### 手順

### 表示例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定する日付（年、月、日）を入力して を押します。

**1 6 0 7 3 1**



- 3 を押します。



- ▲注意**
- ・年は西暦年の下2桁を入力します。(2016→16)
  - ・月と日は必ず2桁ずつ入力します。(1～9→01～09)
  - ・日付を和暦にすることもできます。(66ページ) このとき、日付の入力も和暦年となります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



## 商品単価を部門キーに設定する

### 操作例

部門キーに下記の単価をそれぞれ設定する

部門	単価
部門1 (+1)	¥100
部門2 (-2)	¥220
部門4 (÷4)	¥1,100

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 単価を入力して設定したい部門キーを押します。  

1	0	0	+ 1	
2	2	0	- 2	
1	1	0	0	÷ 4
- 3 **小計** を押して設定を終了します。  

小計
----

### 印字例

部門01	0001-05	
	@100	
部門02	0002-05	
	@220	
部門04	0004-05	
	@1,100	

部門名                          設定単価                          課税ステータス



**ポイント** 単価は最大6桁 (999,999 円) まで設定できます。単価設定した場合の登録の操作例は、36 ページを参照してください。

## 商品単価を PLU (スキャニング PLU) に設定する

### 操作例

PLU に下記の単価をそれぞれ設定する

PLU 番号	単価	リンク部門	スキャニング PLU	単価	リンク部門
PLU 番号 111	¥780	部門1	スキャニング	¥123	部門2
PLU 番号 112	¥880	変更なし	スキャニング	¥456	変更なし
PLU 番号 200	¥550	部門2			

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定する PLU コードを指定し、設定する単価を入力後、リンク部門を変更する場合はリンク部門キーを押して **現/預** を押します。  

1	1	1	PLU	7	8	0	+ 1	現/預	8	8	0	現/預
2	0	0	PLU	5	5	0	- 2	現/預				
- 3 スキャニングで PLU を指定後、設定する単価を入力して、リンク部門を変更する場合はリンク部門キーを押して **現/預** を押します。  
 (スキャニング) 

1	2	3	- 2	現/預
---	---	---	-----	-----

  
 (スキャニング) 

4	5	6	現/預
---	---	---	-----
- 4 **小計** を押して設定を終了します。  

小計
----

### 印字例

PLU0111	0111-04	
	@780	
11-66	0001	
PLU0112	0112-04	
	@880	
11-66	0003	
PLU0200	0200-04	
	@550	
11-66	0002	
PLU0500	0500-04	
	#4901234567894	
	@123	
11-66	0002	
PLU0600,	0600-04	
	#4912345678904	
	@456	
11-66	0003	

PLU 名                          設定単価                          リンク部門                          課税ステータス



**ポイント** 単価は最大6桁 (999,999 円) まで設定できます。PLU を使用した登録の操作例は 38、39 ページを参照してください。

# 各種レート、丸めの設定



## 割引率、ドルレート等をそれぞれのキーに設定する

### 操作例

割引率と値引き金額、**券**の金額をそれぞれ設定する

設定キー	設定内容
<b>%-</b>	割引率 5%
<b>-</b>	値引き金額 ¥50
<b>券</b>	商品券の金額 ¥500

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

**5** **%-**

**5** **0** **-**

**5** **0** **0** **券**

3 **小計** を押して設定を終了します。

**小計**

割引率	<b>%-</b>	0028-02 5% *
値引き金額	<b>-</b>	0027-02 @50
券キー設定額	<b>券</b>	0004-02 @500



・率は 0.01%～99.99%まで設定できます。小数の入力には **■** を使用します。割引率や値引き金額を設定した操作例は 47 ページを参照してください。

・**券**には、お店で一番多く使用される「商品券」の額面を設定しておきます。**券**に金額を設定した操作例は、50 ページを参照してください。

## 5円丸めまたは10円丸めを設定する

5円丸めまたは10円丸めを設定できます。

### 操作例

「10円丸め」を設定する

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

**1** **0** **レシート発行**

3 **小計** を押して設定を終了します。

**小計**

丸め金額	<b>円丸め設定</b>	10円丸め
------	--------------	-------



・丸め金額を“10”にすると「10円丸め」になり、“5”を入れると「5円丸め」になります。

・丸め金額を“0”にすると丸めは行なわれません。ご購入時の設定は“0”です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# 領収書とレシートの設定

## 但し書き、年号、メッセージ印字などを設定する

### 操作例

領収書の但し書き部に「お品代」を常に印字する

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。
 

<b>10100</b>	<b>小計</b>	(ガイドが表示されますので、ガイドに従って操作します)
<b>0</b>	<b>現/預</b>	(西暦を使用するか、和暦を使用するか)を決定します。西暦=0、和暦=1
<b>0</b>	<b>現/預</b>	(レシートに時刻を印字するか否かを決定)します。印字する=0、印字しない=1
<b>0</b>	<b>現/預</b>	(領収書のタイトルを領収書とするか領収証とするかを決定します。領収書=0、領収証=1)
<b>1</b>	<b>現/預</b>	(但し書きを使うか否か、使う場合はどの但し書きかを決定)します。但し書きなし=0、お品代=1、お食事代=2
<b>0</b>	<b>現/預</b>	(レシートの文字サイズが縦倍か標準か)を決定します。通常=0、縦倍=1
<b>0</b>	<b>現/預</b>	(ジャーナルの文字サイズが標準か縦縮)かを決定します。圧縮=0、通常=1
<b>0</b>	<b>現/預</b>	(非課税シンボル「非」を印字するか否かを決)定します。印字する=0、印字しない=1
<b>0</b>	<b>現/預</b>	(非課税合計を印字するか否かを決定)します。印字する=0、印字しない=1
<b>0</b>	<b>現/預</b>	(レシートのコマースシャルメッセージを印字するか否)かを決定します。印字しない=0、印字する=1
<b>0</b>	<b>現/預</b>	(レシートのボトムメッセージを印字するか否)かを決定します。印字しない=0、印字する=1

#### 印字例

年号指定	西暦
レシート時刻印字	印字
領収書キャラクター	領収書
領収書但し書き	お品代
レシート印字	通常印字
ジャーナル印字	圧縮印字
非課税シンボル	印字
非課税合計	印字
レシートコマースシャルメッセージ	非印字
レシートボトムメッセージ	非印字

## レシートの背景を印字する

お買上レシートに“Thank you”の薄い文字を背景として印字できます。

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。
 

<b>10200</b>	<b>小計</b>	(背景印字の見本を印字します。印字の場合1、印字しない場合0を入力します)
--------------	-----------	---------------------------------------

#### 印字例

10200	レシート背景印字	1	有り
-------	----------	---	----

## 領収書の背景を印字する

領収書に格子模様を背景として印字できます。

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。
 

<b>10300</b>	<b>小計</b>	(背景印字の見本を印字します。印字の場合1、印字しない場合0を入力します)
--------------	-----------	---------------------------------------

#### 印字例

10300	領収書背景印字	0	無し
-------	---------	---	----

**ポイント** レシートの背景印字、領収書の背景印字の有無を選びます。“0”を指定すると背景印字しません。ご購入時の設定は“0”です。



ここでは、各キーを内税、外税、複数税率、非課税に設定する方法を説明します。

## すべての商品を非課税扱いとする

すべての商品を「非課税扱い」とするお店は、部門キー、いくつかの PLU および **[-]**、**[%-]** に「非課税」を設定します。

### 手順

### 印字例

**1** モードスイッチの位置を「設定」にします。

**2** 設定 1 モードにします。

**1** **小計**

**3** **非課税** を押します。

**非課税**

**4** 非課税にする部門、**[-]**、**[%-]** を押します。

**+ 1** **- 2** **× 3** **÷ 4** **・** **・** **[-]** **[%-]**

**5** **小計** を押します。

**小計**

PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。

**6** **非課税** を押します。

**非課税**

**7** 非課税にする最初の PLU のコードを入力して、本数分の **PLU** を押します。

**1** **PLU** **PLU** **PLU** **PLU** **～** **PLU** **PLU**

**8** **小計** を押して設定を終了します。

**小計**

全部門キー	部門 01	0001-05
	部門 02	@0 非# 0002-05
	部門 03	@0 非# 0003-05
	部門 04	@0 非# 0004-05
[-]	-	0027-02 @0 非#
	%-	0028-02 0% 非#
PLU	PLU0001	0001-04 @0 非#
	11-66	0000
	PLU0002	0002-04 @0 非#
	11-66	0000
	PLU0003	0003-04 @0 非#
	11-66	0000
	PLU0071	0071-04 @0 非#
	11-66	0000
	PLU0072	0072-04 @0 非#
	11-66	0000

消費税非課税のシンボル  
奉仕料非対象のシンボル

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



- ・「すべての商品を税 1 内税」を設定するには、手順 3、6 の **非課税** の代わりに **入金** を押します。
- ・「すべての商品を税 1 外税」を設定するには、手順 3、6 の **非課税** の代わりに **出金** を押します。



## 課税方式の設定

ご購入時の状態から税 1 外税、非課税、税 1 内税を下記のように設定する

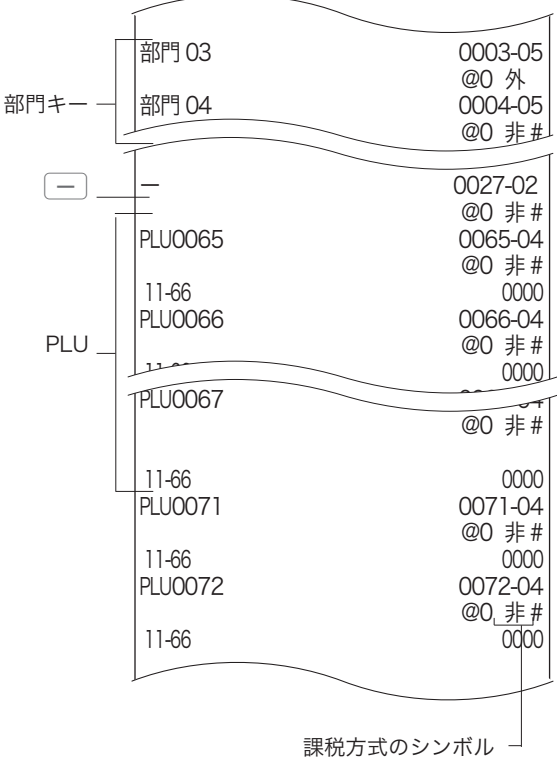
### 操作例

課税方式 (使用するキー)	設定するキーおよび PLU
税 1 外税 (出金)	x 3
非課税 (非課税)	÷ 4、-、PLU65 ~ 72
税 1 内税 (入金)	残りの部門、PLU、%-

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定 1 モードにします。  
  - 1 小計
- 3 出金 を押します。  
  - 1 出金
- 4 税 1 外税にする部門キーを押します。  
  - 1 x 3
- 5 非課税 を押します。  
  - 1 非課税
- 6 非課税にする部門、- を押します。また PLU を指定します。  
  - 1 ÷ 4 -
  - 1 6 5 PLU PLU PLU PLU PLU PLU PLU PLU
  - 1 PLU を 8 回押します。
- 7 小計 を押して設定を終了します。  
  - 1 小計

### 印字例



- ・税 1 内税を設定するには、手順 3 の 出金 の代わりに 入金 を押します。
- ・通常の設定では「税 1」のみ使用します。複数税率に対応する場合は、「税 1」と「税 2」の両方を設定してください。
- ・税 2 内税を設定するには、手順 3 の 出金 の代わりに 貸 または クレジット/決定 を押します。
- ・税 2 外税を設定するには、手順 3 の 出金 の代わりに 訂正/中止 を押します。



## 課税方式の一括設定

すべての商品の課税方式を一括で変更します。

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **小計** を押します。  
**1 1 3 0 0** **小計**
- 3 設定する課税方式の番号を押します。  
税1内税を設定するときは…**0**  
税1外税を設定するときは…**1**  
税2内税を設定するときは…**2**  
税2外税を設定するときは…**3**
- 4 **現/預** を押します。



## 消費税率の設定

ご購入時、税率は一律8%に設定されています。

将来の複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率が設定可能です。通常設定では「税1」のみを使用します。複数税率については、「複数税率への対応」(77ページ)を参照してください。

## 現在の税率を確認する

「現行税率の設定確認」(120ページ)を参照してください。

## すぐに税率を変更する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **小計** を押します。  
**1 1 2 0 0** **小計**
- 3 「税1」の税率(A)を入力して **現/預** を押します。(Aを入力せずに **現/預** だけを押すと、既存の設定のままです。)  
A **現/預**
- 4 「税2」の税率(B)を入力して **現/預** を押します。「税2」を変更しないときは、**小計** を押します。

B **現/預**

税1	内税	税率(A)
	外税	
税2	内税	税率(B)
	外税	

「税1内税」と「税1外税」を10%にしたいときは、A **現/預** を **10** **現/預** と入力します。

「税2内税」と「税2外税」を8%にしたいときは、B **現/預** を **8** **現/預** と入力します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは





## 税率改定の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で新しい税率に変更するよう事前に予約できます。この機能を使うと、設定日の午前0時以降モードスイッチをいったん OFF にすると、設定された税率に変更します。

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して  を押します。
- 3 改定年月日を入力して  を押します。  
YY には西暦下2桁、MM には月 (01 ~ 12)、DD には日 (01 ~ 31) の、必ず各2桁・合わせて6桁の数字を入力してください。  
(年月日を入力せずに  だけを押すと、既存の設定のままです。)  
YYMMDD
- 4 「税1」の税率 (A) を入力して  を押します。(A を入力せずに  だけを押すと、既存の設定のままです。)  
A
- 5 「税2」の税率 (B) を入力して  を押します。「税2」を変更しないときは、 を押します。  
B

**▲注意** 変更日になっても税率が変更されないときは、レジスターの電源を一度 OFF にして再度 ON にしてください。

## 税率改定の予約機能を無効にする

上記「税率改定の予約機能を設定する」で設定した内容を無効にします。

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して  を押します。
- 3 改定年月日をクリア (0) して  を押します。



## 複数税率への対応

「一般の消費税率」と「軽減税率（食料品の税率を小さくするなど）」2種類の税率が併用されることを、「複数税率」と呼びます。本機では複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率を設定できます。（通常の設定では「税1」のみ使用します。）

「税1」の外税ははじめに **出金**、内税は **入金** を押したあと、該当する部門、キー、PLU を設定します。「税2」の外税ははじめに **訂正中止**、内税は **クレジット/決定**（または **貸**）を押したあと、該当する部門、キー、PLU を設定します。

設定の詳細は、「課税方式（内税/外税/複数税率/非課税）の設定」（68 ページ）を参照してください。

		設定時に押すキー
税1	内税	<b>入金</b>
	外税	<b>出金</b>
税2	内税	<b>クレジット/決定</b> または <b>貸</b>
	外税	<b>訂正中止</b>

## 課税方式の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で商品の課税方式を変更するよう事前に予約できます。予約項目設定とセットで設定します。

### 操作例

部門3を「税1内税」から「税2内税」、部門4を「税1内税」から「税2外税」に変更するよう予約する手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **小計** を押します。  
**11700** **小計**
- 3 初期状態（すべて税1内税）の設定から変更するか、現在設定されている課税方式から変更するか選択します。  
 初期状態（すべて税1内税）の設定から変更する… **0** **現/預**  
 現在設定されている課税方式の設定から変更する… **1** **現/預** ※1
- 4 設定する課税方式のキー **クレジット/決定** または **貸** を押して、部門3キー **x 3** を押します。  
**クレジット/決定** または **貸** **x 3**  
 設定する課税方式のキー **訂正中止** を押して、部門4キー **÷ 4** を押します。  
**訂正中止** **÷ 4**
- 5 **小計** を押して設定を終了します。  
**小計**

		設定時に押すキー
税1	内税	<b>入金</b>
	外税	<b>出金</b>
税2	内税	<b>クレジット/決定</b> または <b>貸</b>
	外税	<b>訂正中止</b>
非課税		<b>非課税</b>

**ポイント** 実行するときは「税予約項目の設定」（73 ページ）で課税方式の予約を有効にしてください。本設定とセットで設定が必要です。

※1 すでに課税方式の予約機能を設定していた場合は、以前設定した状態から変更する設定となります。その場合は、初期状態からではなく **1** **現/預** を押して以前設定した状態から変更するを選択してください。



## 単価の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で商品の単価を変更するよう事前に予約できます。予約項目設定とセットで設定します。

### 操作例

部門に下記の単価の予約を設定する

部門	単価
部門2	810

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **小計** を押します。  
**1 1 8 0 0** **小計**
- 3 初期状態（すべて単価0円）の設定から変更するか、現在設定されている単価から変更するか選択します。  
初期状態（すべて単価0円）の設定から変更する… **0** **現/預**  
現在設定されている単価の設定から変更する … **1** **現/預** ※ 1

- 4 設定する単価を入力して、部門2 **- 2** を押します。

**8 1 0** **- 2**

- 5 **小計** を押して設定を終了します。

**小計**

 **ポイント** 実行するときは「税予約項目の設定」（73 ページ）で単価の予約を有効にしてください。本設定とセットで設定が必要です。

※ 1すでに課税方式の予約機能を設定していた場合は、以前設定した状態から変更する設定となります。その場合は、初期状態からではなく **1** **現/預** を押して以前設定した状態から変更するを選択してください。



## 税予約項目の設定

設定した税予約機能を実行するよう設定します。単価と課税方式の予約を有効にするには、ここで設定を変更します。

### 操作例

税率改定の予約と課税方式の予約を実行するに設定する

項目	設定内容
税率改定の予約	変更する
単価の予約	変更しない
課税方式の予約	変更する

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して **小計** を押します。

**1 1 9 0 0** **小計**

3 設定する項目の番号を押します。

税率改定のみ… **0**

税率改定と単価… **1**

税率改定と課税方式… **2**

税率改定と単価と課税方式… **3**

4 **現/預** を押して設定を終了します。

**現/預**

ご購入時の設定は以下です。

項目	設定内容
税率改定の予約	変更する
単価の予約	変更しない
課税方式の予約	変更しない

**ポイント** 税率改定の予約機能、課税方式の予約機能、単価の予約機能とセットで設定してください。



## 税額の円未満の端数処理方法を設定する

### 操作例

消費税額の円未満の端数を「切捨て」とする

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。

### 印字例

3 小計 226 小計

	A	B	C	D	現/預	小計
1	1	1	1	1		

■内税（税1）の端数処理

A	円未満 四捨五入	0
	円未満 切り捨て	1
	円未満 切り上げ	2

■外税（税1）の端数処理

B	円未満 四捨五入	0
	円未満 切り捨て	1
	円未満 切り上げ	2

■内税（税2）の端数処理

C	円未満 四捨五入	0
	円未満 切り捨て	1
	円未満 切り上げ	2

■外税（税2）の端数処理

D	円未満 四捨五入	0
	円未満 切り捨て	1
	円未満 切り上げ	2

現行		
消費税 1	8%	内税 切捨て
消費税 1	8%	外税 切捨て
消費税 2	0%	----- 切捨て
消費税 2	0%	----- 切捨て

**ポイント** ご購入時の設定は“0000”です。(すべて四捨五入)

# 商品名やメッセージの設定



本機は、数字や記号だけでなく、漢字やカナを含む文字をきれいな活字（JIS 第一・第二水準の文字）で印字・表示できます。あらかじめ部門キーや PLU に個々の商品名を設定して、レシートの印字や本体表示窓の内容をわかりやすくしたり、お店からお客様へ向けたメッセージをレシートに印字できます。必要に応じて設定してください。

文字の入力には2つの方法があります。

①レジに組み込まれている「商品名リスト」「メッセージリスト」から、使用する文字を選択してコードを指定します。(76～78 ページ)

②1文字ずつ入力して、かな・カナ・漢字・英字・記号に変換します。(携帯電話の文字入力に似た操作です。)(80 ページ～)

※①で選択した文字列を、②の方法で一部を書き換えることもできます。



**ポイント** 商品名リストにある商品名が設定できるのは部門および PLU です。また、メッセージリストから設定できるのはレシートメッセージ (ボトムメッセージ) です。リストにない商品名やメッセージを設定される場合や、取引キー、担当者などの名称の設定は後に述べる1文字ずつ手入力して漢字変換する方式で設定してください。

電子店名スタンプが届く前にレシートに店舗名や所在地を印字する場合も同様です。商品名リストやメッセージリストにあるものを一部変更して設定したい場合は、リストを用いて設定した後で、不要の文字を1文字ずつ消去し、必要な文字を1文字ずつ入力してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

## 「商品名リスト」から商品名を選択して部門キーに設定する

「商品名リスト」は次ページを参照してください。

### 操作例

部門 01 ( [+1] ) に『初・再診料』、部門 02 ( [-2] ) に『医学管理等』と設定する

### 手順

**1** モードスイッチの位置を「設定」にします。

**2** 以下の操作をします。

**2** 小計

**1** (「初・再診料」のコードは商品リストから 1)

× 3

**3** (「医学管理等」のコードは商品リストから 3)

- 2 - 2

小計 (設定終了)

### 印字例

初・再診料	0001-05
	060-051
医学管理等	0002-05
注射	0071-04
精神科専門	0072-04
手術	0090-04

## PLU の商品名をリストから選択して設定する

「商品名リスト」は次ページを参照してください。

### 操作例

PLU 番号 71 に「注射」、PLU 番号 72 に「精神科専門」、PLU 番号 90 に「手術」と設定する

### 手順

**1** モードスイッチの位置を「設定」にします。

**2** 以下の操作をします。

**2** 小計

**7 1** PLU (PLU71 を指定します)

# (コード指定前に # を押します)

**8** (「注射」のコードは商品リストから 8)

現/預 (指定したキャラクタを設定します)

現/預 (続いて次のメモリに設定します)

# **1 0** (「精神科専門」のコードは商品リストから 10)

現/預

**9 0** PLU (PLU90 を指定します)

# **1 2** (「手術」のコードは商品リストから 12)

現/預

小計 (設定終了)

# 商品名やメッセージの設定

モードスイッチの位置



## 商品名リスト

業種	商品名	コード	業種	商品名	コード	業種	商品名	コード
医院/ 歯科医院	初・再診料	001	薬局/ 薬店	酔い止め	052	食料品	飲料	103
	入院料等	002		整腸剤	053		お米	104
	医学管理等	003		生薬	054		お惣菜	105
	在宅医療	004		虫さされ	055		おにぎり	106
	検査	005		内服薬	056		加工食品	107
	画像診断	006		皮膚治療薬	057		菓子	108
	投薬	007		鼻炎薬	058		菓子パン	109
	注射	008		婦人薬	059		果物	110
	リハビリテーション	009		目薬	060		香辛料	111
	精神科専門	010		薬剤	061		サンドイッチ	112
	処置	011		アイスcream	062		嗜好品	113
	手術	012	アルコール	063	ジュース類		114	
	麻酔	013	一品料理	064	食パン		115	
	放射線治療	014	ウィスキー	065	食料品		116	
	食事療法	015	お酒	066	寿司		117	
	歯冠修復等	016	お食事	067	スナック菓子		118	
	歯科矯正	017	おつまみ	068	生鮮		119	
	調剤技術料	018	お通し	069	精肉		120	
	薬学管理料	019	お飲み物	070	鮮魚		121	
	薬剤料	020	お持ち帰り	071	その他		122	
	特保医療材料	021	カクテル	072	中華		123	
	選定療養等	022	喫茶	073	調味料		124	
	療養担当手当	023	ケーキ	074	調理パン		125	
	その他	024	コーヒー	075	乳製品		126	
	処方せん	025	サワー	076	パン		127	
	保険給付外	026	ジュース	077	ファーストフード		128	
	保険給付内	027	セット	078	ベーカリー		129	
	自費	028	セットメニュー	079	弁当類		130	
	文書料	029	ソフトクリーム	080	麺類		131	
	証明書	030	ソフトドリンク	081	野菜		132	
	未収金	031	テイクアウト	082	洋菓子		133	
	容器代	032	定食	083	冷凍食品		134	
薬局/ 薬店	アレルギー薬	033	ディナー	084	レトルト食品	135		
	かぜ薬	034	デザート	085	和菓子	136		
	ケア用品	035	トースト	086	アクセサリー	137		
	せき止め	036	トッピング	087	衣料品	138		
	ドリンク剤	037	ドリンク	088	衣類	139		
	歯ブラシ	038	生ビール	089	傘	140		
	ベビー用品	039	日本酒	090	靴	141		
	胃腸薬	040	ノンアルコール	091	子供服	142		
	医薬品	041	発泡酒	092	紳士服	143		
	医療用品	042	ビール	093	装飾品	144		
	衛生用品	043	フード	094	履物	145		
	介護用品	044	ブランデー	095	バッグ	146		
	解熱鎮痛剤	045	モーニング	096	婦人服	147		
	外傷薬	046	洋食セット	097	ベビー服	148		
	外用薬	047	ランチ	098	帽子	149		
	漢方薬	048	ワイン	099	アクセサリー	150		
	関節・筋肉痛	049	和食セット	100	小物	151		
	湿布薬	050	アイス	101	雑貨	152		
	小児用薬	051	インスタ食品	102	生花	153		



# 商品名やメッセージの設定

モードスイッチの位置



業種	商品名	コード	業種	商品名	コード	業種	商品名	コード
雑貨	箱代	154	その他/ 物販	写真	205	その他	クリーニング	256
	輸入雑貨	155		種苗	206		現像料	257
家電	オプション	156		寝具	207		限定品	258
	家電製品	157		スポーツ用品	208		工事	259
	携帯電話	158		タバコ	209		工賃	260
	サプライ	159		釣り用品	210		サービス料	261
	情報機器	160		デコレーション	211		材料費	262
	消耗品	161		時計	212		修理	263
	設定料	162		塗料	213		受講料	264
	テープ	163		日用品	214		小人	265
	電球・蛍光灯	164		農業用品	215		商品券	266
	電池	165		農薬	216		処分料	267
	電池交換	166		バラエティ	217		進物	268
	配線	167		肥料	218		セール	269
	別売品	168		物品販売	219		設置料	270
	メディア	169		部品	220		送料	271
書籍/ 文具 / AV	CD	170		ペット	221		中古品	272
	DVD	171		ペット用品	222		中人	273
	アルバム	172		防災用品	223		注文品	274
	ゲーム	173		メガネ	224		調整料	275
	コミック	174	木材	225	デジカブプリント	276		
	雑誌	175	輸入家具	226	手数料	277		
	参考書	176	ラッピング代	227	手付金	278		
	事務用品	177	旅行用品	228	電話代	279		
	趣味・娯楽	178	レンタル用品	229	登録料	280		
	書籍	179	カット	230	特注品	281		
	新書	180	カラー	231	塗装	282		
	新聞	181	着付	232	特価品	283		
	専門誌	182	シャンプー	233	取付料	284		
	図書カード	183	スキンケア	234	入園料	285		
	ビデオ	184	セット	235	入場料	286		
	文具	185	トリートメント	236	引取料	287		
	文芸	186	トリミング	237	フィルム	288		
	文庫	187	パーマ	238	プライベートカード	289		
その他/ 物品販売	DIY用品	188	フェイス	239	容器代	290		
	アウトドア用品	189	ブロー	240	リサイクル費用	291		
	園芸	190	ヘアカラー	241	レンタル料	292		
	園芸用品	191	ベビー	242	割増	293		
	カー用品	192	ボディ	243	焼き増し	294		
	家具	193	メイク	244	前金	295		
	楽器	194	DPE	245	土産品	296		
	家庭用品	195		一式	246	利用料	297	
	金物	196		一般	247	その他	298	
	玩具	197	印刷	248	ご購入時 の設定*	PLU	299	
	キッチン用品	198	延長	249	部門	300		
	ギフト券	199	その他	大人	250	* : PLU や部門の後に番号は付かない		
	キャラクター商品	200		お直し	251			
	工具	201		カード	252			
	コンタクト	202		技術料	253			
	梱包用品	203		キャンセル料	254			
	作業用品	204		クーポン	255			

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



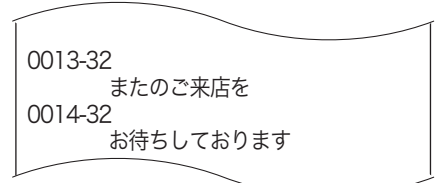
## 「メッセージリスト」からメッセージを選択してレシートに印字する

合計金額の一部を現金や商品券で分けて支払うことができます。現金、商品券と信用売りの組み合わせが可能です。

### 操作例

ボトムメッセージ1行目に「またのご来店を」、2行目に「お待ちしております」と設定する  
**手順** **印字例**

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。
  - 2** **小計**
  - 1 3 3 2** **小計** (ボトムメッセージ1行目の種別コードを指定します)
  - # 2** (「またのご来店を」のコードはメッセージリストから2)
  - 現/預** (指定したキャラクタを設定します)
  - 現/預** (続いて次のメモリに設定します)
  - # 4** (「お待ちしております」のコードはメッセージリストから4)
  - 現/預**
  - 小計** (設定終了)



- ・メッセージが設定されていない行は空白行になります（空白で  
行送りされます）。
- ・設定したメッセージを印字するには設定の変更が必要です。(97  
ページ)

種別コード：1332 \* \* \* ボトム1行目 \* \* \*  
 種別コード：1432 \* \* \* ボトム2行目 \* \* \*  
 種別コード：1532 \* \* \* ボトム3行目 \* \* \*  
 種別コード：1632 \* \* \* ボトム4行目 \* \* \*  
 種別コード：1732 \* \* \* ボトム5行目 \* \* \*  
 種別コード：1832 \* \* \* ボトム6行目 \* \* \*

小計	¥3,000
非課税合計	
合計	¥13,794
お預り	¥15,000
お釣	¥1,206

メッセージ内容	コード	メッセージ内容	コード	メッセージ内容	コード
またのお越しを	001	保管して下さい	021	新規会員募集中!	041
またのご来店を	002	開封後の返品・交換は	022	メール会員募集中!	042
またのご利用を	003	お受けできません	023	お早めにお上がり下さい	043
お待ちしております	004	返品はレシートを添えて	024	各種宴会ご予約承ります	044
お買い上げいただき	005	お持ちください	025	完全予約制	045
ご来店いただき	006	返品・交換はできません	026	着付けご予約承ります	046
毎度ご来店いただき	007	受付時間のご案内	027	記念写真ご予約受付中	047
ありがとうございました	008	営業時間のご案内	028	ケーキ予約受付中	048
毎度ありがとうございます	009	診療時間のご案内	029	ご予約承ります	049
有難うございます	010	今月は休まず営業します	030	配達承ります	050
お買い上げの商品価格には	011	年中無休	031	お問合せはサービスカウンターまで	051
消費税等を含みます	012	ポイントは次回のお買い物に	032	定期点検を忘れずに	052
レシートは税込み価格で	013	ご使用ください	033	お大事にどうぞ	053
表示しております	014	キャンペーン実施中!	034	どうぞお大事に	054
レシートの再発行はできません	015	クアランセール実施中!	035	月初めは保険証を	055
レシートの再発行は	016	決算セール実施中!	036	ご呈示下さい	056
致しかねます	017	ご紹介キャンペーン実施中!	037	お薬は用法用量を	057
レシートは大切に保管ください	018	サービスデー実施中!	038	守ってご使用ください	058
印刷面を内側に折って	019	バーゲンセール実施中!	039	携帯電話からアクセスできます	059
レシートは大切に	020	カード会員募集中!	040	(空白)	060



## 1文字ずつ入力して漢字変換する

1文字ずつ入力し、かな・カナ・漢字・英字・記号に変換して設定する方法を説明します。

### 文字入力の方法

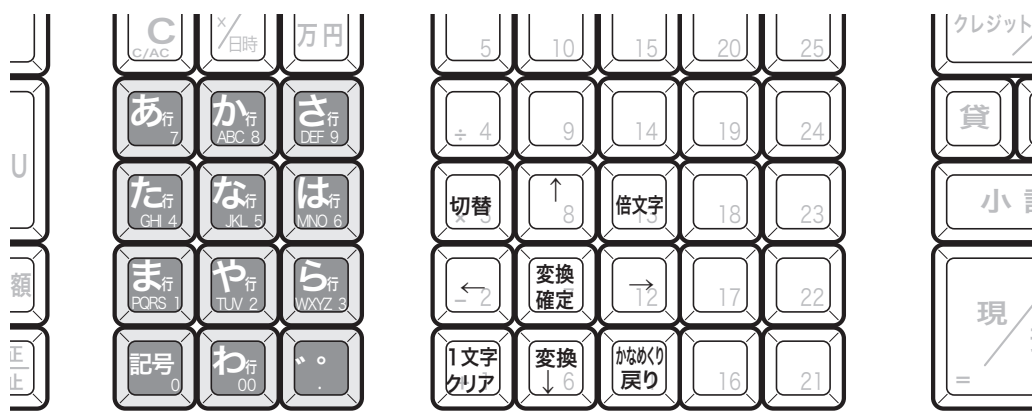
携帯電話の文字入力に似た、「かなめくり方式」で入力します。入力した文字の種類（ひらがな・カタカナ・英文字・数字）などを<切替>キーで切り替え、50音などに基づいた文字を置数キーで入力します。

ひらがなで入力した文字は、続けて<↑>キー、<変換>キーを押して、単漢字または単語ごとのかな漢字変換ができます。（内蔵のかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、ご希望の漢字変換ができない場合があります。その場合は、変換したい漢字の読み（音読み／訓読み）を変えて入力し、変換してください。）

注意：内蔵するかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、お客様の希望する漢字への変換ができない場合があります。そのときは、入力したい漢字の読み（音読み・訓読み）を変えて入力し、変換してください。

### 文字設定時のキーボード

文字設定時のキーボードは、以下の配列です。



### 半角文字、全角文字、倍文字、縦倍文字について

文字の大きさには4種類あります。

半角文字（普通の登録金額の文字）、

全角文字（漢字、半角文字の倍の横幅）、

倍文字（半角文字や全角文字の横幅を倍に引き延ばしたもの）、

縦倍文字（半角文字や全角文字の高さを倍にした文字、レシートのみ可能）。

倍文字と縦倍文字を組み合わせると4倍文字になります。

なお、圧縮文字はジャーナルのみに印字できる、通常の文字の半分の高さの文字です。





## 商品名や分類名を部門キーに設定する

### 操作例

部門 [+1] に『雑貨』、[-2] に『食品 A』、[÷4] に『ETC』と設定する

### 手順

### 印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。

雑貨	0001-05 060-051
食品 A	0002-05 061-051 0004-05 063-051
ETC	

2 小計

+ 1

(部門 01 を指定します)

C/AC C

<文字列クリア>

(部門 01 に設定されていた商品名を消します)

「さ」 <さ>

「ざ」 <ざ>

「っ」 <た×た×た×た×た×た>

「か」 <か>

<↓変換><変換確定>

(<↓変換>は「雑貨」が出るまで繰り返します)  
(これで『雑貨』が部門 01 に設定されます)

現/預

現/預

(部門 02 を指定します\*<sup>1</sup>)

C/AC C

<文字列クリア>

(部門 02 に設定されていた商品名を消します)

「し」 <さ×さ>

「よ」 <や×や×や×や×や×や>

「く」 <か×か×か>

「ひ」 <は×は>

「ん」 <わ×わ×わ>

<↓変換><変換確定>

(<↓変換>は「食品」が出るまで繰り返します)  
(切替キーで半角英字、倍文字で全角英字にします)  
(英文字 A を指定します)

<切替×切替×倍文字>

「A」 <か>

(これで『食品 A』が部門 02 に設定されます)

現/預

÷ 4

(部門 04 を指定します\*<sup>2</sup>)

C/AC C

<文字列クリア>

(部門 04 に設定されていた商品名を消します)

(全角英字のまま、使います)

「E」 <さ×さ>

「T」 <や>

「C」 <か×か×か>

(これで『ETC』が部門 04 に設定されます)

現/預

小計

(設定終了)



・部門キーへは、半角で最大 20 文字 (全角では 10 文字) が設定できます。

※ 1 連続した部門の設定をする場合は、 を押すと次の部門に移動します。 を押すと設定を終了します。

※ 2 連続していない部門の設定をする場合は、設定する部門キーを直接押して指定します。 を押すと設定を終了します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



## 入力途中で文字を訂正する

### 操作例

部門  に『乾物』を設定する途中でまちがった文字を訂正する

### 手順

**1** モードスイッチの位置を「設定」にします。

**2** 以下の操作をします。

**2**

(部門 03 を指定します)

<文字列クリア>

(部門 03 に設定されていた商品名を消します)

「か」 <か>

「ん」 <わ×わ×わ>

「も」 <ま×ま×ま×ま>

「の」 <な×な×な×な>

<|文字クリア>

(直前の「の」を消します)

<|文字クリア>

(「も」を消します)

「ふ」 <は×は×は>

(正しい文字を入れ直します)

「ぶ」 <。>

「つ」 <た×た×た>

<↓変換><変換確定>

(<↓変換>は「乾物」が出るまで繰り返します)

(これで「乾物」が部門 03 に設定されます)

(設定終了)





## 商品名や分類名を PLU に設定する

### 操作例

PLU 番号 71 に半角で『カー-Yシャツ』、PLU 番号 72 に『ジーンズ』、PLU 番号 90 に『サービス品』と設定する

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

カー-Yシャツ	0071-04
ジーンズ	0072-04
サービス品	0090-04

2 小計  
71 PLU  
C/AC C

<文字列クリア>

<切替>

「カ」 <か>

「ラ」 <ら>

「-」 <記号><記号><記号>

<切替>

「Y」 <ら><ら><ら>

<切替><切替><切替>

「シ」 <さ><さ>

「ヤ」 <や><や><や><や>

「ツ」 <た><た><た>

(PLU71 を指定します)

(PLU71 に設定されていた商品名を消します)

(半角カタカナに切り替えます)

(半角英文字に切り替えます)

(半角カタカナに切り替えます)

現/預  
現/預  
C/AC C

<文字列クリア>

<倍文字>

「シ」 <さ><さ>

「ジ」 <` ` >

「-」 <記号><記号><記号>

「ン」 <わ><わ><わ>

「ス」 <さ><さ><さ>

「ズ」 <` ` >

(これで『カー-Yシャツ』が PLU71 に設定されます)

(PLU72 を指定します\*<sup>1</sup>)

(PLU72 に設定されていた商品名を消します)

(全角カタカナに切り替えます)

90 PLU  
C/AC C

<文字列クリア>

「サ」 <さ>

「-」 <記号><記号><記号>

「ヒ」 <は><は>

「ビ」 <` ` >

「ス」 <さ><さ><さ>

<変換確定><切替><切替><切替> (「サービス」を確定し、全角ひらがなに切り替えます)

「ひ」 <は><は>

「ん」 <わ><わ><わ>

<↓変換><変換確定>

(これで『ジーンズ』が PLU72 に設定されます)

(PLU90 を指定します\*<sup>2</sup>)

(PLU90 に設定されていた商品名を消します)

(「品」が出るまで繰り返します)

(これで『サービス品』が PLU90 に設定されます)

(設定終了)



・PLU へは、半角で最大 20 文字 (全角では 10 文字) が設定できます。

・スキャニング PLU(41 ページ参照)は PLU 番号で指定できます。スキャナで指定することもできます。

※ 1 連続した PLU の設定をする場合は、**現/預** を押すと次の PLU に移動します。**小計** を押すと設定を終了します。

※ 2 連続していない PLU の設定をする場合は、設定する PLU 番号に続けて **PLU** を押して指定します。

**小計** を押すと設定を終了します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは





## 取引キーの印字文字を設定する

### 操作例

券 のレシートやレポート上の印字を『商品券』にする

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

2 小計

券

(券売キーを指定します)

C/AC C

<文字列クリア> (すでに設定されている文字を消します)

「し」 <さ×さ>

「よ」 <や×や×や×や×や×や>

「う」 <あ×あ×あ>

「ひ」 <は×は>

「ん」 <わ×わ×わ>

<↓変換> (<↓変換>は「商品」が出るまで繰り返します)

「け」 <か×か×か×か> (「商品」が確定します)

「ん」 <わ×わ×わ>

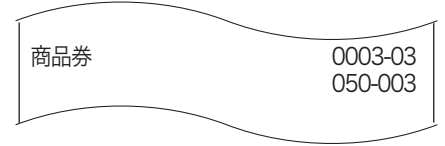
<↓変換×変換確定> (<↓変換>は「券」が出るまで繰り返します)

(これで『商品券』が券売キーに設定されます)

現/預

小計

(設定終了)



取引キーへは、半角で最大 12 文字 (全角では 6 文字) が設定できます。名前の変更ができるのは、[#]、

替、%+、%-、一、入金、出金、iD、クレジット/決定、貸、券、現/預 の各キーです。

## レジ担当者名を設定する

### 操作例

担当者 01 の担当者名を『鈴木』にする

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

2 小計

0107 小計

(担当者 01 を指定します)

C/AC C

<文字列クリア> (担当者 01 に設定されていた担当者名を消します)

「す」 <さ×さ×さ>

<→>

(同じ行なのでカーソルを右に動かします)

「す」 <さ×さ×さ>

「ず」 <` ` >

「き」 <か×か>

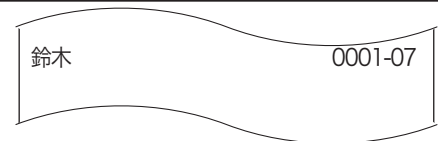
<↓変換×変換確定> (<↓変換>は「鈴木」が出るまで繰り返します)

(これで『鈴木』が担当者 01 に設定されます)

現/預

小計

(設定終了)



・担当者名は、半角で最大 12 文字 (全角では 6 文字) が設定できます。  
 ・お買い上げ時の担当者名と操作コードは、112 ページを参照してください。



## グループレポート上の商品グループの名前を設定する

### 操作例

グループ番号 01 に『化粧品』を、グループ番号 04 に『ヘアケア用品』を設定する

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

化粧品	0001-06
ヘアケア用品	0004-06
食品	0005-06

2 小計

0 1 0 6 小計

C/AC C

(グループ番号 01 を指定します)

<文字列クリア> (グループ番号 01 に設定されていたグループ名を消します)

「け」 <か×か×か×か>

「し」 <さ×さ>

「よ」 <や×や×や×や×や×や>

「う」 <あ×あ×あ>

「ひ」 <は×は>

「ん」 <わ×わ×わ>

<↓変換×変換確定> (<↓変換>は「化粧」が出るまで繰り返します)

<↓変換×変換確定> (<↓変換>は「品」が出るまで繰り返します)

(これで『化粧品』がグループ番号 01 に設定されます)

現/預

0 4 0 6 小計

C/AC C

(グループ番号 04 を指定します)

<文字列クリア> (グループ番号 04 に設定されていたグループ名を消します)

<切替> (半角カタカナに切り替えます)

<倍文字> (全角カタカナに切り替えます)

「へ」 <は×は×は×は>

「ア」 <あ>

「ケ」 <か×か×か×か>

「ア」 <あ>

<切替×切替×切替> (全角ひらがなに切り替えます)

「よ」 <や×や×や>

「う」 <あ×あ×あ>

「ひ」 <は×は>

「ん」 <わ×わ×わ>

<↓変換×変換確定> (<↓変換>は「用品」が出るまで繰り返します)

(これで『ヘアケア用品』がグループ番号 04 に設定されます)

現/預

小計

(設定終了)



・グループ名は、半角で最大 12 文字 (全角では 6 文字) のキャラクタが設定できます。

・グループ番号 “01”、“02”、“03” の番号の後に “06” を付けた数値が、グループ名キャラクタの設定コードとなります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



## レシートメッセージを設定する

レシートには以下の3種類のメッセージを印字することができます。

1. 店名ロゴ代わりに印字する「ロゴメッセージ」 最大6行
2. 店名ロゴの下部に印字する「コマーシャルメッセージ」 最大6行
3. レシートの最後に印字する「ボトムメッセージ」 最大6行

各メッセージは1行あたり半角で最大32文字（全角で16文字）が設定できます。

メッセージの設定コードは、ロゴメッセージは（0132～0632）、コマーシャルメッセージは（0732～1232）、ボトムメッセージは（1332～1832）、軽減税率メッセージは（8432）です。

### 操作例

ロゴメッセージに右記、コマーシャルメッセージに『朝市を開催します』のメッセージを設定する

毎度ありがとうございます  
カシオ商店

### 手順

### 印字例

**1** モードスイッチの位置を「設定」にします。

**2** 以下の操作をします。

2 小計  
0 1 3 2 小計  
C/AC C

<文字列クリア>

「ま」 <ま>  
 「い」 <あ×あ>  
 「と」 <た×た×た×た×た>  
 「ど」 <“。>  
 <↓変換>

(ロゴメッセージ1行目を指定します)

(設定されていたメッセージを消します)

(<↓変換>は「毎度」が出るまで繰り返します)

(「毎度」が確定します)

「あ」 <あ>  
 「り」 <ら×ら>  
 「か」 <か>  
 「が」 <“。>  
 「と」 <た×た×た×た×た>  
 「う」 <あ×あ×あ>  
 「こ」 <か×か×か×か×か>  
 「ご」 <“。>  
 「さ」 <さ>  
 「ざ」 <“。>  
 「い」 <あ×あ>  
 「ま」 <ま>  
 「す」 <さ×さ×さ>

(1行目を確定し、続いてロゴメッセージ2行目を指定します※1)

現/預 現/預

C/AC C

<文字列クリア>

<切替×倍文字×倍文字>  
 <→×→>

(設定されていたメッセージを消します)

(全角倍角カタカナに切り替えます)

(文字を行の中心へ寄せるため入力開始位置を半角2文字分右へ移動します)

「力」 <か>  
 「シ」 <さ×さ>  
 「オ」 <あ×あ×あ×あ×あ>  
 <切替×切替×切替×倍文字>  
 「し」 <さ×さ>  
 「よ」 <や×や×や×や×や>

(全角倍角ひらがなに切り替えます)



「う」 <あ><あ><あ>  
 「て」 <た><た><た><た>  
 「ん」 <わ><わ><わ>  
 <↓変換><変換確定>

現/預

0 7 3 2 小計

C/AC C

<文字列クリア>

<倍文字>

「あ」 <あ>  
 「さ」 <さ>  
 「い」 <あ><あ>  
 「ち」 <た><た>  
 「を」 <わ><わ>  
 <↓変換>

「か」 <か>  
 「い」 <あ><あ>  
 「さ」 <さ>  
 「い」 <あ><あ>  
 「し」 <さ><さ>  
 「ま」 <ま>  
 「す」 <さ><さ><さ>  
 <↓変換><変換確定>

現/預

小計

(<↓変換>は「商店」が出るまで繰り返します)

(これで『カシオ商店』がロゴ2行目に設定されます)

(コマースシャルメッセージ1行目を指定します)

(設定されていたメッセージを消します)

(全角ひらがなに切り替えます)

(<↓変換>は「朝市」が出るまで繰り返します)

(「朝市を」が確定します)

(<↓変換>は「開催」が出るまで繰り返します)

(これで『朝市を開催します』がコマースシャル1行目に設定されます)

(設定終了)



・ロゴ、コマースシャル、ボトム各メッセージはそれぞれ、印字/非印字の設定ができます。

・電子店名スタンプを装着すると、ロゴメッセージに設定された内容は印字されません。

※1連続したメッセージ行の設定をする場合は、**現/預**を押すと次のメッセージ行に移動します。**小計**を押すと設定を終了します。

レシートメッセージの印字/非印字の設定 (97 ページ) を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



## レシートに住所や電話番号を設定する

電子店名スタンプには、レシートに印字する住所や電話番号が入ります。電子店名スタンプの納入前や、住所変更による電子店名スタンプの作り直しなどで電子店名スタンプを装着できない場合、レジスターにこの内容を設定します。

レシート用住所・電話番号として印字する行 最大 3 行  
 メッセージは 1 行あたり半角で最大 32 文字（全角では 16 文字）が設定できます  
 メッセージの設定コードは、3432 ~ 3632 です。

### 操作例

電話番号を『電話：03-1212-3434』に、住所を『東京都渋谷区本町』に変更する

### 手順

**1** モードスイッチの位置を「設定」にします。

**2** 以下の操作をします。

**2** 小計

**3 4 3 2** 小計

C/AC C

- < 文字列クリア >
- 「て」 < た × た × た × た >
- 「で」 < “。 ” >
- 「ん」 < わ × わ × わ >
- < → >
- 「わ」 < わ >
- < ↓変換 × 変換確定 >
- < 切替 × 切替 × 倍文字 >
- 「:」 < 0 × 0 × 0 × 0 >
- < 切替 >
- 「0」 < 0 >
- 「3」 < 3 >
- < 切替 × 切替 × 切替 >
- 「-」 < 0 × 0 × 0 >
- < 切替 >
- 「1」 < 1 >
- 「2」 < 2 >
- 「1」 < 1 >
- 「2」 < 2 >
- < 切替 × 切替 × 切替 >
- 「-」 < 0 × 0 × 0 >
- < 切替 >
- 「3」 < 3 >
- 「4」 < 4 >
- 「3」 < 3 >
- 「4」 < 4 >

現/預 現/預

### 印字例



(レシート用住所・電話番号 1 行目を指定します)  
 (設定されていたメッセージを消します)

(< ↓変換 > は「電話」が出るまで繰り返します)  
 (全角英文字に切り替えます)

(半角数字に切り替えます)

(半角英文字に切り替えます)

(半角数字に切り替えます)

(半角英文字に切り替えます)

(半角数字に切り替えます)

(1 行目を確定し、続いてレシート用住所・電話番号を 2 行目を指定します※<sup>1</sup>)



C/AC C

<文字列クリア> (設定されていたメッセージを消します)

<切替> (全角ひらがなに切り替えます)

「と」 <た×た×た×た×た×>

「う」 <あ×あ×あ×>

「き」 <か×か×>

「よ」 <や×や×や×や×や×や×>

「う」 <あ×あ×あ×>

「と」 <た×た×た×た×た×>

<↓変換×変換確定> (<↓変換>は「東京都」が出るまで繰り返します)

「し」 <さ×さ×>

「ふ」 <は×は×は×>

「ぶ」 <。>

「や」 <や×>

「く」 <か×か×か×>

<↓変換×変換確定> (<↓変換>は「渋谷区」が出るまで繰り返します)

「ほ」 <は×は×は×は×は×>

「ん」 <わ×わ×わ×>

「ま」 <ま×>

「ち」 <た×た×>

<↓変換×変換確定> (<↓変換>は「本町」が出るまで繰り返します)

現/預

(これで『東京都渋谷区本町』が2行目に設定されます)

小計

(設定終了)



・電子店名スタンプを装着すると、この節で設定した内容は印字されません。

※1連続したメッセージ行の設定をする場合は、**現/預** を押すと次のメッセージ行に移動します。**小計** を押すと設定を終了します。



## 文字設定できるその他の項目

本機では、品名、メッセージ、部門／取引キー名称、担当者名のほか、

- ・ 固定合計器レポート上の項目（総売、純売など）
- ・ 日計明細や時間帯などのレポートタイトル
- ・ 特殊キャラクタ（¥マーク、小計／預かり印字など）

の印字・表示の変更ができます。

## 固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する

### 操作例

「総売」を『総売上』ににする

### 手順

**1** モードスイッチの位置を「設定」にします。

**2** 以下の操作をします。

**2** 小計

0 1 0 1 小計

C/AC C

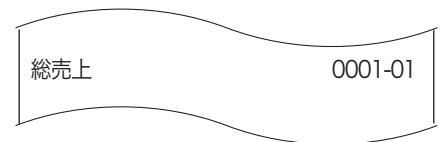
<文字列クリア>

<文字入力>

現/預

小計

### 印字例



(下記設定コード)

(すでに設定されている文字を消します)

(部門などの設定を参照してください)

(設定終了)

### 固定合計器項目名の設定コードとその内容：

合計器項目の内容	設定コード	ご購入時の設定	合計器項目の内容	設定コード	ご購入時の設定
総売上	0101	総売上	印紙なし領収書	3901	領収書
純売上	0201	純売上	内税対象額 (内税1)	4101	内税対象計
現金在高	0301	現金在高	内税額 (内税1)	4201	内税
貸売在高	0401	貸在高	外税対象額 (外税1)	4401	外税対象額
商品券在高	0501	商品券在高	外税額 (外税1)	4501	外税額
信用売在高	0601	クレジット在高	内税対象額 (内税2)	4701	内税対象計※
戻モード	2701	戻モード	内税額 (内税2)	4801	内税※
万円券枚数	3401	万円	外税対象額 (外税2)	5001	外税対象額※
5 / 10円丸め	3501	サービス	外税額 (外税2)	5101	外税額※
取引中止	3601	取引中止	消費税合計	5301	消費税合計
電卓操作回数	3701	電卓	非課税合計	5401	非課税合計
印紙付き領収書	3801	領収書 印紙	奉仕料	5501	奉仕料

### レポートタイトルの設定コードとその内容：

レポートの内容	設定コード	ご購入時の設定	レポートの内容	設定コード	ご購入時の設定
固定合計器レポート	0124	固定合計器	担当者レポート	0624	担当者
取引レポート	0224	取引	時間帯レポート	0824	時間帯
PLU レポート	0324	PLU	月間売上レポート	0924	月間日別
部門レポート	0424	部門	在売点検レポート	1624	在売点検
グループレポート	0524	グループ	アイテム個別	2424	個別点検





## 取引シンボル（固定キャラクタ）を設定する

### 操作例

- ①レポート上の個数シンボルを「個」から「件」にする
- ②乗算シンボルの「点」を「L」にする

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

2 小計

0 1 2 3 小計

<→> (5回押す)

「け」 <か><><か><><か><><か>

「ん」 <わ><><わ>

<↓変換>

<変換確定>

現/預

0 3 2 3 小計

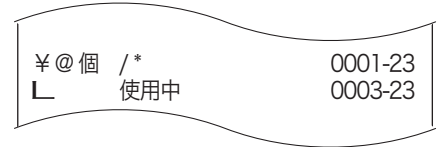
<1文字クリア>

<切替><><切替><><倍文字> (切替キーで半角英字、倍文字キーで全角英字にします)

「L」 <な><><な><><な>

現/預

小計



(「個」シンボルのメモリ番号+23)

(変更する「個」を反転表示します)

(「件」が出るまで繰り返します)

(「点」シンボルのメモリ番号+23)

(「点」を消します)

(設定終了)

### 取引シンボルの設定コードとその内容：

シンボルの内容	設定コード	ご購入時の設定	シンボルの内容	設定コード	ご購入時の設定
円、単価、件数、個数 (2ずつ)	0123	¥@件/**	電卓、練習モード (4ずつ)	0923	電卓練習 MGR
レポート上の点数、客数、枚数 (2ずつ)	0223	点名枚**	預かり時合計印字 (8)	1023	合計
乗算 (2)	0323	点 使用中	現金預かり印字 (8)	1123	お預り
税シンボル1、2 (2ずつ)	0423	外※※	釣り銭印字 (8)	1223	お釣
非奉仕対象、非課税 (2ずつ)	0523	# 非*	後レシート合計印字 (8)	1323	合計
登録、戻、レジマイナモード (4ずつ)	0723	戻 REG-	小計印字 (8)	1823	小計
設定、点検、精算モード (4ずつ)	0823	P 点検精算	AM、PM 印字 (3ずつ)	1923	AM PM

( ) は半角文字で設定できる文字数を示す

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

## その他の設定

## レジ番号を設定する

お店に2台以上のレジスターがある場合や店舗の区別を付けたい場合にレジ番号を設定します。

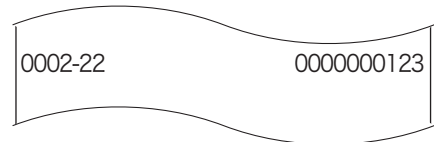
## 操作例

レジ番号“123”を設定する

## 手順

## 印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。



3 小計 2 2 2 小計 1 2 3 現/預 小計

■レジ番号

0~9 9 9 9 9

- 💡ポイント ・ご購入時の設定は“0000”です。(レジ番号は印字されません)
- ・レジ番号の印字例は21ページを参照してください。

## 一連番号を設定する

レシート等に印字する一連番号を、毎日ある一定数値から始める(日計明細の精算後にリセットする)か、連続番号にする(日計明細の精算後にリセットしない)のかを設定します。

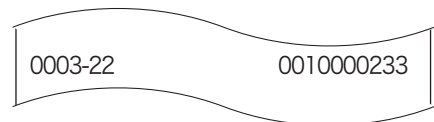
## 操作例

「一連番号」を毎日“000234”から始める

## 手順

## 印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。



3 小計 3 2 2 小計 1 0 0 0 0 2 3 3 現/預 小計

■日計明細精算後の一連番号

A  
リセットする 1  
リセットしない 0

■常に0を設定します

■一連番号開始値-1を設定します。

0 0 0 2 3 3

- 💡ポイント ご購入時の設定は“0 0 000000”です。毎日1から始める場合は“1 0 000000”を設定します。

**⚠️注意** 一連番号の開始値-1を設定します。

# その他の設定

## 印字項目を設定する

印字項目を設定します。

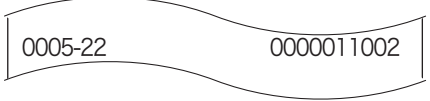
### 操作例

レシートのお買い上げ点数と課税対象額を「印字する」に、点検・精算時の売上構成比を「印字する」に設定する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。

### 印字例



■ 常に0を設定します

■ 課税対象額、税率の印字/非印字

	課税対象額	税率
B	印字する	印字する
	印字しない	印字しない
C	印字する	印字する
	印字しない	印字しない

0  
2  
1  
3

■ ジャーナルへの明細印字（ジャーナルスキップ）

	印字する	印字しない
C		(ジャーナルスキップする)

0  
1

■ 常に00を設定します

00

■ 売上げ構成比の印字/非印字、日計精算書の出力枚数、税の再計算

	X/Zで部門、PLUの売上げ構成比を	日計明細精算での出力枚数
E	印字する	1枚
	印字する	2枚 (ダブルレポート)
F	印字しない	1枚
	印字しない	2枚 (ダブルレポート)

1  
3  
0  
2

■ 買い上げ点数、税シンボルの印字/非印字、ジャーナル圧縮印字

	買い上げ点数	税シンボル	圧縮印字
F	印字する	印字する	圧縮印字
		印字する	通常印字
	印字しない	印字する	圧縮印字
		印字する	通常印字

1  
5  
3  
7  
0  
4  
2  
6

■ 常に002を設定します

002

**ポイント** ご購入時の設定は“0000000002”です。

**注意** 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。ご自分で変更せずに販売店にお問い合わせください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## 強制機能や演算方式を設定する

強制機能や演算方式を設定します。

### 操作例

「戻」モードの登録回数を「1回のみ」に、「戻」モードの件数を「レジマイナス」に設定する

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。



3 小計 622 小計 4 0 0 0 0 1 0 0 0 現/預 小計

■ 締め時の 小計 強制や戻モードの登録など

A	締め操作時に <small>小計</small> 押し強制	戻モードの登録	
	強制しない	続けて可能	0
		1回のみ可能	4
	強制する	続けて可能	1
1回のみ可能		5	

■ 常に 00 を設定します

0 0

■ キーバッファクリア、登録確認音

C	レシート発行時の キーバッファクリア	キー操作時の確認 音有/無	
	クリアする	確認音あり	1
		確認音なし	3
クリアしない	確認音あり	0	
	確認音なし	2	

■ 券、クレジット/現金 などの締めで、ドロアーを開ける/開けない

D	開ける	0
	開けない (スリットドロアー)	4

■ 戻しモードでの件数は加算/減算

E	加算する (戻しモード)	0
	減算する (レジマイナスモード)	1

■ 常に 00 を設定します

0 0

■ 担当者を使用する/使用しない

G	担当者を使用する	2
	担当者を使用しない	0

 **ポイント** ご購入時の設定は“0 0 0 0 0 0 0 0 0 0”です。

**注意** 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。ご自分で変更せずに販売店にお問い合わせください。

# その他の設定

## 点検／精算レポートの内容を設定する 1 / 2

点検または精算時に印字するレポートの、個々の印字項目を設定します。

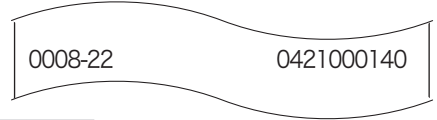
### 操作例

値引き合計と戻しキー合計を「印字する」に、丸め合計も「印字する」に設定する

### 手順

### 印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。



■ 常に 04210 を設定します

■ 純客数、客単価の印字／非印字

	純客数	客単価
B	印字する	印字する
	印字しない	印字しない

- 0
- 2
- 1
- 3

■ 値引き合計、戻し合計の印字／非印字

	値引き合計	戻し合計
C	印字する	印字する
	印字しない	印字しない

- 1
- 5
- 3
- 7

■ 万券枚数、丸め合計、取引中止合計の印字／非印字

	万券枚数	丸め合計	取引中止合計
D	印字する	印字する	印字する
		印字しない	印字しない
	印字しない	印字する	印字する
		印字しない	印字しない

- 0
- 4
- 2
- 6
- 1
- 5
- 3
- 7

■ 電卓モードでの計算回数、領収書発行合計の印字／非印字

	領収書合計	電卓モード
E	印字する	印字する
		印字しない
	印字しない	印字する
		印字しない

- 4
- 5
- 6
- 7

■ 常に 0 を設定します

0

**ポイント** ご購入時の設定は“04210 37240”です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## 点検／精算レポートの内容を設定する 2 / 2

### 操作例

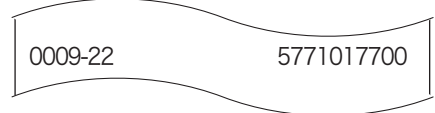
消費税、および奉仕料を「印字しない」に設定する

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。



3 小計 9 2 2 小計 A 7 B 7 C 7 D 1 E 0 F 1 G 7 7 0 H 0 現/預 小計

■ 税1の課税対象額、税額の印字／非印字

A	税1 (内税) の対象額と税額	税1 (外税) の対象額と税額	
	印字する	印字する	2
	印字しない	6	
印字しない	印字する	3	
	印字しない	7	

■ 税2の課税対象額、税額の印字／非印字

B	税2 (内税) の対象額と税額	
印字する		5
印字しない		7

■ 消費税額合計、税2の課税対象額、税額の印字／非印字

C	消費税額合計	税2 (外税) の対象額と税額	
	印字する	印字する	2
	印字しない	3	
印字しない	印字する	6	
	印字しない	7	

■ 消費税非課税合計の印字／非印字

D	印字する	
印字しない		0
		1

■ 常に0を設定します

0

■ 奉仕料合計の印字／非印字、在高申告の金種明細の印字／非印字

F	奉仕料合計を	在高申告の金種明細を	
	印字する	印字する	0
	印字しない	2	
印字しない	印字する	1	
	印字しない	3	

■ 常に770を設定します

7 7 0

■ 月間日別の合計で平均単価の印字／非印字

H	印字する	
	印字しない	0
		1

 **ポイント** ご購入時の設定は“2 5 2 0 0 1 7 7 0 0”です。

# その他の設定

## レシートの印字内容を設定する

レシートに印字するメッセージの内容を設定します。

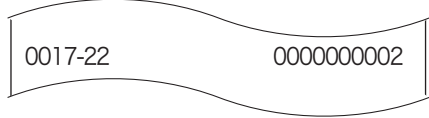
### 操作例

レシートのコマercialメッセージを「印字する」に設定する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。

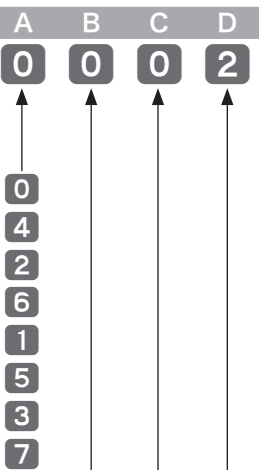
### 印字例



3 小計 1 7 2 2 小計 A B C D 現/預 小計

#### ■ 日付および一連番号の印字/非印字

	レシートの日付	ジャーナルの日付	一連番号
A	印字する	印字する	印字する
		印字しない	印字しない
	印字しない	印字する	印字する
		印字しない	印字しない



#### ■ 時刻の印字/非印字

	レシートの時刻	ジャーナルの時刻
B	印字する	印字する
		印字しない
印字しない	印字する	
	印字しない	



#### ■ 常に0を設定します

#### ■ ログメッセージ・コマercialメッセージ・ボトムメッセージの印字/非印字

	ロゴメッセージ	コマercialメッセージ	ボトムメッセージ
C	設定されたメッセージを印字する	印字する	印字する
		印字しない	印字しない
	電子店名スタンプの店名ロゴまたは御計算書を印字する	印字する	印字する
		印字しない	印字しない



**ポイント** ご購入時の設定は“0000”です。

### ⚠️ 注意

- レシートへの時刻の非印字を“P01”の簡易設定(66ページ)で行なった場合は、この設定の項目“B”では“5”または“7”を設定してください。
- 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。ご自分で変更せずに販売店にお問い合わせください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは





## 強制解除キーを設定する

領収書に印字される内容を設定します。(印紙貼付が必要な合計金額、但し書きの内容、領収書用一連番号の扱いなど)

### 操作例

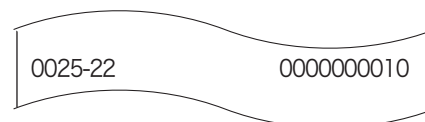
登録中の強制解除を「現金売り」にする

#### 手順

#### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。



■登録中の強制終了を

A	「現金での売上げ」とする
	「取引中止」とする

■常に 0000010 を設定します



**ポイント** ご購入時の設定は“4 0000010”（取引中止）です。

**注意** 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。ご自分で変更せずに販売店にお問い合わせください。

# その他の設定

## 領収書の内容を設定する

領収書に印字する内容を設定します。

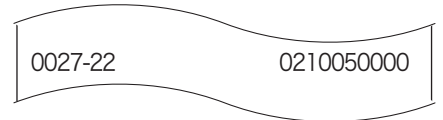
### 操作例

領収書の但し書きへ「お食事代として」を印字し、領収書用一連番号は、日計明細の精算でも“0”にしない

### 手順

### 印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。



#### ■但し書き部分への印字

	非印字	0
A	「お品代」を印字	1
	「お食事代」を印字	2

#### ■日計明細精算後の領収書用一連番号の処理


	領収書用一連番号	
B	リセット	0
	ノンリセット	1

#### ■領収書名、レシート一連番号と税額の印字／非印字

	領収書／領収証	レシート一連番号	税額の印字
C	領収書	印字する	印字する
		印字しない	印字しない
	領収証	印字する	印字する
		印字しない	印字しない

#### ■収入印紙の必要額（円単位）を6桁で設定します

050000

-  **ポイント** ・収入印紙必要額は、必ず6桁で設定します。
- ・ご購入時の設定は“000050000”です。

**注意** ・金額を指定した領収書発行（28ページ）では、領収書上の税額は設定にかかわらず印字しません。  
 ・簡易設定（66ページ）で領収書の但し書きやタイトルを指定している場合は、この設定の後でもう一度簡易設定をしてください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

## その他の設定

## 印字濃度と背景印字を設定する

ロールペーパーを交換して文字が濃すぎたり薄すぎた場合、この設定で濃さを変更します。また、レシートや領収書の背景印字パターンを設定します。

## 操作例

印字濃度を“やや濃く”に設定する

## 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。


2 以下の操作をします。

## 印字例



	A	B	C	D
3 小計	0	1	0	0
2 9 2 2 小計	0	1	0	0
■ 電子店名スタンプ内のサーマルポップを				
A 印字する	0			
印字しない	1			
■ プリントの印字濃度				
普通		0		
B やや濃く		1		
濃く		2		
■ レシートの背景印字				
C 印字しない			0	
印字する			1	
■ 領収書の背景印字				
D 印字しない				0
印字する				1

現/預 小計

 **ポイント** ご購入時の設定は“0000”（普通）です。



- 注意**
- ・簡易設定（66 ページ）でレシートおよび領収書への背景印字を指定している場合は、この設定の後でもう一度簡易設定をしてください。
  - ・電子店名スタンプ（別売オプション）の中にサーマルポップが入っていればレシート上に印字されます。項目 A の設定は、レシートロゴは電子店名スタンプを使いながらサーマルポップの印字を止めるときに使用します。

# その他の設定

## 本体表示のバックライトを設定する

本体表示のバックライトを使用するかどうか、使用する場合はバックライトの点灯時間を設定します。


### 操作例

バックライトを使用し、10分間点灯すると設定する

### 手順


### 印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。



- 本体表示のバックライトを
 

A	使用する
	使用しない
- 常に0を入力します
- C バックライトの点灯時間（分単位） 00 ~ 59

 **ポイント** ご購入時の設定は“0 0 20”です。点灯時間を“00”に設定するとバックライトは消灯しません。

## メッセージとロゴを設定する

軽減税率メッセージと点検／精算レポートのロゴを設定します。


### 操作例

点検／精算レポートにロゴを印字する

### 手順

### 印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。



- 点検／精算レポートのロゴ印字、軽減税率
 

A	軽減税率メッセージを	点検／精算レポートにロゴを
	印字する	印字しない
	印字しない	印字する
		印字しない
- 常に 000000 を入力します

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

## その他の設定

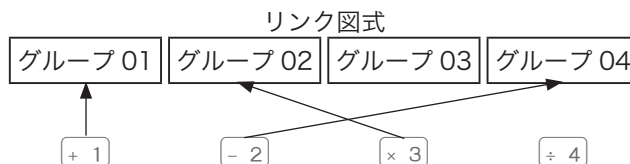
## 部門キーにリンクグループを設定する

部門キーのそれぞれに《グループ番号》を設定して、「グループ別集計」を求めることができます。この指定を「グループリンク」と言います。

## 操作例

部門キーを以下のようなグループに分ける

部門キー	リンク先	入力コード
+ 1	グループ 01	0100
- 2	グループ 04	0400
× 3	グループ 02	0200



## 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定3でリンクグループ番号設定コードを入力します。

3 小計 1166 小計

- 3 グループ番号を入力し、該当キーを押します。

0100 + 1  
0400 - 2  
0200 × 3

- 4 小計 を押します。

小計



- ・グループ番号は 01 ~ 20 まで設定できます。
- ・ご購入時は、すべての部門キーはどのグループにも集計されません。

## 印字例

部門 01	0001-05
11-66	0100
部門 02	0002-05
11-66	0400
部門 03	0003-05
11-66	0200

グループリンク

## 部門キーに単品現金売りを設定する

部門キーを押すだけでレシートを発行（取引終了）したいときは「単品現金売り」を部門キーに設定します。このときは、預かり金の入力や釣り銭計算はできません。

## 操作例

部門 2 (- 2) に単品現金売りを設定する

## 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。

3 小計 1866 小計 2 - 2 小計

■ 単品現金売り

通常の部門	0
単品現金売りにする	2

## 印字例

部門 02	0002-05
	20000000

単品現金売り



- ・ご購入時の設定はすべて“0”（通常のキー）です。

## その他の設定

## 部門キーに入力できる桁数を設定する

単価入力ミスを軽減するために、部門キーに登録できる商品単価の最高桁数を設定します。

## 操作例

部門2  $\boxed{-2}$  に3桁 (¥1 から ¥999) までの桁制限を設定する

## 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

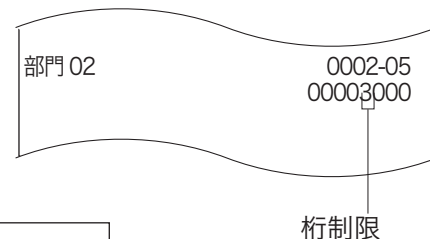
2 以下の操作をします。

$\boxed{3}$  小計  $\boxed{7}\boxed{6}\boxed{6}$  小計  $\boxed{3}$   $\boxed{-2}$  小計

## ■桁制限

入力制限なし	$\boxed{0}/\boxed{7}$	3桁 (¥1~¥999)	$\boxed{3}$	6桁 (¥1~¥999999)	$\boxed{6}$
1桁 (¥1~¥9)	$\boxed{1}$	4桁 (¥1~¥9999)	$\boxed{4}$	プリセット単価のみ	$\boxed{8}/\boxed{9}$
2桁 (¥1~¥99)	$\boxed{2}$	5桁 (¥1~¥99999)	$\boxed{5}$		

## 印字例



 **ポイント** ご購入時の設定はすべて“0” (入力制限なし) です。

## 部門キーにマイナス単価とハッシュ品目を設定する

立替金など、総売上に入らないものの登録には「ハッシュ品目」を、金額を負 (マイナス) で集計したい場合は「負単価」をそれぞれ部門キーに設定します。

## 操作例

部門4  $\boxed{\div 4}$  にハッシュ品目を、部門3  $\boxed{\times 3}$  に負単価を設定する

## 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

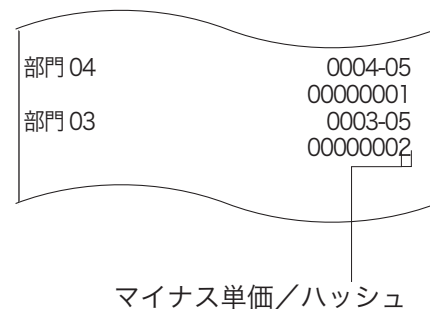
2 以下の操作をします。

$\boxed{3}$  小計  $\boxed{5}\boxed{6}\boxed{6}$  小計  $\boxed{4}$   $\boxed{\div 4}$   $\boxed{2}$   $\boxed{\times 3}$  小計

## ■負単価およびハッシュ品目

通常の部門	$\boxed{0}$
負単価にする	$\boxed{2}$
ハッシュ品目にする	$\boxed{4}$
負単価でハッシュ品目	$\boxed{6}$

## 印字例



マイナス単価/ハッシュ

 **ポイント** ご購入時の設定はすべて“0” (通常のキー) です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## 部門キーのいろいろな項目を一括設定する

一括設定では、複数の設定項目を同時に1つの部門キーに設定できます。

### 操作例

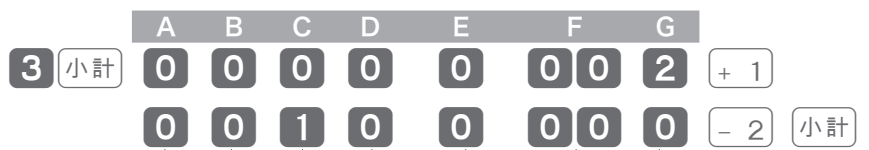
部門01を負単価に、部門02を税1外税対象にする。

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。

### 印字例

部門01	0001-05
	00000002
部門02	0002-05
	00100000



- 単品現金売り  
通常の部門=0、単品現金売り=2

- 常に0を設定します

- 消費税の課税方式

C	税1内税	0
	税1外税	1
	税2内税	2
	税2外税	3
	非課税対象	5

- 奉仕料計算対象

D	奉仕料対象とする	0
	奉仕料対象としない	1

- 入力最大桁制限

E	制限なし	0
	指定桁まで	1 ~ 7
	プリセット単価のみ	8、9

- 常に00を設定します

- 負単価、ハッシュ品目

G	ハッシュ品目にしない	負単価ではない	0
		負単価にする	2
	ハッシュ品目にする	負単価ではない	4
		負単価にする	6

 **ポイント** ご購入時の設定はすべて“00000000”です。



# その他の設定

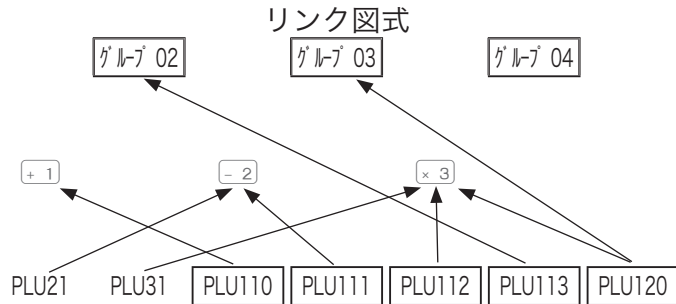
## PLU に部門リンク・グループリンクを設定する

PLU に集計される金額と数量を同時に「部門」にも集計したいときに、その部門を指定することを「部門リンク」と言います。部門でなく「グループ」へ直接リンクすることもできます。

### 操作例

PLU を以下のように部門またはグループにリンクさせる

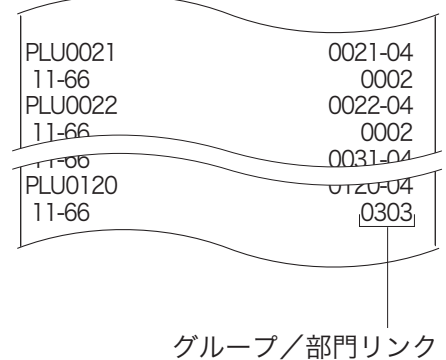
PLU 番号	リンク先	入力コード
PLU No.21	-2 (部門番号 02)	2
PLU No.31	x3 (部門番号 03)	3
PLU No.110	+1 (部門番号 01)	1
PLU No.111	-2 (部門番号 02)	2
PLU No.112	x3 (部門番号 03)	3
PLU No.113	グループ 02	200
PLU No.120	x3 とグループ 03	303



### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定3でリンク部門グループ番号設定コードを入力します。  
**3** 小計 **1166** 小計
- 3 リンク部門グループ番号を入力し、該当キーを押します。

### 印字例



- 2** **1** PLU **2** 現/預 (PLU 番号が続きゃ設定内容が同じときは PLU 番号、コード入力不要)
- 3** **1** PLU **3** 現/預
- 1** **1** **0** PLU **1** 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)
- 2** 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)
- 3** 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)
- 2** **0** **0** 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要) (グループ指定のときは、グループ番号後に 00 を入力します)
- 1** **2** **0** PLU **3** **0** **3** 現/預

- 4 **小計** を押します。

**小計**



- ・リンクできる部門番号は 01 ~ 25、グループ番号は 01 ~ 20 です。
- ・ご購入時は、すべての PLU はどの部門やグループにもリンクされていません。



**注意** PLU のリンク先を「部門」と「グループ」の両方に設定した場合、PLU 登録時に同じ金額、数量が部門とグループの両方に加算されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



## PLU に単品現金売りを設定する

PLU コードを入力して PLU キーを押すだけでレシートを発行 (取引終了) したいときは「単品現金売り」を PLU に設定します。このときは、預かり金の入力や釣り銭計算はできません。

### 操作例

PLU 番号 152 と 153 に単品現金売りを設定する

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定 3 で品番 PLU 設定コードを入力します。  

3	小計	1	8	6	6	小計
---	----	---	---	---	---	----
- 3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。  

1	5	2	PLU	2	現/預
---	---	---	-----	---	-----

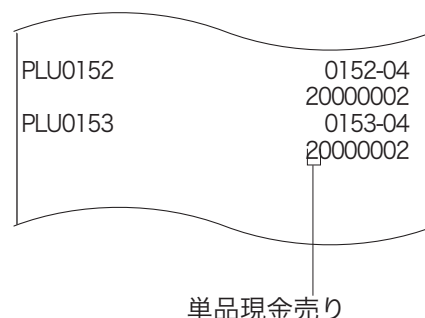
  - 単品現金売り

通常の PLU	0
単品現金売りにする	2

2 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)
- 4 小計 を押します。  

小計
----

#### 印字例



**ポイント** ご購入時の設定はすべて“0” (通常の PLU) です。

## PLU に品番 PLU を設定する

PLU は通常設定された単価で登録されますが、設定単価以外の単価で登録したい場合は、《品番 PLU》を設定します。品番 PLU の解説と操作例は 38、39 ページを参照してください。

### 操作例

PLU 番号 150 と 151 に品番 PLU を設定する

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定 3 で品番 PLU 設定コードを入力します。  

3	小計	4	6	6	小計
---	----	---	---	---	----
- 3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。  

1	5	2	PLU	4	現/預
---	---	---	-----	---	-----

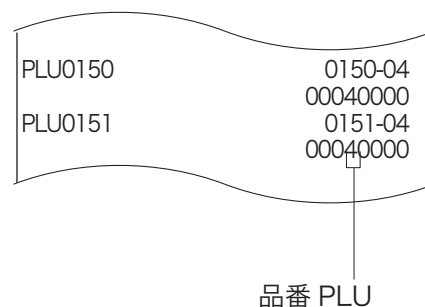
  - 設定数値

PLU 指定	0
品番 PLU 指定	4

4 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)
- 4 小計 を押します。  

小計
----

#### 印字例



**ポイント** ご購入時の設定はすべての PLU は品番 PLU でなく PLU 指定です。



## PLU にマイナス単価とハッシュ品目を設定する

立替金など、総売上に入らないものの登録には「ハッシュ品目」を、金額を負（マイナス）で集計したい場合は「負単価」をそれぞれ PLU に設定します。

### 操作例

PLU155 にハッシュ品目を、PLU156 に負単価を設定する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定 3 で品番 PLU 設定コードを入力します。  
3 小計 5 6 6 小計
- 3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。

1 5 5 PLU 4 現/預

■負単価およびハッシュ品目

通常の PLU	<span>0</span>
負単価にする	<span>2</span>
ハッシュ品目にする	<span>4</span>
負単価でハッシュ品目	<span>6</span>

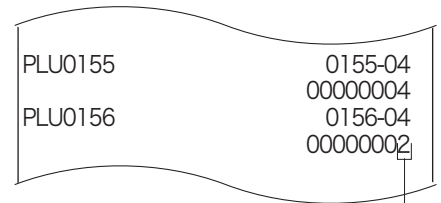
2 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)

- 4 小計 を押します。

小計

**ポイント** ご購入時の設定はすべて“0”（通常の PLU）です。

### 印字例



マイナス単価/ハッシュ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



## PLU のいろいろな項目を一括設定する

一括設定では、複数の設定項目を同時に1つのPLUに設定できます。

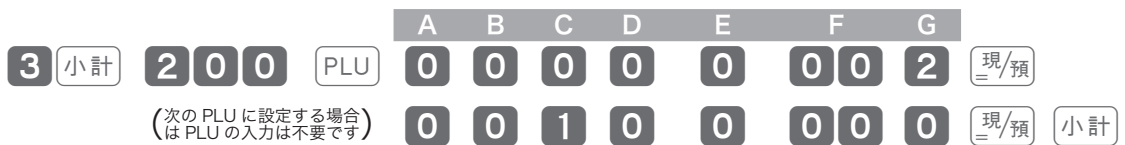
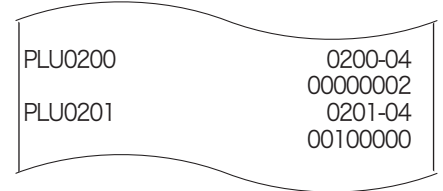
### 操作例

PLU200 を負単価に、PLU201 を税1 外税対象にする

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。

### 印字例



- 単品現金売り  
通常の PLU = 0、単品現金売り = 2

- 常に 0 を設定します

- 消費税の課税方式

C	課税方式	設定値
	税1 内税	0
	税1 外税	1
	税2 内税	2
	税2 外税	3
	非課税対象	5

- 品番 PLU、奉仕料計算対象

D	品番 PLU	奉仕料計算対象	設定値
	普通の PLU	奉仕料対象とする	0
		奉仕料対象としない	1
	品番 PLU	奉仕料対象とする	4
		奉仕料対象としない	5

- 入力最大桁制限 (品番 PLU 設定時のみ有効)

E	入力最大桁制限	設定値
	制限なし	0
	指定桁まで	1 ~ 7
		8、9

- 常に 00 を設定します

- 負単価、ハッシュ品目

G	品目	設定値	
	ハッシュ品目にしない	負単価ではない	0
		負単価にする	2
	ハッシュ品目にする	負単価ではない	4
		負単価にする	6

**ポイント** ご購入時の設定は“00000000”です。



## 締めキー（現金売りや券売りなど）を設定する

〔現/預〕や〔券〕などの「締めキー」の機能を設定します。設定できる機能には「預かり不足を報知する（51ページ参照）」や釣銭の最大金額や預かり金入力の強制などがあります。

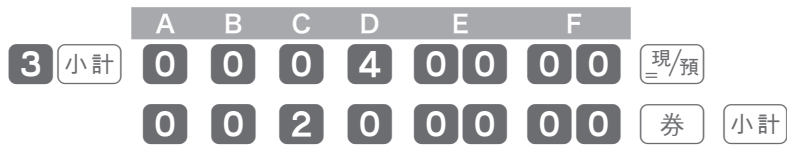
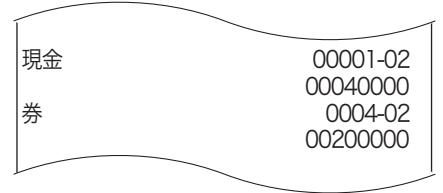
### 操作例

〔現/預〕での預かり入力を「強制する」に、〔券〕でのお釣りを「エラー」にする

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。

### 印字例



- クレジット売りの仕様（〔クレジット/決済〕、〔ID〕のみ有効）  
〔クレジット/決済〕として使用=0、〔ID〕として使用=1、  
信用売り（KT-10を使用しない）=2
- 常に0を設定します
- お釣りのある預かりの可/不可、内税金額の印字/非印字

C	お釣りのある預かり		内税対象額と内税額	
	可能		印字する	0
		印字しない	1	
不可（エラー）		印字する	2	
		印字しない	3	

- 預かり不足の報知、預かり金入力の可/不可、預かり入力の強制

D	預かり不足	預かり入力	預かり入力の強制
	報知しない	可能	強制しない
強制する			4
報知する	不可	強制しない	2
		強制する	6

- 預かり金額の制限

E	金額の左端の数値	0 ~ 9
	金額の0の個数	0 ~ 9

- 釣り銭金額の制限

F	金額の左端の数値	0 ~ 9
	金額の0の個数	0 ~ 9

上記 E、F の「金額の制限」の設定数値は下記です。

設定数値例：

- 金額制限 10,000 円 → 数値 “14”
- 金額制限 7,000 円 → 数値 “73”
- 金額制限 2,500 円 → 設定できません
- 金額制限 なし → 数値 “00”

💡ポイント ご購入時の設定は、〔現/預〕〔券〕は “0 0 0 0 0 0 0 0”、〔貸〕〔クレジット/決済〕は “0 0 0 2 0 0 0 0”、〔ID〕は “1 0 0 2 0 0 0 0” です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



## 値引きキーを設定する

値引きキーに課税ステータスその他を設定します。

### 操作例

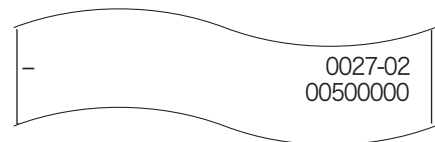
値引きキーを非課税扱いにする

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。



	A	B	C	D	E	F
3 小計	5	0	0	0	0	0
■ 消費税の課税方式						
A 税 1 内税	0					
税 1 外税	1					
税 2 内税	2					
税 2 外税	3					
オール課税指定	4					
非課税指定	5					
■ 奉仕料計算の対象にする						
B する		0				
しない		1				
■ 単品値引き／負の小計						
C 値引き操作で小計が						
負になることを許さない			0			
負になることを許す			1			
■ 常に 0 を設定します				0		
■ 入力最大桁制限						
D 制限なし					0	
指定桁まで					1 ~ 7	
プリセット単価のみ					8、9	
■ 単品値引き						
F 禁止						4
許可						0
						4



- ・ご購入時の設定は“4 0 0 0 0 4” オール課税指定（按分値引き）です。
- ・上記 A の「課税方式」の設定は、68 ページ（消費税の課税方式の設定）で設定されます。
- ・単品値引き禁止のときは、必ず **小計** を押した後に値引き操作をしてください。



## 割引キーと割増しキーを設定する

割引キーと割増しキーの機能を設定します（端数処理など）

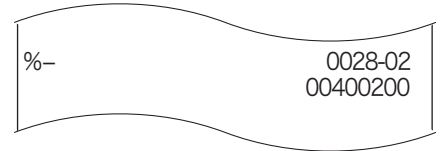
### 操作例

%- の円未満を「切上げ」にする

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。

### 印字例



#### ■ 消費税の課税方式

A	税1内税	0
	税1外税	1
	税2内税	2
	税2外税	3
	オール課税指定	4
	非課税指定	5

#### ■ 奉仕料計算の対象にする

B	する	0
	しない	1

#### ■ 新たな%率を置数しての%計算

C	可能	0
	禁止	2

#### ■ %計算の端数処理

D	円未満四捨五入	0
	円未満切り捨て	1
	円未満切り上げ	2

#### ■ 常に00を設定します

00



- ・ご購入時の設定は“4 0 0 0 00” オール課税指定（按分値引き）です。
- ・上記Aの「課税方式」の設定は、68ページ（消費税の課税方式の設定）で設定されます。

## 乗算キー（操作順と端数処理）を設定する

乗算登録の場合の操作順序（数量×単価 or 単価×数量）および円未満の端数処理方法を設定します。

### 操作例

乗算登録の計算順を「単価×数量」にする

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。

### 印字例



#### ■ 乗算の操作順序

A	数量×単価	0
	単価×数量	1

#### ■ 乗算の端数処理

B	円未満四捨五入	0
	円未満切り捨て	1
	円未満切り上げ	2

#### ■ 常に00を設定します

00



ご購入時の設定は“0 0 00”（乗算の計算順序は「数量×単価」、端数処理は「四捨五入」）です。



**注意** 乗算の計算順を「単価×数量」にした場合は、「PLUの乗算登録」、「スキャンングPLUの乗算登録」と「時刻・日付の表示」ができなくなります。（37ページ参照）

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは





## 入金キーと出金キーを設定する

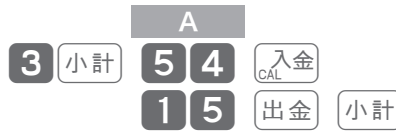
入金キーと出金キーには、入力まちがいを防ぐための置数入力制限を設定します。

### 操作例

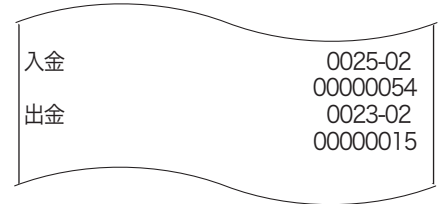
5万円以上の入金と10万円以上の出金を「エラー」にする

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。



### 印字例



#### ■置数入力金額の制限

A	金額の左端の数値	0~9
	金額の0の個数	0~9

上記Aの「金額の制限」の設定数値は下記です。

設定数値例：

金額制限	10,000円	→	数値“14”
金額制限	7,000円	→	数値“73”
金額制限	2,500円	→	設定できません
金額制限	なし	→	数値“00”

**ポイント** ご購入時の設定は、“00”です。

## 担当者番号を設定する

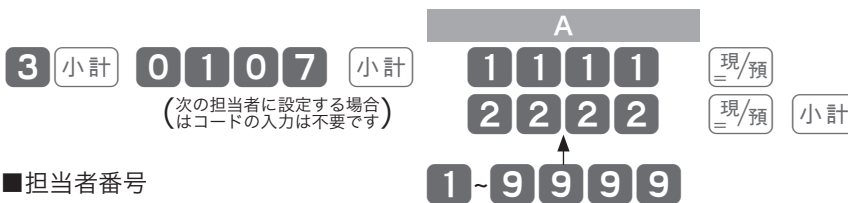
担当者機能をお使いの場合に、お買い上げの状態から変更したい場合に設定します。

### 操作例

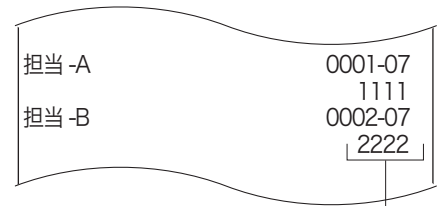
担当者-Aの番号を1111、担当者-Bの番号を2222とする

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。



### 印字例



担当者番号

#### ■担当者番号

担当者ごとの操作コードとご購入時の担当者番号は下記です。

担当者	操作コード	購入時番号	担当者	操作コード	購入時番号	担当者	操作コード	購入時番号
担当-A	0107	0001	担当-H	0807	0008	担当-O	1507	0015
担当-B	0207	0002	担当-I	0907	0009	担当-P	1607	0016
担当-C	0307	0003	担当-J	1007	0010	担当-Q	1707	0017
担当-D	0407	0004	担当-K	1107	0011	担当-R	1807	0018
担当-E	0507	0005	担当-L	1207	0012	担当-S	1907	0019
担当-F	0607	0006	担当-M	1307	0013	担当-T	2007	0020
担当-G	0707	0007	担当-N	1407	0014			



## 奉仕料率を設定する

奉仕料を徴収するお店では、奉仕料率や端数処理などを設定します。

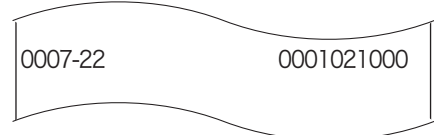
### 操作例

奉仕料率 10% を設定する

### 手順

### 印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。



3 小計 722 小計 1021000 現/預 小計

#### ■ 奉仕料の端数処理

A	四捨五入	0
	切り捨て	1
	切り上げ	2

#### ■ 常に 0 を設定します

0

#### ■ 奉仕料の計算をする

C	奉仕料を	
	計算する	2
	計算しない	0

#### ■ 奉仕料率を 2 桁で設定します

00 ~ 99

#### ■ 常に 00 を設定します

00



- ・奉仕料率は、必ず 2 桁で設定します。
- ・ご購入時の設定は、“1 0 0 00 00” です。



注意

販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。ご自分で変更せずに販売店にお問い合わせください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# レジ操作の練習

## トレーニングを始める／トレーニングを終わる

トレーニングモードにして登録操作を練習します。「登録」と「戻」モードのトレーニングができます。トレーニング中は合計には演算されません。

### トレーニングを始める

#### 手順

#### 印字例

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 以下の操作をします。  
1 1 1 1 1 1 小計
- 3 モードスイッチを「登録」または「戻」に合わせ、登録操作の練習をします。

トレーニングモードを開始します

### トレーニングを終わる

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 小計 を押します。  
小計

トレーニングモードを終了します



# レジ設定内容の確認

## 設定内容を確認する

設定されている内容の確認は、設定6モードで以下の種別コードを入れて設定点検します。

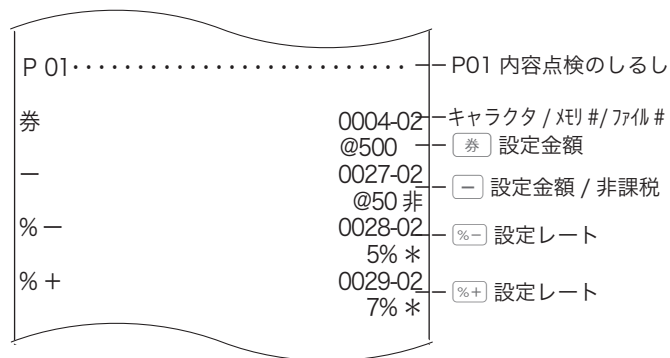
区分	種別コード	設定点検内容	区分	種別コード	設定点検内容
A (P01 内容)	102	値引き額、割引率など	C (P03 内容)	302	取引キーのプログラム
	104	PLU 単価と課税方法		304	PLU のプログラム
	105	部門単価と課税方法		305	部門のプログラム
B (P02 内容)	204	PLU キャラクタ (文字)		307	担当者のプログラム
	205	部門名		322	全体設定のプログラム
	206	グループ名		326	現行税率のプログラム
	207	担当者名		327	予定税率のプログラム
	232	レシートメッセージ			

### 値引き金額、割引率等の設定確認

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  
6 小計 102 小計

#### 印字例

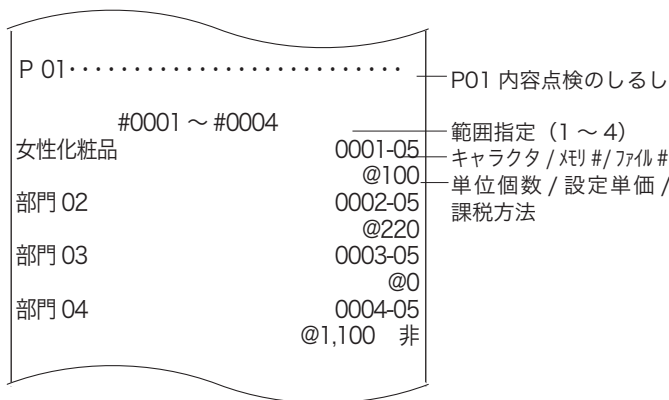


### 部門の単価と課税方法の設定確認

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  
6 小計 105 小計
- 3 開始部門番号を入力して 現/預 を押し、終了部門番号を入力して 現/預 を押します。  
1 現/預 4 現/預

#### 印字例



**ポイント** 開始番号を入力しないと最初から点検します。終了番号を入力しないと最後までを点検します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# レジ設定内容の確認

## PLU の単価と課税方法の設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  

6	小計	104	小計
---	----	-----	----
- 3 開始 PLU 番号を入力して  を押し、終了 PLU 番号を入力して  を押します。  

1	<input type="button" value="現/預"/>	200	<input type="button" value="現/預"/>
---	------------------------------------	-----	------------------------------------

### 印字例

P 01 .....	P01 内容点検のしるし
#0001 ~ #0200	範囲指定 (1 ~ 200)
PLU0001	0001-04
11-66	@218
PLU0002	0101
11-66	0002-04
PLU0070	@318
11-66	0101
PLU0171	@305
11-66	0101
PLU0199	0199-04
11-66	@800 非
PLU0200	0101
11-66	0200-04
	@2,000 非
	0101

**ポイント** 開始番号を入力しないと最初から点検します。終了番号を入力しないと最後までを点検します。

## PLU に設定した商品名の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  

6	小計	204	小計
---	----	-----	----
- 3 開始 PLU 番号を入力して  を押し、終了 PLU 番号を入力して  を押します。  

6	5	<input type="button" value="現/預"/>	7	5	<input type="button" value="現/預"/>
---	---	------------------------------------	---	---	------------------------------------

### 印字例

P 02 .....	P02 内容点検のしるし
#0065 ~ #0075	範囲指定 (65 ~ 75)
PLU0065	0065-04
カー-Yシャツ	0066-04
Yシャツ	0067-04
PLU0074	0068-04
PLU0075	0075-04

## 担当者名の設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  

6	小計	207	小計
---	----	-----	----
- 3 開始担当者メモリ番号を入力して  を押し、終了担当者メモリ番号を入力して  を押します。  

<input type="button" value="現/預"/>	<input type="button" value="現/預"/>
------------------------------------	------------------------------------

### 印字例

P 02 .....	P02 内容点検のしるし
#0001 ~ #0020	範囲指定 (最初~最後)
鈴木一郎	0001-07
山本弘子	0002-07
担当-C	0003-07
担当-D	0004-07
原 優	0005-07
担当-F	0006-07
担当-G	0007-07
担当-H	0008-07
担当-I	0009-07
担当-J	0010-07
担当-K	0011-07



# レジ設定内容の確認

## 部門名の設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  

6	小計	2005	小計
---	----	------	----
- 3 開始部門番号を入力して  を押し、終了部門番号を入力して  を押します。  

1	現/預	3	現/預
---	-----	---	-----

### 印字例

P 02	.....	P02 内容点検のしるし
	#0001 ~ #0003	範囲指定 (1 ~ 3)
女性化粧品	0001-05	部門 1
	025-051	キーの位置
ヘアケア用品	0002-05	部門 2
	026-051	キーの位置
ドリンク剤	0003-05	部門 3
	027-051	キーの位置

## レシートメッセージの設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  

6	小計	232	小計
---	----	-----	----

### 印字例

P 02	.....	P02 内容点検のしるし
0001-32		ロゴメッセージ
毎度ありがとうございます		1 行目
0002-32		
カシオ商店		2 行目
0003-32		
		3 行目
0005-32		
		5 行目
0006-32		
		6 行目
0007-32		コマースシャルメッセージ
朝市を開催します		1 行目
0008-32		
		2 行目
0009-32		
0016-32		
		ボトムメッセージ
0017-32		
		5 行目
0018-32		
		6 行目

## グループ名の設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  

6	小計	2006	小計
---	----	------	----

### 印字例

P 02	.....	P02 内容点検のしるし
鮮魚	0001-06	グループ 1
精肉	0002-06	グループ 2
青果	0003-06	グループ 3

## 取引キープログラムの設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  

6	小計	302	小計
---	----	-----	----

### 印字例

P 03	.....	P03 内容点検のしるし
現金	00000000	現金売り / 預かり金
小計	00000000	キー小計キー
貸	00020000	貸し売りキー
券	00000000	券売りキー
クレジット	00020000	クレジットキー
iD	10020000	iD キー
強制解除	00000000	強制解除キー
入金	00000000	入金キー
出金	00000000	出金キー
在高申告	00000000	在高申告キー

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# レジ設定内容の確認

## PLU プログラムの設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  

6	小計	3	0	4	小計
---	----	---	---	---	----
- 3 開始 PLU 番号を入力して  を押し、終了 PLU 番号を入力して  を押します。  

1	1	<input type="button" value="現/預"/>	1	0	0	<input type="button" value="現/預"/>
---	---	------------------------------------	---	---	---	------------------------------------

### 印字例

P 03 .....	P03 内容点検のしるし
#0011 ~ #0100	範囲指定 (11 ~ 100)
清涼飲料水 500ml	0011-04 設定キャラクタ / メモリ番号
	00000000 設定データ
11-66	0000 部分設定データ (1166)
12-66	#0000000000000000 部分設定データ (1266)
13-66	< 0000-28 部分設定データ (1366)
清涼飲料水 1.5L	0012-04
	00000000
清涼飲料水 250ml	0100-04
	00000000
11-66	0000
12-66	#0000000000000000
13-66	< 0000-28

## 部門プログラムの設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  

6	小計	3	0	5	小計
---	----	---	---	---	----
- 3 開始部門番号を入力して  を押し、終了部門番号を入力して  を押します。  

<input type="button" value="現/預"/>	<input type="button" value="現/預"/>
------------------------------------	------------------------------------

### 印字例

P 03 .....	P03 内容点検のしるし
#0001 ~ #0020	範囲指定 (最初 ~ 最後)
女性化粧品	0001-05 設定キャラクタ / メモリ番号
	00000000 設定データ
11-66	0000 部分設定データ (1166)
ヘアケア用品	0002-05
	00000000
胃腸薬	0008-05
	00000000
11-66	0000



**ポイント** 開始番号を入力しないと最初から点検します。終了番号を入力しないと最後までを点検します。





# レジ設定内容の確認

## 担当者の設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  

6	小計	3	0	7	小計
---	----	---	---	---	----
- 3 開始部門番号を入力して  を押し、終了部門番号を入力して  を押します。  

1	現/預	2	現/預
---	-----	---	-----

### 印字例

P 03.....	P03 内容点検のしるし
#0001 ~ #0002	担当者レンジ
担当 -A           0001-07	担当者 01
0001	担当者番号
67               0000000000	担当者プログラム
担当 -B           0002-07	
0002	
67               0000000000	

## 全体設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  

6	小計	3	2	2	小計
---	----	---	---	---	----

### 印字例

P03 .....	P03 内容点検のしるし	
0001-22	0000000000	
0002-22	0000000000	レジ番号の設定
0003-22	0010000233	一連番号の設定
0004-22	0000890000	
0005-22	0100051040	印字制御の設定
0006-22	0400001000	強制操作・演算の設定
0007-22	0001021000	奉仕料の設定
0008-22	0721004100	明細レポート印字制御 1
0009-22	2736717700	明細レポート印字制御 2
0010-22	2000000000	
0011-22	0000000000	
0012-22	0000000000	
0013-22	0000000000	
0014-22	0000000000	
0015-22	0000000000	
0016-22	0000000000	
0017-22	0000010402	レシートの印字制御
0018-22	0000000000	
0019-22	0000000000	
0020-22	0000000000	
0021-22	0000000000	
0022-22	0000010123	
0023-22	0000000000	
0024-22	0000000000	
0025-22	0040000000	強制解除機能の設定
0026-22	0000000000	
0027-22	0210030000	領収書関連の設定
0028-22	0000000000	
0029-22	0000000120	文字の濃さの設定
0030-22	0000000000	
0031-22	0000000120	
0032-22	0000000000	
0033-22	0000000000	
0034-22	0000000000	本体表示の設定
0035-22	0000000000	
0041-22	0000000000	
0042-22	0000000000	

全体設定は 92 ~ 101 ページを参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# レジ設定内容の確認

## 現行税率の設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  
**6** 小計 **3 2 6** 小計

### 印字例

P 03 .....	P03 内容点検のしるし		
-----			
現行			
消費税 1	8%	内税	税 1 内税
		四捨五入	税率 / 課税方式
消費税 1	8%	外税	端数処理方法
		四捨五入	税 1 外税
消費税 2	0%	内税	税 2 内税
		四捨五入	
消費税 2	0%	外税	税 2 外税
		四捨五入	

## 予約税率の設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  
**6** 小計 **3 2 7** 小計

### 印字例

P 03 .....	P03 内容点検のしるし		
-----			
税変更日	2017-04-01	00:00	変更日の設定
消費税 1	A%	内税	税 1 内税
		四捨五入	税率 / 課税方式
消費税 1	A%	外税	端数処理方法
		四捨五入	税 1 外税
消費税 2	0%	内税	税 2 内税
		四捨五入	
消費税 2	0%	外税	税 2 外税
		四捨五入	

## 予約税率と部門の予約設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  
**1** 小計 **1 2 7 0 0** 小計

### 印字例

P 03 .....	P03 内容点検のしるし	
-----		
税変更日	2017-04-01	00:00
消費税 1	10%	内税
消費税 1	10%	外税
消費税 2	8%	内税
消費税 2	8%	外税
単価	変更する	
課税方式	変更する	
-----		
単価 / 課税方式予約設定		
部門 01		@450
部門 02	※	@100

## PLU の予約設定確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。  
**1** 小計 **1 2 8 0 0** 小計
- 3 開始 PLU 番号を入力して **[現/預]** を押し、終了 PLU 番号を入力して **[現/預]** を押します。  
**1** 現/預 **2 0 0 0** 現/預

### 印字例

単価	変更する	
課税方式	変更する	
-----		
単価 / 課税方式予約設定		
PLU0001		@450
PLU0002	※	@100
-----		
PLU0200	※	@120

# 故障かなと思ったら

## エラー音（ピー音）が鳴ったとき

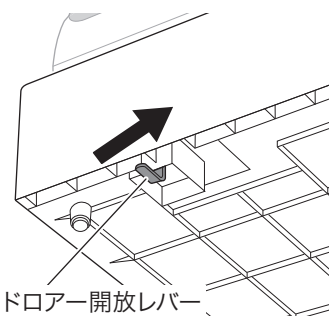
レジ操作中にエラー音が“ピーツ”と鳴ってもエラーの自動解除機能によってそのまま操作を続けることができます。しかし、何度操作してもエラーを繰り返す場合や、登録操作が込み入り、どのように操作すればよいかわからなくなった場合、その取引を強制的に解除して、新たに登録をし直すことができます。取引を強制的に解除するには、**強制解除** を続けて2回押します。強制解除は通常は、取引中止として処理します。

**ポイント** **強制解除**を「取引中止」ではなく「現金売り」にしたい場合は、98ページの強制解除機能の設定で変更してください。強制解除した取引が登録モードの場合、同じ取引を戻モードで戻してください。

## ドロアーが開かなくなったとき

停電や故障などでドロアーが開かなくなったときは、ドロアー底面のレバー（ドロアー開放レバー）を動かすと開きます。

**ポイント** ドロアーロック錠（11ページ）がかかっていると、ドロアーは開きません。ロックを解除してください。



ドロアー開放レバーの形状は実物と異なることがあります。

## 操作ガイドで調べる

レジスターでよく使う操作の説明を使うには **操作ガイド** を押します。

### 手順

**1** 操作ガイドキーを押します。

**操作ガイド**

情報センタからの操作ガイドを見る場合は、**9999** **操作ガイド** を押します。

**2** 発行されたレシートから、説明を受ける項目を確認します。項目番号を入力して **操作ガイド** を押します。

**7** **操作ガイド**

説明を受ける項目のレシートが発行されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

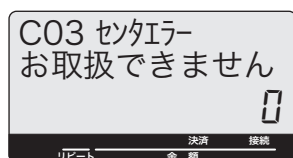
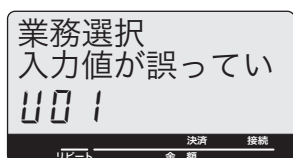
# 故障かなと思ったら

## こんなときには

こんなとき	処置	参照ページ
ドロアー（引き出し）が開かない	硬貨や紙幣が詰まっていないか確認してください。「ドロアーが開かなくなったとき」をお読みください。	121
表示がつかない	電源プラグはしっかりとコンセントに差し込まれているか確認してください。コンセントに電気が来ているか別の電気器具でご確認ください。	---
レシート、領収書、またはジャーナルが発行されない	ロールペーパーに残りがあるか確認してください。 (レシートが発行されない場合に) レシート発行停止になっていませんか。	128、129 13
ジャーナルが巻き取られない	紙詰まりしていないか確認してください。 ジャーナル用紙が巻き取りホルダにきちんとセットされているか確認してください。 巻き取りホルダがホルダ受けに確実にセットされているか確認してください。	128 126 126
印字をしない 印字がうすい、ムラがある	紙詰まりしていないか確認してください。 ロールペーパーを裏表逆に取り付けていないか確認してください カシオ推奨の感熱紙のロールペーパーをお使いください（普通紙は使えません）。	128、129 126、127 裏表紙

## 表示窓に E やメッセージが表示されたときには

表示窓の上側に E の文字とエラーコードや、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス（案内表示）が出ることがあります。



左のような、金額表示の部分に U と数字が表示された場合や、一番上の左側に「C」、「G」、「S」の文字が表示されるときは KT-10 の取扱説明書のエラーメッセージ欄をご覧ください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、下表を参照してください。

こんなとき	処置	参照ページ
E 誤操作です。	操作ミスです。取扱説明書をお読みいただき、正しい操作をお願いします。	--
新規商品です。 単価を入れて部門キーを押して下さい。	スキャンされた商品がまだレジスターに設定されていません。単価を入力して、商品を分類したい部門キーを押してください。	41
お知らせ着信 確認：〈現／預〉 保留：〈小計〉	情報センタからメッセージが届いています。ご覧になる場合 <input type="button" value="現/預"/> を、今はご覧にならない場合 <input type="button" value="小計"/> を押してください。（保留しても次の機会に再度表示します。）	--
ソフトウェア更新 実行：〈現／預〉 中止：〈小計〉	レジスターやマルチ決済端末のソフトを更新します。先に「お知らせ着信」が来ていればそれをお読みのうえ、実行してください。（更新せずに中止した場合は翌日のレジ開設時に再度表示します。）	--
開設・接続して下さい。	レジの開設や情報センタへ接続されていません。または、データ更新のために再度開設が必要です。レジの開設処理を行ってください。	22
情報センタ接続 パスワードを入力して〈接続〉キーを押して下さい。	情報センタに接続します。（設定していれば接続パスワードを入力して） <input type="button" value="接続"/> を押してください。	22
E001 モード 替えエラーです。モード スイッチの位置を登録または戻に合わせて下さい。	登録中にモードを変更しています。元のモードにしてください。	--
E004 初期化エラー	ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。	--
E008 暗証 No を入力して下さい。	担当者を使う設定になっていますが、担当者を指定していません。担当者を指定してください。	44
E012 ジャーナル用紙がなくなりました。	ジャーナル用紙がなくなりました。新しいロール紙に交換してください。	128
E014 レシート用紙がなくなりました。	レシート用紙がなくなりました。新しいロール紙に交換してください。	129
E016 モード スイッチを登録にして下さい。	続けて、返品登録を行なうことはできません。一度モードスイッチを登録にしてから、もう一度戻モードに合わせて、返品登録してください。	31

# 故障かなと思ったら

こんなとき	処置	参照ページ
E021 PLU にリンク部門が設定されていません。	指定された PLU にリンク部門が設定されていません。別の PLU や部門で登録後、PLU のリンク部門設定を修正してください。	105
E029 一部入金中です。締め操作を行って下さい。	一部入金中です。締め操作（支払操作）以外は受け付けません。	51
E031 <小計> キーを押して下さい。	<b>小計</b> を押してお買い上げ合計額を確認してください。	23
E033 お預かり額を入れて操作して下さい。	お客様からお預かりした金額を入力してから <b>現預</b> を押してください。（ちょうどの金額のお預かりでも、入力が必要です。）	23
E035 釣銭制限額を越えています。	お預かり金額をまちがって入力していないか確認してください。釣り銭をお店で決めた金額を越えて支払おうとしています。	--
E036 ドロー内の現金を回収して下さい。	ドロー内の現金を回収して回収額を出金登録してください。	45
E037 桁又は金額制限額を越えています。	入力された金額がまちがっていないか確認してください。お店で決めた制限を越えた金額を登録しようとしています。	--
E038 在高申告が必要です。	在高申告してください。在高申告すると次の操作が可能になります。	53
E046 登録バックアップが一杯になりました。	<b>現預</b> などを押して取引を終わらせてください。たくさんの商品が登録されたので内部メモリが一杯になっています。	--
E103 スキニングコードが存在しません。	入力されたスキニング PLU コードがまちがっていないか確認してください。入力されたコードの商品は設定されていません。	--
E104 設定済商品です。	入力されたスキニング PLU コードがまちがっていないか確認してください。入力されたコードの商品は設定済みのため新しく受付できません。	--
E112 ジャーナル側の紙押えを戻して下さい。	ジャーナル紙押さえが開いています。きちんと閉めなおしてください。	126
E114 レシート側の紙押えを戻して下さい。	レシート紙押さえが開いています。きちんと閉めなおしてください。	127
E115 紙詰まりです。	紙が詰まりました。ロール紙交換の操作を参考にして詰まった紙を取り除き、再度ロール紙をセットしてください。	128 129
E127 バックアップデータ無し	ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。レジスターのデータ復元を試みましたが、元のデータが見つかりません。	--
E139 値引金額の誤り、または税種が異なります。	入力された値引き金額をご確認ください。値引きで小計金額が負にならないようにした場合、非課税商品に対して課税の値引きはできません。	46
E200 RAC-12 / 13 が接続されていません。	RAC-12 または RAC-13 が装着されていないためデータバックアップができません。装着されているか確認してください。	130
E201 バックアップデータ異常	ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。レジスターのデータ復元を試みましたが、元のデータに異常があります。	--
E202 電子店名スタンプがありません。	電子店名スタンプ（RAC-13）が装着されていないためスタンプのデータの読み込みができません。装着されているか確認してください。	130
E210 接続情報がありません。	RAC-12 がきちんと装着されているか確認してください。販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E211 接続できません。	レジスターと周辺機器との接続、電源の確認をして再度接続してください。それでもエラーが発生するときは販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E212 実行できません。電話回線を使いますか？実行：<現/預> 中止：<小計>	インターネット接続用のメイン回線が使用できません。バックアップ用のモデムに切り替える場合は <b>現預</b> を押します。切り替えない場合は <b>小計</b> を押します。	--
E213 端末認証エラーが発生しました。	ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。	--
E214 パスワード不一致	パスワードを確認の上再度入力してください。開設パスワード入力まちがっています。	22
E215 サービスがご利用になれません。	指定のサービスは有効ではありません。販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E216 通信エラーが発生しました。	センターとの通信でエラーが発生しました。時間を空けてから、再度お試しください。それでも直らなければ、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。	--
E217 更新は有りません。	リモート IPL の受信操作をしましたが、更新する情報はありませんでした。そのまま更新せずにお使いください。	--
E218 開設・接続するまでご利用になれません。	レジが開設されていません。開設操作を行なってください。	22
E219 受信データが削除されました。	センタから送信したい情報があると連絡を受け、受信を試みましたが、既にそのデータは削除されていました。そのままお使いください。	--
E230 決済端末通信エラーが発生しました。	決済端末との通信でエラーが発生しました。決済端末の電源やケーブルをチェックして、再度やり直してください。	--

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

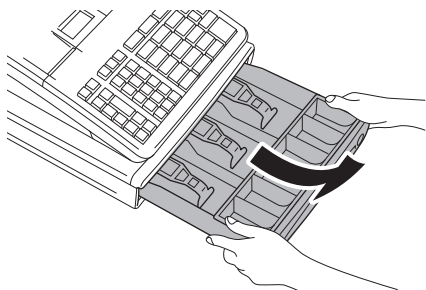


# ドロアーを分離して設置する

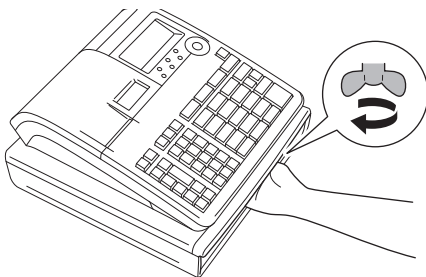
お店のレイアウトに合わせて、ドロアーとレジスター本体を分離して設置できます。付属のドロアー延長ケーブルとレジスター固定ゴム足をご用意ください。作業用工具としてプラスドライバーが必要です。

## 手順

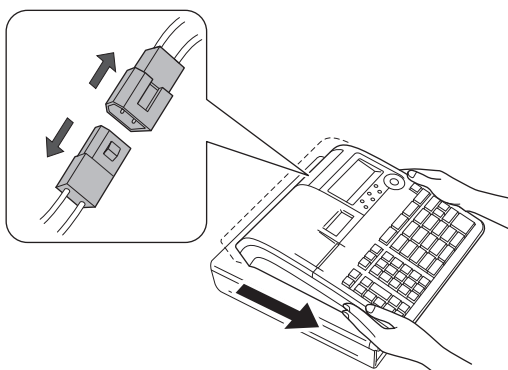
- 1** ドロアーの引き出し部分を、イラストのように先端を持ち上げるようにしながら取り外します。



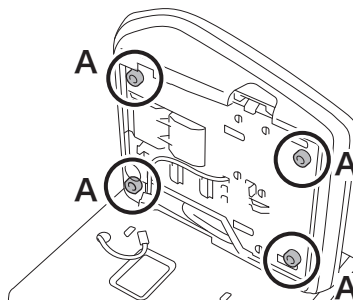
- 2** ドロアーの内側上面にある蝶ねじを左に回して取り外します。



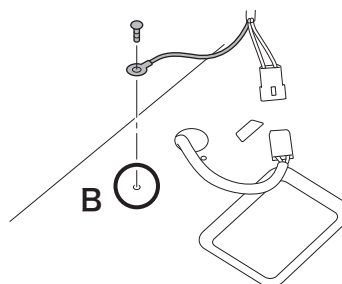
- 3** 本体を矢印の方向にずらして持ち上げ、本体とドロアーをつないでいるケーブルのコンネクターを外します。



- 4** レジスター底面の右図A位置に固定ゴム足をはめ込みます。本体とドロアーを所定の位置に置きます。



- 5** 本体とドロアーのコンネクターにドロアー延長ケーブルを接続します。ドロアー延長ケーブルから出ている緑のアース線を、右図B位置のネジを使って本体とドロアーにしっかりと留めます。



- 6** ドロアーの引き出しと硬貨入れを元に戻します。ドロアー上面のレジスターを固定していた穴に、必要に応じて穴塞ぎ用シートを貼り付けます。



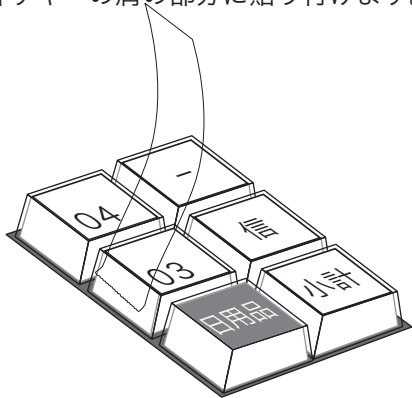
- 注意**
- ・ドロアー内部に余った延長ケーブルを入れないでください。
  - ・分離作業によって外した蝶ねじと座金は、再びレジスターとドロアーをつなげる場合に必要になります。

# 部門キーなどに商品名を記入する

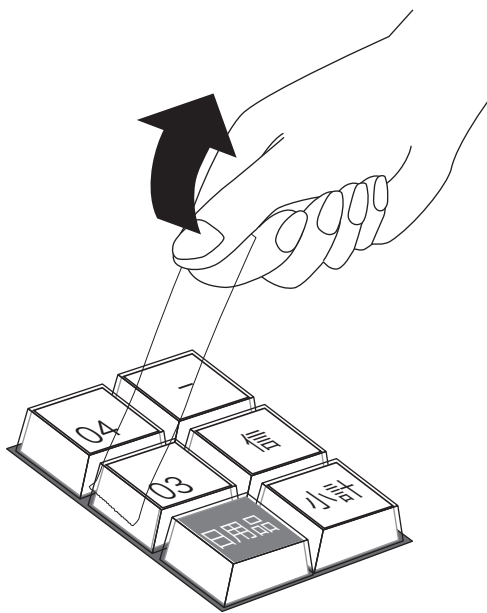
10mm 程度の幅のセロハンテープをご用意ください。

## 手順

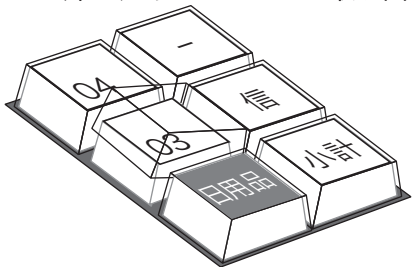
- 1 セロハンテープを5cm位の長さに切り、キーキャップを外すキーの肩の部分に貼り付けます。



- 2 貼り付けたセロハンテープを親指と人差し指で押さえ、上に手首を回すようにして引き上げます。



- 3 キーキャップの片側が外れます。キー本体からキーキャップを外し、キープレートを取り出します。



- 4 新しいキープレートをキーキャップの中に入れ、紙の方向に注意しながらキー本体にかぶせ、押し込みます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは





## ロールペーパーをセットする (ジャーナル)

### 手順

1 モードスイッチを「登録」の位置にします。



2 プリントカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



3 紙押さえに写真で示すように指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



4 ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



5 ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



6 ロールペーパーをローラで挟み込み、ローラの両端が確実にロックされるまで押し込みます。




7 「ジャーナル巻き取りホルダ」の溝に、ロールペーパーの先端を差し込み、2～3回巻き付けます。



8 「ジャーナル巻き取りホルダ」を、「ホルダ受け」にセットします。



9 用紙のたるみがなくなるまで  を押します。



10 プリントカバー手前のツメを所定の穴に入れてから、後部を押してカバーを閉じます。



ロールペーパーをセットする際の注意事項は、127 ページを参照してください。



## ロールペーパーをセットする (レシート)

### 手順

- 1** プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。
- 4** ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



- 2** 紙押しえのレバーを手前に引き、写真で示すように指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



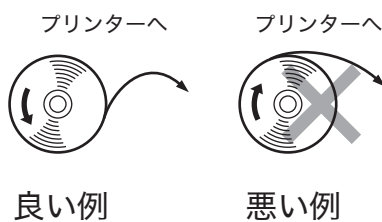
- 5** ロールペーパーをローラで挟み込み、ローラの両端が確実にロックされるまで押し込みます。



- 3** ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



- 6** プリンタカバーを閉めて、余分な紙を切り取ります。



注意

- 必ずロールペーパーを取り付けて使用してください。ロールペーパーを取り付けないとレジスターは動作しません。
- ロールペーパーの規格は紙幅 58mm x 外径 80 mm の感熱記録紙です。ロールペーパーは当社指定のものを使用してください。指定品以外の用紙を使用すると故障の原因となります。
- ロールペーパーに赤い線が出てきたら残りは約 1 m です。早めに新しいロールペーパーに交換してください。



## ロールペーパーを交換する (ジャーナル)

ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約 1m です。早めに新しいロールペーパーに交換してください。下記は、印字用紙をジャーナル (営業記録) として使うときの交換方法です。


### 手順

- 1 モードスイッチを「登録」の位置にします。



- 2 プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



- 3  を押して約 20cm ロールペーパーを空送りします。



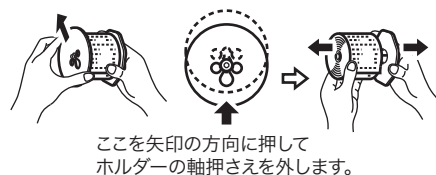
- 4 印字部分にかからない位置でペーパーを切り離します。



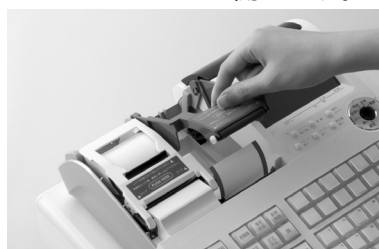
- 5 ジャーナル巻き取りホルダをホルダ受けから上へ、取り外します。



- 6 印字済み用紙をホルダから横方向にずらして外します。



- 7 紙押さえに写真で示すように指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



- 8 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



上記の手順の終了後、新しいロールペーパーをセットします。セットの手順については、126 ページの「手順 4」以降を参照してください。



## ロールペーパーを交換する (レシート)

ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約 1m です。早めに新しいロールペーパーに交換してください。下記は、印字用紙を「レシートとして使うときの交換方法です。

### 手順

- 1 プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



- 2 紙押さえのレバーを手前に引き、指をかけて持ち上げ自然に止まるまでアームを開けます。



- 3 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



上記の手順の終了後、新しいロールペーパーをセットします。セットの手順については、127 ページの手順 3以降を参照してください。





## 電子店名スタンプを取り付ける

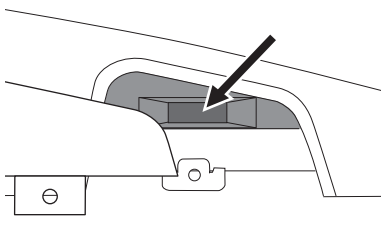
電子店名スタンプが到着したら、下記の手順でレジスターに取り付けます。取り付け後、レシートに店名、住所などを印刷します。

### 手順

**1** モードスイッチを「OFF」の位置にして、表示が消えたことを確認します。



**2** レジスターの向かって左側面のRACスロットカバーを開けます。(ネジ留めされていることがあります。)




RACスロットカバー内部(矢印部に挿し込みます)

**3** インターネット接続キー(RAC-12)が取り付けられている場合は取り外します。

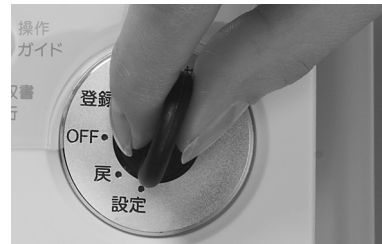


**4** 印刷面を下にして、電子店名スタンプ用スロットに奥までしっかりとめ込みます。



**5** オーナーキー (  ) を使って、設定モードに合わせます。

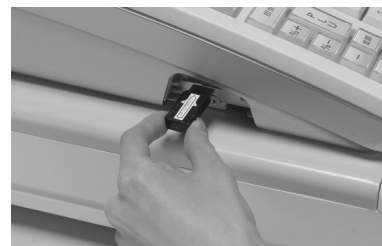
**7** 小計 **4** **1** **2** **4** 小計 現/預 と操作します。



**6** モードスイッチを「OFF」の位置にして、表示が消えたことを確認します。



**7** 電子店名スタンプを抜き、手順3で抜いたRAC-12を取り付けます。



**8** スロットカバーを閉めます。(手順2でカバーがネジ留めされていた場合は、ネジで留めます。)

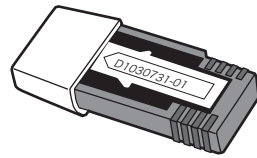




# スキャナーとレジスターの接続

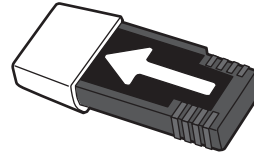
## RAC-12 と 13 の見分け方

電子店名スタンプ  
RAC-13



(オレンジ色のスティック)

インターネット接続キー  
RAC-12



(黒色のスティック)



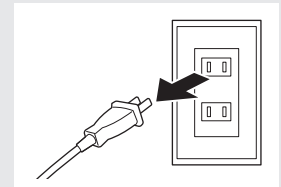
- ・電子店名スタンプ (RAC-13) やインターネット接続キー (RAC-12) の端子部には手や金属で触れないでください。
- ・電子店名スタンプの取り付け前にロゴ/コマーシャルメッセージに設定された内容は、電子店名スタンプの内容が上書きされます。

ロゴやサーマルポップが印字されないときは、設定内容 (66、97、100 ページ参照) を確認してください。

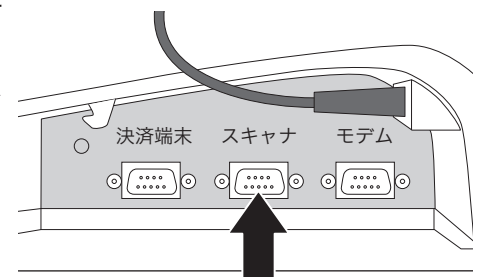
## スキャナーとレジスターの接続



- ・スキャナーをレジスターに接続するときは、レジスターの電源プラグを必ずコンセントから抜いて作業してください。



- 1 モードスイッチの位置を「OFF」にして、表示が消えたらレジスターの電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 右側面のコネクタカバーを外し、ハンドスキャナーの接続コネクタを「スキャナ」コネクタに接続して両端をネジで固定します。
- 3 コネクタカバーを取り付けます。



## レジスターの設定

スキャナーを接続後、スキャナーが使用できるよう下記を設定します。

### 手順

- 1 電源プラグをコンセントに差し込み、モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 次の操作をします。
 

3
小計
298
小計
2000
現/預
小計
- 3 モードスイッチの位置を「登録」にします。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 仕様

型式	TE-2800
キーボード部	ストローク方式 2キーロールオーバー
表示部	本体表示：キャラクタ部 16文字×2行、数値部 10桁 液晶表示（バックライト付き） 客用表示：数値部 8桁 LED 表示（収納式回転機構付き）
印字部	2シートサーマルプリンタ方式 印字速度 約 14行/秒 印字桁数 レシート・ジャーナル各 32桁（半角文字の場合） 記録紙 幅 57～58mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙（消耗品欄参照） 店名ロゴ印字 縦 21mm×横 48mm の範囲でデザイン可（レシートに自動印字） 用紙カット レシートはオートカット ジャーナルは自動巻き取り 領収書発行 必要に応じて領収書の発行が可能
最大演算桁数	置数・預かり金（10桁：0～9,999,999,999）登録（7桁：-9,999,999～9,999,999） 合計（0桁：-999,999,999～9,999,999,999）リピート（6桁：-999,999～999,999） ノンアド（16桁：0～9999999999999999） %レート（整数2桁+小数2桁：0.01～99.99%） 税率（整数2桁+小数4桁：0.0001～99.9999%） 乗算数量（整数4桁+小数3桁：0.001～9999.999）
電卓機能	加減乗除計算 最大計算桁数は置数 10桁 答え 10桁（負数のときは9桁）
ドロアー	紙幣3種・硬貨6種ドロアーロック錠付き、コイントレーは取り外し可
時計・日付機能	月差±40秒（通電状態 25℃において）2088年までフルオートカレンダー
メモリ保護	バナジウムリチウム充電式電池使用 記憶保持約90日 電池寿命約5年
電源・消費電力	AC 100V ± 10V 50 / 60Hz 11W
使用環境温度・湿度	0℃～40℃ 10%～95% RH
外形寸法	幅 330mm × 奥行 360mm × 高さ 198mm（ドロアー含む） 幅 330mm 奥行 360mm 高さ 198mm（ドロアー含む）客用表示を出した高さ 240mm
質量	約 5.5Kg（ドロアー含む）
オプション	電子店名スタンプ：RAC-13（店名ロゴ・領収書ロゴ・サーマルポップ用） 防水カバー：WT-89 ハンドスキャナ：HHS-18、HHS-19 マルチ決済端末：KT-10
消耗品	ロールペーパー：紙幅 58mm × 外径 80mm サーマルペーパー（感熱紙） ノーマルタイプ TRP-5880 × 5（5個入り） TRP-5880-TW（20個入り） 高保存タイプ TRP-5880H × 5（5個入り） TRP-5880H-TW（20個入り）

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。  
ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。  
本書およびソフトウェアは、将来予告なしに変更することがあります。  
本書に記載の画面やイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。



# 保証規定

本書は、TE-2800（以下「本製品」といいます）に関する保証規定です。

## お客様へのお願い

同梱の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

## 無償保証規定

万一、本製品を正常な使用状態でご使用中に障害が発生し、製品購入日から1年間（以下「保証期間」といいます）以内に弊社へご連絡を頂いた場合、弊社は修理、調整または代替品との交換（以下「修理等」といいます）を行うことにより、本製品を無償保証いたします。なお、修理等を行った場合であっても、当該本製品（代替品を含みます）は保証期間に限り無償保証いたします。

修理等は、故障の状態等から無償保証の対象であることを確認させて頂いたのち、弊社の裁量においていずれかの対応をいたします。なお、代替品との交換とは同等機種との交換をいい、同一機種との交換を保証するものではありません。

修理等を行った場合は本製品を初期状態にてご返却いたします。本製品に記録されている大切なデータについてはあらかじめジャーナルに印字して保管する等、お客様の責任においてバックアップを取ることをお勧めいたします。

本規定は、日本国内でのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

次の場合は、保証期間内であっても無償保証の対象外となり、修理等に要した費用をお客様へ別途請求いたします。

- ・ 誤ったご使用方法、および不当な取り扱いや改造による故障
- ・ 火災、地震、水害、異常電圧、および盗難などによる損傷や故障
- ・ 移動および輸送によって生じた故障
- ・ 上記のほか、正常な使用状態での使用と認められない故障

本規定に基づく弊社の対応・業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

## 日計明細の設定内容の変更と操作

### 操作例

日計明細レポートから PLU レポートが印字されないようにする  
手順

**1** モードスイッチの位置を「設定」にします。

**2** 以下の操作をします。

**3** 小計  
1 2 9 小計  
4 0 0 0 現/預  
1 1 現/預  
1 2 現/預  
1 5 現/預  
1 6 現/預  
1 9 現/預  
現/預  
小計

以上で設定は終了です。


# 用語集

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。操作や設定方法の参照ページも記載しています。ご利用ください。

## あ


### 後レシート発行

レシートの発行を止めているお店でお客様がレシートを要求された場合、後レシートを発行してお渡します。(プリンターをレシートとしてお使いの場合のみ、後レシートの発行ができます)

 13・43 ページを参照してください。

### ありだか 在高

ドローアの中にある現金や貸し売り伝票などの合計金額のことです。

 33・34・53・56 ページを参照してください。


### 一部現金売り

取引の支払いを現金やクレジット1種類ではなく、一部を現金、一部を商品券などで支払う形式のことをいいます。

 51 ページを参照してください。

### 一連番号

レシートの番号です。レシートを発行するごとに1ずつ足されます。

 21・92 ページを参照してください。


### 一括取消

入力ミスなどでレシートを最初からやり直したいときに一括取消をします。

 30 ページを参照してください。

### 内税方式 (内税方式レジスター)

内掛けの消費税を計算して、お客様からの消費税の預かり額を累計する方式にした、レジスターのことです。

 19・33・68 ページを参照してください。

## か


### 開設

レジスターやマルチ決済端末を情報センタに接続して使えるようにする操作です。一日一回の操作が必要です。

 22 ページを参照してください。


### 期間集計

長い期間 (例えば、一週間、旬日、一月など) の売上の合計を知ることができるレポートです。

 54・55・58 ページを参照してください。


### 客用表示

お客様に商品の登録金額や合計金額などを示すための表示器です。背面表示としても、持ち上げてお客様の見やすい方向に回して使うこともできます。

 11・15・16 ページを参照してください。

### キャラクタ


部門キーやPLU、取引キーやメッセージなどに設定される文字をいいます。

 15・21・75～91 ページを参照してください。

### クレジットカード決済

クレジットカードなどで売り上げた場合、マルチ決済端末 (KT-10) を利用し、情報センタを通して決済を行なうことができます。

 50 ページを参照してください。

 決済端末

### 券売り

商品券売りに使用します。商品券の額面金額を設定しておくことも可能です。

 50 ページを参照してください。

## さ


### さかのぼり訂正

商品登録中に、同一レシート中での登録のまちがいを訂正することです。

 48 ページを参照してください。

### ジャーナル


印字で残される営業記録のことです。印字後のジャーナルはレジスター本体内に自動的に巻き取られます。ジャーナル用にロールペーパーのセットが必要です。

 11・21・126・128 ページを参照してください。

 レシート

### ジャーナルスキップ

ジャーナル用紙の消費を少なくするため、商品明細などの印字を省略して印字することです。

 21・93 ページを参照してください。

### 出金

商品の売上に直接関係のないお金をドローアから出すことです。ドローア内の現金を回収するときなどにお使いください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方


こんなときは

# 用語集

 45 ページを参照してください。

## 純売上


商品登録の合計で、値引きや割引をした後の金額です。外税も含まれます。

 33・35 ページを参照してください。

 総売上

## 乗算

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して（掛け算で）合計金額を算出することです。

 14・26・36・37・38・41 ページを参照してください。


## 情報センタ

クレジット決済や売上集計管理サービスなどを行なうインターネット上の拠点です。

 18 ページを参照してください。


## シンボル

表示の状態を示すインジケータやレシート上に印字する略号です。「合計」や「お釣」を表示している状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」などのことを示します。

 15・21・91 ページを参照してください。


## スキャンング PLU

JAN コードなどが付いた商品のバーコードを別売のスキャナで取り込んで、商品登録します。スキャンング PLU の売上は PLU と同じ扱いになります。（使用するためには、情報センタとの契約が必要です）

 35・40・41・55・56 ページを参照してください。

## 精算


業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額などは（翌日の営業のために）ゼロになります。


 33・34・35・54～59 ページを参照してください。

 点検、レポート

## 設定


レジスターの機能を選択したり、パーセント率や単価をレジスターに覚えさせたりすることです。


 設定の仕方（63 ページ）以降を参照してください。

 単価設定

## 外税方式（外税方式レジスター）


外掛けの消費税を計算して、お客様からの消費税の預かり額を累計する方式にした、レジスターのことです。

 19・68 ページを参照してください。

 非課税方式レジスター、内税方式レジスター

## 総売上

商品登録の合計で、値引きや割引をする前の金額です。外税も含まれません。


 33・35 ページを参照してください。

 純売上

## た


### 単価設定

商品単価をレジスターに覚えさせることです。同じ単価が多く使われる場合、単価設定すると便利です。

 36・38・41・64 ページを参照してください。

### 担当者

レジスターを操作している取扱者のことです。レシート上に担当者の番号あるいは名前を印字したり、担当者別の売上額を集計することができます。

 13・21・44・58・84・94・112 ページを参照してください。

### 置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。


### 訂正

レジスターに入力した事柄（数字や機能指定）がまちがっていた場合、それを取り消すことです。取消ができるるときとできないときがあります。

 14・30・48 ページを参照してください。

### 点検


業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額はそのまま保存されます。

 54～59 ページを参照してください。

 精算、レポート

## 電子店名スタンプ


別売のオプションです。レシートに印字する、店名や所在地などを焼き付けた小さなスティックです。同梱の「電子店名スタンプ作成注文書」でお申し込みください。

 2・130・131 ページを参照してください。

# 用語集

## 登録


レジスターにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。

 23～32・36～53 ページを参照してください。

## な

### 日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態などに分けて（明細）発行します。

 33・34・54 ページを参照してください。

### 入金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアー内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。

 45 ページを参照してください。

 出金

### 値引き

商品や合計金額からある金額を差し引きます。

 46 ページを参照してください。

## は

### 背景印字

レシートや領収書に、薄い文字や模様を背景として印字することができます。他店との差別化のため、または特売サービス引換券などのためにお使いください。

 66 ページを参照してください。

### パーセント計算


割引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法をいいます。

 47 ページを参照してください。

 割引き・割増し

### PLU（ピーエルユー）：Price Look Up の略

プライスルックアップ（単価呼出し）のことです。主にコード指定後の PLU キーによる単価呼出し、またはその登録のことです。PLU に設定されるのは、主に（商品の分類ではなく）個々の商品（単品）です。

 35・38～41・54・57 ページを参照してください。

### 品番 PLU

品番で指定される商品を登録するときに用います。

 39 ページを参照してください。

 PLU（ピーエルユー）


### 不加算印字

商品コード、お客様番号やクレジットカード番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。

 42 ページを参照してください。


### 部門

お店の商品の分類です。例えば、食料品／雑貨品／日用品、鮮魚／精肉／青果、お食事／お飲み物などの分類があります。

 13・14・23～26・36～37 ページを参照してください。


### 返品

お客様がお買い上げの商品をお返しになったとき、返品処理をしてください。

 31・32 ページを参照してください。

### 奉仕料

奉仕料の必要なお店では、奉仕料を自動計算することができます。

 52・113 ページを参照してください。

## ま

### マルチ決済端末（KT-10）


クレジットカードや iD などの決済を行なうために磁気カードリーダーや非接触 IC カードリーダーを備えたこのレジスター専用の端末です。

 2 ページを参照してください。

 クレジットカード決済


### 丸め（5 円丸め／10 円丸め）

合計金額の端数（5 円未満または 10 円未満）が出ないように、それを値引くことです。値引いた金額はお店側の負担になります。

 49・65 ページを参照してください。

### 万円キー（万券キー）

一万円札の預かり時に使用すると、日計明細レポート上に一万円札の枚数が印字されます。

 14・43 ページを参照してください。

## や

### 呼び出し機能


割り勘のためにレシートの合計を電卓モードで使用したり、電卓モードでの計算結果を登録に使ったりする場合に、その数値を持ってくることです。

 61 ページを参照してください。

## ら


### リピート

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、その都度商品単価を入力しないで、部門キーを買い上げ個数分押すことです。

 15・25・38・39・41 ページを参照してください。


### 両替

本来の両替(大きなお金を細かくする)ばかりでなく、商品取引以外にドロアーを開ける必要ができたときに両替をします。

 13・26 ページを参照してください。

### 領収書

レシートとは別の書式の領収書が発行できます。

 13・21・27・28 ページを参照してください。

### レシート

お客様にお渡しする領収書代わりの紙券です。


このレジスターでは、ジャーナル(営業記録)を取る代わりにレシートを発行することができます。(電子ジャーナルを使用すると、レシート発行していてもジャーナルを取ることができます)


 21 ページを参照してください。

 ジャーナル

### レポート

お店の売上金額や客数などを集計してレジスターから出力される帳票です。点検と精算の区別があります。

 33・34・54～59 ページを参照してください。

 レシート、点検、精算

## わ

### 割引き

全品一律10%引きなどのときに使用します。全品一律でなくても、商品一つだけに対しても使用することができます。

 47 ページを参照してください。



# さくいん

## あ・ア

圧縮印字、圧縮文字	21, 66, 79
預かり金	(現金売り/預かり金)
後レシート発行	14, 43
ありだか 在高申告	13, 53

## い・イ

一連番号	21, 27, 92, 97, 99
一部入金	51
一括訂正	(取引中止)
印字制御	93 ~ 97, 100, 101

## う・ウ

内税扱い、内税方式	19
-----------	----

## お・オ

オールクリア	14, 29
お客様相談センタ	裏表紙
オプション	132
オペレータ用鍵	12

## か・カ

買い上げ点数	21, 93
開設	13, 22
回転表示窓	(客用表示窓)
貸し売り	14, 24
課税方式	19, 67 ~ 69, 71, 73
紙押さえ	11
感熱記録紙	17, 28

## き・キ

キーボード	11, 13
期間集計 1, 2	54, 55
客用表示窓	11, 15
キャラクタの設定	(文字の設定)
強制解除	14, 121
強制操作	94
金額キー	14, 39

## く・ク

クリア	(オールクリア)
グループ別集計	57, 102, 105
グループリンク	102, 105
クレジットカード	14, 50

## け・ケ

桁解除	14
券売り	14, 50, 51
現金在高	14, 33, 35, 56
現金売り・預かり金	14, 23

## こ・コ

コールセンタ	(お客様相談センタ)
コイントレー	11
硬貨入れ	(コイントレー)
構成比	34, 35, 54, 93
5円/10円丸め	49, 65
固定キャラクタ	(取引シンボル)
ゴハサン	(オールクリア)
コマースシャルメッセージ	(レシートメッセージ)
混在	(税金の混在)

## さ・サ

ざいだか 在高	(現金在高)
さかのぼり訂正	48
札押さえ	11
サーマルポップ	100
サーマル用紙	(感熱記録紙)

## し・シ

時間帯別集計	35, 54
時刻	21, 44, 63
四則計算	14, 60
紙幣入れ	11
締め	23, 50, 51, 109
ジャーナルスキップ	21, 93
ジャーナル印字確認窓	11
ジャーナル送りキー	13, 126, 128
ジャーナル巻き取りホルダ	11, 126, 128
ジャーナル用紙	11, 126, 128
収入印紙	21, 27, 99
出金キー	13, 45, 112
純売上	33, 35
小計キー	14, 23, 30, 94
乗算登録	14, 25, 26, 36 ~ 38
乗算/日時キー	14, 25, 44, 63
消費税の計算	19
商品券	50, 51
情報センタ	2, 17, 18, 22
信用売りキー	(クレジット)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



# さくいん

## す・ス

数点売り	24, 25
スキャニング PLU	40, 41
スキャニングサービス	40

## せ・セ

税関連の設定	67 ~ 74
税金の混在	19, 68
精算モード	12, 33, 55
精算・設定・オーナー用鍵	12
税率	69
税率変更日	69
設定モード	12, 63 ~ 120
設定単価	64
設定点検	115 ~ 120
全角文字	79

## そ・ソ

総売上	33, 35
操作ガイド	13, 121
外税扱い、外税方式	19, 68

## た・タ

但し書き	21, 27, 66, 99
縦倍文字	66, 79
単価×数量	37, 111
単価設定	64
担当者	44, 58, 84, 94, 112
担当者キー	14
担当者番号	44, 112
担当者別集計	58
単品売り、単品登録	23
単品現金売り	102, 106

## ち・チ

置数キー	14
置数訂正	29
直前訂正	30
中止	(訂正/中止)

## つ・ツ

釣り銭計算	23, 24
-------	--------

## て・テ

停止	(レシート発行停止)
----	------------

訂正/中止	14, 30
点検モード	12, 54 ~ 59, 114
電源プラグ	11
電子店名スタンプ	2, 17, 130, 131
電卓機能	60 ~ 62
電卓モード	12

## と・ト

登録モード	12, 23 ~ 30, 32
取引中止	30
取引シンボル	91
トレーニング	114
ドロアー	11
ドロアーロック錠	11, 121

## に・ニ

日時	(乗算/日時キー)
日計明細	33, 34
入金	13, 45, 112

## ね・ネ

値引き	46
-----	----

## の・ノ

ノンアド	(不加算印字)
------	---------

## は・ハ

パーセント計算	47, 65
背景印字	66, 100
倍文字	79
端数処理	74, 111, 113
半角文字	79

## ひ・ヒ

非課税キー	14, 67
非課税扱い、非課税方式	19, 67
引き出し	(ドロアー)
日付	44, 63
表示窓	(本体表示窓)
品番 PLU	39

## ふ・フ

不加算印字	14, 42
部門キー	14, 23 ~ 26, 36 ~ 37
部門リンク	105
プラテンアーム	(紙押さえ)

# さくいん

プリンターカバー ----- 11  
分割処理 ----- 51

## へ・へ

変更日 ----- (税率変更日)  
返品戻し ----- 31, 32

## ほ・ホ

防水カバー ----- 8, 132  
ボトムメッセージ ----- (レシートメッセージ)  
ホルダ受け ----- (巻き取りホルダ受け)  
本体表示窓 ----- 11, 15

## ま・マ

マイナス ----- (値引き)  
マイナス単価 ----- 103, 107  
巻き取りホルダ ----- (ジャーナル巻き取りホルダ)  
巻き取りホルダ受け ----- 126  
マシン No. ----- (レジ番号)  
マルチ決済端末 ----- 2  
丸め ----- (5円丸め / 10円丸め)  
万円キー ----- 14, 43

## め・メ

明細印字 ----- (ジャーナルスキップ)  
メモリカセット ----- (電子店名スタンプ)

## も・モ

モード鍵 ----- 11, 12  
モードスイッチ ----- 11, 12  
戻しキー ----- 14, 32  
戻しモード ----- 12, 31  
文字の設定 ----- 75 ~ 91

## よ・ヨ

四倍角文字 ----- 79

## り・リ

レポート (回数、登録) ----- 15, 25, 38, 39, 41  
両替 ----- 12, 26  
領収書 ----- 21, 27, 28  
領収書一連番号 ----- (一連番号)  
領収書発行 ----- 13, 27, 28  
リンク ----- (部門リンク、グループリンク)

## れ・レ

レシート用紙 ----- 11, 127  
レシート送りキー ----- 13  
レシート発行停止 ----- 13, 21, 43  
レシート発行 / 停止スイッチ ----- 13  
レシート発行キー ----- 14, 43  
レシートメッセージ ----- 21, 86 ~ 89, 97  
レシート用紙受け ----- 126  
レジ番号 (レジスター番号) ----- 21, 92  
レポート ----- 33 ~ 35, 56 ~ 61

## ろ・ロ

ロールペーパー ----- 126 ~ 129, 裏表紙  
ロゴメッセージ ----- (レシートメッセージ)

## わ・ワ

割引き ----- 14, 47, 111  
割引き率の設定 ----- 65  
割増し ----- 13, 47, 111  
割増し率の設定 ----- 65

## アルファベット

iD ----- 14, 50  
OFF モード ----- 12  
OP ----- (オペレーター用鍵)  
PGM ----- (精算・設定・オーナー用鍵)  
PLU ----- 14, 35, 38 ~ 41, 57, 64  
RAC ----- 2, 10, 130, 131  
TRP-5880TW ----- 132, 裏表紙  
TRP-5880HTW ----- 132, 裏表紙

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは





# アフターサービスについて

## アフターサービス

### お問い合わせは

お買い上げの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

### 消耗品のお申し込み

**TE-2800 の消耗品**    ロールペーパー：紙幅 58mm × 外径 80mm（感熱記録紙）  
ノーマルタイプ    TRP-5880-TW・TRP-5880 × 5  
高保存タイプ      TRP-5880H-TW・TRP-5880H × 5

### お客様相談窓口

- 製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
- 修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター



**0570-001166**

市内通話料金のみでご使用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30（日・祝日・弊社指定休業日は除く）  
携帯電話・PHS などの場合は 042-503-7215 をご利用ください。

### お客様相談窓口

- |      |     |     |    |     |     |     |    |     |     |
|------|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| ●北海道 | 札幌  | ●関東 | 埼玉 | ●信越 | 新潟  | ●近畿 | 京都 | ●四国 | 高松  |
| ●東北  | 盛岡  |     | 千葉 |     | 長野  |     | 大阪 | ●九州 | 福岡  |
|      | 仙台  |     | 東京 | ●北陸 | 金沢  |     | 神戸 |     | 熊本  |
| ●関東  | 宇都宮 |     | 多摩 | ●東海 | 静岡  | ●中国 | 岡山 |     | 鹿児島 |
|      | 水戸  |     | 横浜 |     | 名古屋 |     | 広島 |     |     |
|      | 高崎  |     |    |     |     |     |    |     |     |
- その他出張所があります。

### 本製品の使用済後の取り扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機（株）では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。回収申込方法は、カシオホームページ <http://www.casio.co.jp> でご案内しております。

店名・住所

販売店（問い合わせ先）を明記しておきましょう ☎（      ）      担当者

